

目次

(株)アイテクシステム	都市整備部 都市計画課
石井工機	都市整備部 産業・流通基盤整備室
(有)エスケーマディカル (浜川薬局)	都市整備部 区画整理課
群馬小型運送(株)	都市整備部 都市施設課、都市集客施設整備室
(株)サムエス(らいふプラス原市)	農政部 農林課
澤希運輸(有)	水道局 経営企画課
(株)サンシステム	水道局 浄水課
(株)三和鍍金	街活性室株式会社 (市民活動センター)
(株)シュウワエンジニアリング	グローリーハイグレイス有限会社
上武印刷(株)	山名八幡宮
(株)成電工業	株式会社まちごと屋
新島学園短期大学	ももとせマネジメント税理士法人
(株)山岸製作所	ホワイトイン高崎
(有)山崎製作所	cafe あすなろ
(株)ワークエントリー	NPO 法人 DNA
システムセイコー (株)	NPO 法人ターサ・エデュケーション
(株)アーキズム あすか設計	高崎市広域消防局
(株)エスティビー	高崎市立群馬南中学校
蔵前産業(株)	GU (問屋町)
(株)プランニング	ラジオ高崎(29日)・群馬テレビ
(有)ゆう優ハウス大和	(株)オルトプラス
(株)オーケーコーポレーション	イオンモール高崎動物病院
都丸農園	群馬県立近代美術館
(株)北毛久呂保	ふじもとアニマルクリニック
(株)フレッセイ	老年病研究所附属病院
(株)ボルテックスセイグン	井上病院
(株)富士製作所	上大類病院
東京海上日動火災保険(株)	関越中央病院
野村證券(株)高崎支店	希望館病院
(株)ホテルメトロポリタン	黒沢病院
冬木工業(株)	藤岡総合病院
群馬日産自動車(株) (城東町)	高崎中央病院
群馬日野自動車(株) (上増田町)	館出張佐藤病院
群馬ヤクルト販売(株)	二之沢病院
(株)総合P R	榛名荘病院
宮下工業(株)	日高病院
高崎市役所	真木病院
総務部 職員課	くすの木病院
総務部 広報広聴課	須藤病院
福祉部 こども家庭課	あづま保育園
商工観光部 産業政策課 商工振興課 観光課	長野幼稚園
建設部 建築指導課	

医療のシゴト

～ 私たちの未来～

私が行った病院は...

医療を必要とする患者さんをトータルでサポートできる病院でした。

? なぜその仕事・会社を選んだのか?

私は、インターニップに行く前に、将来医療関係の仕事に就きたいと考えていました。なので、医療には、どのような仕事があるのか体験してみたいと考えました。そのため、大きな病院である老年病研究所附属病院に行きたいと思いました。

老年病研究所とは どんな病院?

理念

1. 地域の人々の健康を守るための研究と実践
2. 疾病の予防と治療に役立つ看護の推進
3. 高齢社会における健康・医療・福祉のネットワーク作り

使命

研究所の成果を実践することにより、健康寿命づくりを追求する。
そのために、急性期から、回復期、さらには、在宅医療までサポートする完結型医療の総合病院をめざし、地域医療に貢献している。

体験スケジュール

<1日目>

- 9:00 病院概要
- 11:00 オリエンテーション
- 12:00 相談室見学
- 13:00 昼食
- 14:00 画像診療部
- 15:00 外来見学

<2日目>

- 9:00 神経内科病棟
- 体験
- 13:00 昼食
- 14:00 薬局見学
- 15:00 リハビリ見学

<3日目>

- 9:00 回復期病棟
- 昼食
- 12:00 昼食見学
- 13:00 お手洗い
- 14:30 検査室見学
- 15:00 質問

帰

宅

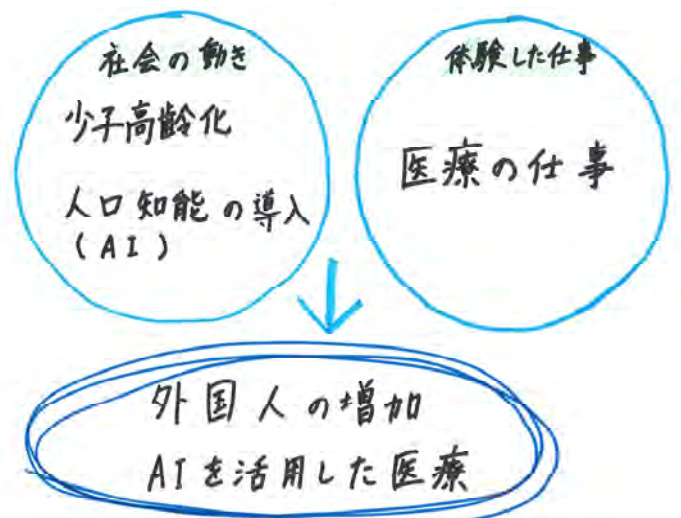
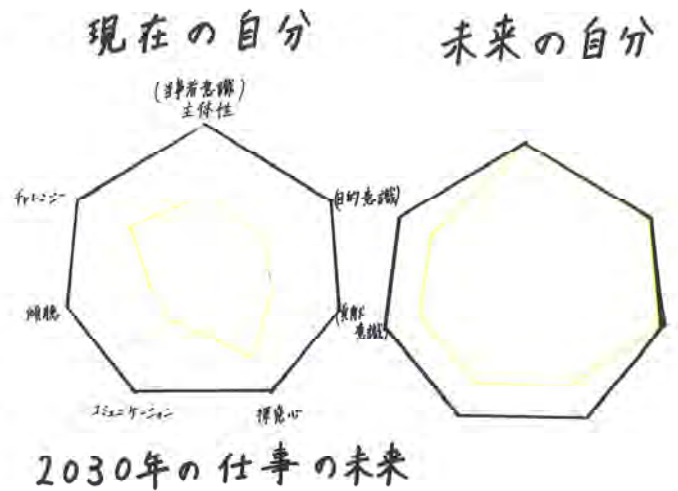
「インターニップで
学んだことは？」

職業理解が深まり、
より明確に自分の未来を
考えるようになった。

「インターニップの
前と後」

消極的で、
お礼、挨拶も返事も
できなかった。

少し積極的に
取り組めるように
なった。



～地域全体の健康を守るための先進医療を～

病院紹介

老年病研究所附属病院は、研究所の成果を実践することにより健康作りを追求している。そのために、急性期から回復期さらには在宅医療までサポートする完結型医療の総合病院を目指し、地域医療に貢献する一人一人に心こもった先進医療と看護サービスを提供している。

選んだ理由

医療や看護などに興味があり、また病院に存在する様々な仕事について探究したかたから。

仕事紹介

- ・急性期…病气やケガを発症してすぐの最も重要な時期。
- ・回復期…急性期の治療を受け、病状が安定し始めた、発症から1～2か月後の状態の時期。

〔一般外来〕

- ・内科 循環器内科 整形外科
- ・消化器科 リハビリテーション科
- ・脳神経外科 泌尿器科 麻酔科
- ・眼科 皮膚科 歯科
- ・歯科口腔外科 心療内科
- ・病理診断科 リウマチ科

〔専門外来〕

- ・高血圧外来
- ・内視鏡外来
- ・糖尿病外来
- ・漢方外来
- ・物忘れ外来
- ・禁煙外来

〔ベッド数〕

- ・急性期病床 139 床
- ・回復期リハビリテーション病床 114 床
- 計 253 床

体験スケジュール

- 9:00～11:00 病棟見学
- 11:00～12:00 相談室見学
- 12:00～13:00 昼食(西棟7階レストラン)
- 13:00～14:00 画像診断部・検査室
- 14:00～15:00 外来・リハビリ、まとめ



体験した事の紹介 No.2

- ・車いす、ストレッチャー、CT、MRI、リハビリ用の筋肉トレーニング器具の体験
高齢者の患者さんが多い神経内科で、車いすとストレッチャーに乗った。
ストレッチャーとは…患者さんが救急時に使用する動く担架のようなもの。
- ・CTとMRI どちらも画像診断部にある。

体験した事の紹介 No.1

薬を確認する作業

薬が処方箋と一致しているかを確認し、患者さんの薬による誤飲を防止する為に一つ一つの薬に日付を書いた。

食事配善

回復期で入院されている方の食事配善をした。自力で食器の蓋や果物の皮などをとる事ができない人の分をした。また、片目が見えない人には、見える目の方に食事を置き、安心して食べられるように工夫した。

	CT	MRI
方法	X線(被爆する)	磁気(被爆しない)
時間	比較的短い(10～15分)	比較的長い(30分程度)
基本	横断面	任意の断面

CTは被爆するが人体には影響が出ないので問題はない。
MRIは、金属の物を付けて部屋に入ってはいけない。しかし、今回は体験として特別にヘアピンを付けてMRIの機械に近づくとヘアピンが機械の方に引きつけられた。他にもボールペンで同じ事をするとう強い力で引きつけられ、少し力を緩めるとすごい勢いで飛んでいった。(円玉では、普通はすぐに倒れるがMRIの近くで同じ事をするとうゆっくり倒れていく実験もさせてもらった。

探究型インターンシップで学んだ事

[一言] 沢山の経験ができて仕事の難しさとそれに伴ってやりがいなどがある事を探究できた。
様々な人とコミュニケーションを取る事の大切さを学んだ。

[理由] 沢山の経験から一つ一つが自分にとって新鮮だったから。
インタビューをする事で仕事について深く知る事ができたから。
インターンシップの before. after

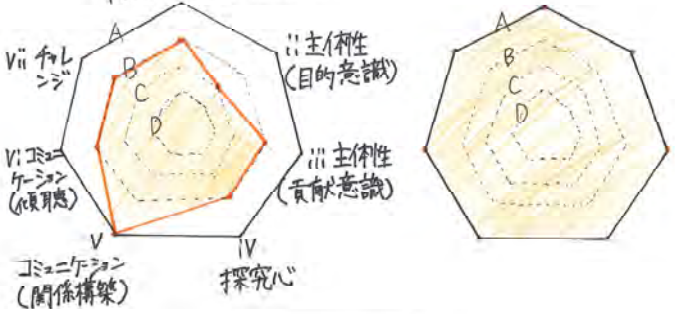
Before

初対面の人とは挨拶やコミュニケーションを取れなかった。

After

積極的に挨拶をするようになり、コミュニケーションも恥ずかしながら取れるようになった。

現在の自分 (主体性(当事者意識)) → 未来の自分



これからの取り組み

主体性で、特に目的意識が欠けていた。そのため自ら考え行動するという事に対して積極的に取り組んでいきたい。

CT・MRIによる正確な医療診断



食事風景



リハビリ風景



こうなっていてほしい

2030年の仕事の未来

自分の興味・関心
好きな事
食事・運動



体験した仕事
看護や病院内の
様々な仕事

実現したい 2030年の仕事の未来
患者さんの身体を健康にするための食事を考える栄養科の仕事。
患者さんが再び社会復帰ができるようにサポートするリハビリの仕事。

こうなっているであろう

2030年の仕事の未来

社会の動き
ICTと人間の協同事業
外国人労働者の増加



体験した仕事
看護と病院内の
様々な仕事
(コミュニケーション
や医療機器)

考察した 2030年の仕事の未来
ICTができる事は任せ、ICTができない患者さんのお世話などは人間がする未来。
外国人労働者も私達と共に働く未来。



患者さんをも最優先に生命を救う仕事

< 会社紹介 >

- 公益財団法人老年病研究所 附属病院
- 253床有り, 科は 16 専門外来 6
- 福利厚生が充実

< この仕事を選んだ理由 >

人と関わる仕事に就きたい
 と思っているから。
 母が看護師で憧れているから。

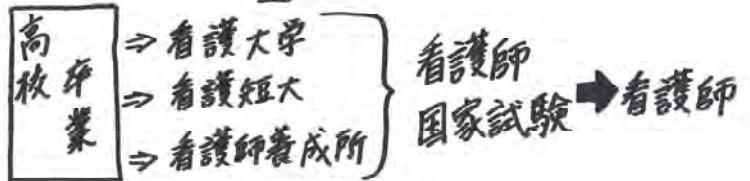
○ 体験スケジュール

8/28 (水)	8/29 (木)	8/30 (金)
9:00~11:00 ~12:00	オリエンテーション 相談室 見学	
12:00~13:00	昼食	
13:00~15:00	画像診断部・外来見学	
9:00~12:00	病棟 見学	
12:00~13:00	昼食	
13:00~15:00	薬局・リハビリ 見学	
9:00~11:00	回復期病棟	
11:00~12:00	昼食	
12:00~13:00	昼食 見学	
13:00~14:30	検査室 見学	
14:30~15:00	まとめ	

< 自分なりの紹介 >

- 多方面からの Support
 - ・ 病院・診療所
 - ・ 訪問看護
 - ・ 福祉施設
 - ・ フライトナース
 - ・ 災害看護 etc...

看護師への道のり



○ 体験内容紹介

< 実習場所 >

4号病棟(内科・眼科), 外来, 白棟回復期病棟, 検査室, 薬局, 画像診断部, 相談室, リハビリ室,

< 実習内容 >

- ・ 患者さんとのコミュニケーション
 しっかりと、はっきり、大きな声で!
- ・ シーツ交換
- ・ 昼食準備 - その人に合わせた食事
 (例: パースト状, アリン状, こまかく刻んだもの)

○ インターシャフ°を1言で

患者さんへ1番に、
思いやりの心を持って
行動すること

(理由)

看護師さんが常に患者さん
のことを考えて行動し、
人のために一生懸命働いて
いたから。

○ インターシャフ°の **前** と **後**

Before

少し遠慮してしまい
積極的に行動できない
ときがあった。

After

チャレンジ精神と
積極力を得ることに
できた。

○ 未来へ成長していくために取り組むこと

行動力やチャレンジ精神をより一層高めるために、
積極的に授業中での発言、挙手をする。
相手側の気持ちに合った考え行動する。

○ 2030年の未来は？

社会の動き

AI化
機械化

と

体験した仕事

医療関係の
様々な仕事

自分の興味

スポーツ

と

体験した仕事

医療関係の
様々な仕事

2030年は？

簡単な仕事は主に機械が
行い、患者さんのケアは人が
行う

2030年は？

AI化 x スポーツで動けない、
話せない患者の気持ちに沿って
その人に合った簡単な運動から
始まる

探究型 インターンシップ

〈選んだ理由〉

自分は医学系の道に興味があり、
その中でも放射線技師や検査技師に
なりたっている。だからその2つの
仕事場を見学できるということで、この
病院を選んだ。

〈病院紹介〉

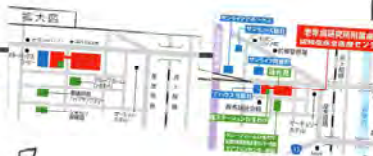
〒371-0847

群馬県前橋市大友町三丁目26-8

TEL: 027-253-3311

FAX: 027-252-7575

開設年月日... 昭和56年2月10日



公益財団法人
老年病研究所 附属病院

〈理念〉

1. 地域の人々の健康を守る為の研究と実践
2. 疾病の予防と治療に役立つ看護・介護の推進
3. 高齢社会における保健・医療・福祉のネットワーク作り

〈使命〉

研究所の成果も実践することにより、健康寿命
づくりを追究する。
そのために、急性期から回復期、更には在宅医療
までサポートする完結型医療の総合病院を目指し、
地域医療に貢献する。



〈タイムスケジュール〉

<8月28日(木)> 1日目

- 9:00~11:00 病院概要・オリエンテーション
- 11:00~12:00 相談室 見学
- 12:00~13:00 昼食 (西棟7階レストラン)
- 13:00~14:00 画像診断部 見学
- 14:00~15:00 外来 見学

<8月29日(木)> 2日目

- 9:00~12:00 4号病棟(2名)・5号病棟(2名)
- 12:00~13:00 昼食 (西棟7階レストラン)
- 13:00~14:00 薬局 見学
- 14:00~15:00 リハビリ 見学

<8月30日(金)> 3日目

- 9:00~11:00 西棟回復期 病棟
- 11:00~12:00 昼食 (西棟7階レストラン)
- 12:00~13:00 昼食見学
- 13:00~14:30 検査室 見学
- 14:30~15:00 まとめ

〈体験〉



自力で体を動かすことができない患者さんを中心に
接しました。陽気な方、元気な方、寝たきりの方など様々な
患者さんがいました。元気な方は本当に気さくで話しこみこも
会話のはずみ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

一方、寝たきりの患者さんは皆半もうで、見ているだけで月日が
苦しくなってきました。そういった中でも看護師の皆さんは声を
かけ続けていました。看護師の皆さんは患者さんと直接接するため、
「一番大変なのかもしれない」と思いました。

〈インタビュー〉

Q 辛いと思った時、どう乗り越えましたか？

A 患者さんからお礼をもらって辛いことも頑張ろうと思える。

Q 患者さんが「死にたい」と言った場合の対処法は？

A 「死にたい」というのは、本当の気持ちを押し殺してしまっている証拠。
だから本当は何を望んでいるのか、話をよく聞いてあげる。

Q 看護師という仕事は2030年にはどうなっていると思いますか？

A 介護の人や看護師が大きな仕事は外国人労働者を雇っている。
又、方言聞いたりハシリや方言看護が一般化され、テレビ電話のよくなるので、
家からでも訓練できるようになっている。



ちなみに.....

リハビリの中でも種類があり、
職種も異なる。

私達がお会いしたのは

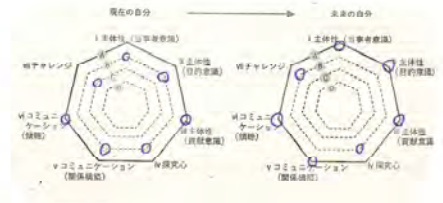
言語聴覚士

作業療法士

理学療法士

インターンシップで学んだことを一言で表すと……

支え合い



「人という生き物は、結局他人がいないと生きていくことが難しいと感じたから。」

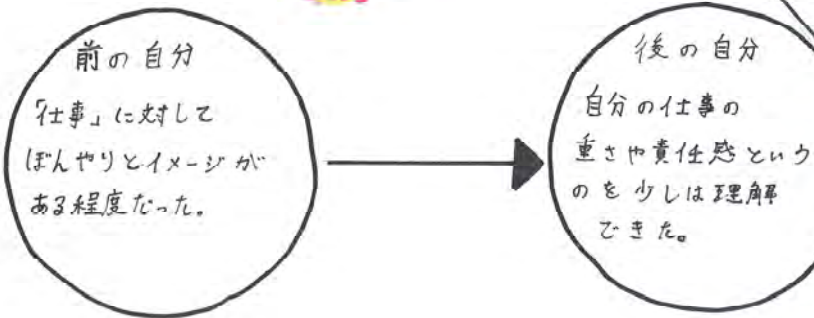
インターンシップの前と後の成長は？



どれも欠かせない要素だが、個人的に「主体性」がこれからの生活で1番の鍵となってくると思う。私自身「主体性」というのが欠けてしまっている部分があると感じている。主は授業中に最も積極的に手を挙げて発言できないところにある。自ら進んで行動することができなければ、社会に押し潰されるのも時間の問題だろう。自分自身で何かしらの志欲を高める方法を探していこうと思っている。

豆知識ポイント！！

看護師になるためには？



3.

～2030年の仕事の未来～

「こうなっていてほしい！」

「こうなっているだろう！」

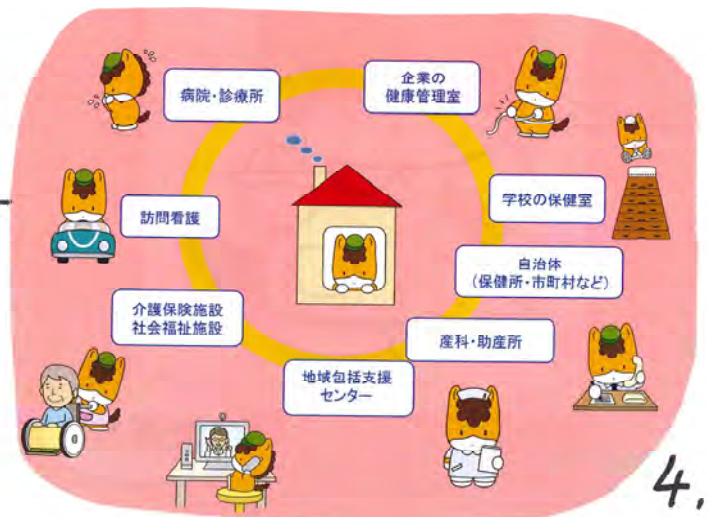


患者さんのお世話をAIがするようになる。看護師さんは緊急時に出向けばいい。しかし、AIには看護師さん、いや、人間の温かさというのが存在しないため、そうしていくのが楽しみである。

患者さんの好きな音楽を流しながら検査をすることで、抱えている様々な不安を少しでも取り除けると良いなと思う。

まとめ

医療職というのは、常に患者さんとの命と隣り合わせの為、1秒たりとも気を抜いてはいけない職業だと感じた。それと同時にそんな職業に就ける方々をカッコいいと感じた。検査技師を目指している私自身にとって、今回の体験は非常に良いものとなった。今回のインターンシップで学んだことを軸にして、自分の目標に向かって突き進んでいこうと思う。そして、実現できるように頑張っていこうと思う。



4.

可能性広がる

医療の仕事

井上病院について

昭和22年に外科医院として現在地に発足し、昭和29年・外科病院、昭和63年に医療法人として組織がえをし、現在へと至ります。ソウマチを医療センター化し、外来診療・入院・手術・リハビリ・在宅医療を一貫した治療を行っています。最新の医療設備を備え、「地域に密着し、住人と共に歩む」を理念とし、診療を行っています。

～連携先～

- 群馬リウマチクリニック
- 介護老人施設 太陽
- テイサー ビスセンター アホロ
- テイサー ビスセンター 第2アホロ

JR高崎駅(西口)より
徒歩6分 88

関節ソウマチに
強い 88

② 選んだ理由

今の将来の夢である保健師になるためには、看護師の資格が必要。これより大学で看護学と学ばないか、看護師について、自分の目で見て体験して深く学びたいと思ったので、病院を選びました。井上病院の立地の良さも理由の1つです。

整形外科

骨折・捻挫・打撲などはもちろんのこと、関節リウマチ・変形性膝関節症・痛風など小児から高齢者まで親切丁寧な診療をおこなっています。

内科

対応可能な専門領域は、関節リウマチなどの自己免疫疾患・循環器・呼吸器等です。

リハビリテーション科

整形外科の手術後や慢性の腰痛などに対しての運動療法や物理療法を行っています。運動療法では、手術後や受傷後の筋力アップ運動や関節可動域訓練(関節を動かす運動)等をおこなう。物理療法では、頸椎・腰椎牽引、ホットパック、ホットスチム、マイクロ波治療器があります。

リウマチ科

病気が進行すると、骨や軟骨が破壊されて関節の変形が起これ、関節を動かせる範囲が狭くなります。そのため、整形外科治療が重要になってきます。井上病院では「日本整形外科学会」および「日本リウマチ学会」により、認定を受けた専門医が中心となって最先端の治療を行っています。

医療機関名	整形外科	変形性膝関節症	変形性股関節症	変形性足関節症
井上	1902	550	11	5
群馬大	1116	269	55	9
弘前大	231	40	1	5
宇都宮大	171	9	2	2
前大				
駒大	941	449	20	9
近大	522	26	4	1
埼玉大	2244	815	—	8
埼玉大	2199	398	14	17
信州大	1426	119	6	1
山梨大	1652	141	—	3
山梨大	515	150	39	3
さいたま市立	514	141	13	1
香和総合	451	50	3	1
赤心堂	285	48	34	1
埼玉協和	260	24	3	1
埼玉小児医療センター	11	10	0	2

免疫が過剰に働き、関節に炎症が起きる原因不明の病気だ。おそれる関節に痛みがこればかり出て、進行すると骨が壊れてくる。患者は約70万人といわれ、50歳前後の発症が多いが、20～30歳代での発症も2割程度ある。

体験スケジュール

	1日目	2日目	3日目
9:00	社見 経営者インタビュー オリエンテーション	病棟の1日の流れを知る	看護師業務の体験、見学する 配薬・与薬・処置・食事介助等
10:00		<ul style="list-style-type: none"> ・挿入について ・ストレッチ・単反・清拭 ・病棟業務の体験 ・病棟の機能と理解が 	ニース交換
11:00	院内見学		テスコル村志
12:00	昼食	放射線技師の話を聞く	昼食
13:00	社会福祉士の話と関心	理学療法士、作業療法士の話を聞く	薬剤師の話を聞く
14:00	リハビリカンファレンスの見学	病棟カンファレンスの見学	ふり返り
14:30	病棟の補償対策を説明	臨床検査技師の話を聞く	
16:00	ふり返り		



カンファレンスの会議・協議

体験したこと① 清拭



背中を面積が広い温度感覚が鈍いため、熱め湯を利用して、背柱に沿って直接に拭く。左右は円を描いて拭く。

～感想～

私は患者さんの背中を拭きました。自分で体を拭くのは簡単ですが人の体を拭くのはなかなか難しく感じました。コミュニケーションをとりながら、できたのでよかったです。看護師はいつも患者さんのストレスにならないように、相手の立場に立って考えているすごいと思いました。あいさつと声かけがとても大事なことがわかりました。

入浴やシャワー浴による身体を直接的に湯で洗い流すことがむずかしい場合には、全身あるいは部分的に湯水で拭き取るケアが清拭がある。

体験したこと② カンファレンスの見学

～感想～

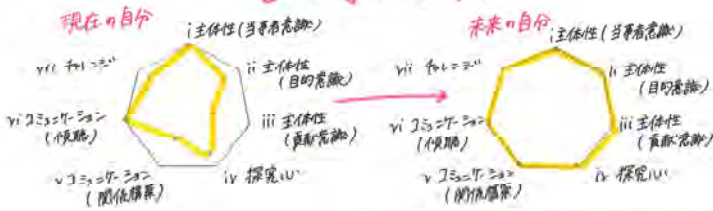
リハビリカンファレンスでは、患者さんのリハビリの進み具合、状況について、病棟カンファレンスでは、糖尿病にかかった患者さんへの新しい薬の投与や、退院などについて話し合っていました。命から奪う専門用語が多く、豊富な知識と経験が必要であることがわかりました。活発に意見を出し合っている姿が、しっかりと自分の意見をもつことの大切さを学びました。「私たちの仕事は、患者さんの回復を高め、退院後も安心して生活できるようにすること」という言葉が心に残っていて、私のイメージが少し変わった気がします。それとそれと自分の気持ちや考えを言って、「明日はこの議題について話し合おう」と改善していく気持ちがあると思いました。私もカンファレンスに参加しているような気持ちで真剣に関心することができたのでよかったです。自分の意見をしっかりと持ち、向上心を持ち、積極的に行動することを頑張りたいと思います。

● インターンシップで学んだことを一言で表すと？

自分次第で何でもできる！

看護師の仕事は予想以上に仕事が多く、驚きました。また、看護師になったあと、専門性の高い知識を自ら学んで身に付けていて、看護師という仕事は可能性に満ちていると思ったからです。私は今まで夢をもちながらも、「自分にできるのかな」と自信がもてませんでした。でも看護師さんの言っていたこの言葉に背中を押されて、自信をもってまずこれに目指してみようと思いました。目標を達成できるように日々努力していきたいです。

● 日常をどのように変えていきたいか？ どんな力を伸ばしていきたい？



- 現在の自分から未来の自分へ成長していくためには、これから何を身につけるべきか？
- 幅広い年代の人と関わり、知らない人がいる場所へ出たりする。
 - ボランティアに参加する。
 - 人の役に立ちたい。たくさんの人と関わり、成長したい。コミュニケーション能力を高めたい。
 - 人の話、授業をしっかりと聞き、積極的に参加し、考えを深める。(目的意識)
 - チームワーク。どんなことを全部で頑張る、向上心をもつ。
 - 自分のこととして考え、人任せにしない。同じを見て行動する。(貢献意識)

自分の成長

前の自分

- 新しいことに挑戦するのが少し怖い。
- 積極的に行動するのが苦手。
- 「知りたい」という気持ちがあまりない。
- 将来に対する不安があった。
- 看護師のことをよく知らない。

後の自分

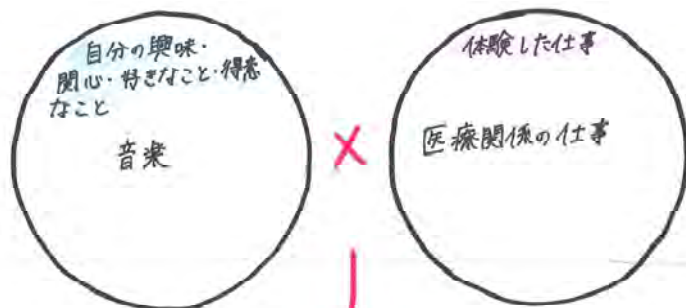
- 新しいことに挑戦したり、積極的に行動したりすることを前向きに考えられるようになった。
- 自分の将来、やりたい事など様々な面で「知りたい」と思うようになった。
- 医療の仕事を知ることができた。
- 向上心をもち、目標に向かってがんばりたい。

医療師について

地域住民の保健指導や健康管理が主な仕事。乳幼児から高齢者まで幅広い世代と関わり、健康増進や生活の質の向上をサポートする。保健指導に中心とし、病気の発症予防や健康グッズの支援、発症時や災害時の住民の健康管理も行う。

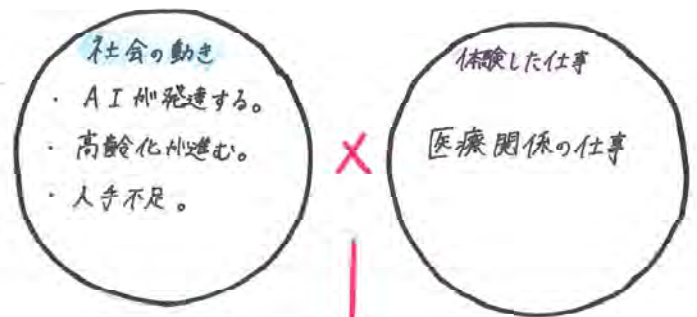
2030年の仕事の未来

こうなっていたほしい？



- 実現したい2030年の仕事の未来
- 入院によるストレスはとても大きいことがわかったので、音楽の力でリラクゼーションができればいいと思う。
 - 認知症の症状が和らぐ。治療に役立つ。
 - 世代関係なく音楽が楽しめる。
 - 患者さんの笑顔が増える。

こうなっているだろう？



- 考察した2030年の未来
- 胃カメラやCTの画像や、患者の訴えからAIが病気を判断する。
 - 体温や血圧などの記録をロボットが行うようになる。院内を動き回るロボット、看護師の負担を減らすロボットが普及する。

あこがれの医療職

井上病院

リウマチ科が特に有名な病院。「地域に密着し、住人と共に歩む」を理念としていて、病院全体が患者さんをよくするために協力し合っている。

リウマチ科

病気が進行すると、骨や軟骨が破壊されて関節の変形が起こり、関節を動かせる範囲が狭くなります。そのため、整形外科治療が重要となってきます。当院では「日本整形外科学会」および「日本リウマチ学会」により、認定を受けた専門医が中心となって最先端の治療を行っています。



WHY??

将来、医療職に就きたいと思っていたが、詳しい職種や学科が決まっていなかったから

WORK

- ・ 医者
- ・ 薬剤師
- ・ 看護師
- ・ 理学、作業療法士
- ・ 臨床検査技師
- etc...



SCHEDULE

2019年度 高崎北高等学校 インターンシップ予定

時間	場所	目録・内容	担当
9:00	3F多目的室	挨拶・自己紹介・オリエンテーション 病院の紹介・説明 経営者インタビュー 社員インタビュー	松浦 事務部長 稲嶋 看護部長 福嶋 看護 富沢 看護
11:00	食堂	院内見学	湯浅
12:00	食堂	昼食	
13:00	3F多目的室	社会福祉士(相談員)の業務内容を理解する	上野
14:00	リハ室	リハビリカンファレンスの見学	湯浅
14:30	3F多目的室	病棟の環境対策を理解する	富沢
15:00	3F多目的室	ふりだし・質疑応答・座談会	富沢 湯浅
16:00		終了	

時間	場所	目録・内容	担当
9:00	3F多目的室	看護業務を通じ病棟の一日の流れを理解できる	湯浅
9:30	5階病棟	病棟の機能を理解する 病棟業務を体験する ストレッチャー・車イス・足浴介助の体験	湯浅 看護部長 富沢 看護
12:15	食堂	昼食	
13:30	放射線科	放射線技師の業務内容を理解する	関根
14:00	リハ室	理学療法士・作業療法士の業務内容を理解する	藤田
14:30	5階病棟	病棟カンファレンスの見学	湯浅 看護部長
16:00	3F多目的室	ふりだし・質疑・座談・明日の展望・質疑応答	富沢 湯浅 他
16:00		終了	

時間	場所	目録・内容	担当
9:00	5階病棟	看護業務を体験、見学する シーツ交換・ナースコール対応・全身清拭 配薬・与薬・処置・食事介助等	湯浅 看護部長
12:15	食堂	昼食	
13:00	薬剤科	薬剤師の業務に同行し、内容を理解する	林
15:00	3F多目的室	研修・復習・今後の展望・質疑応答	富沢 湯浅 他
16:00		終了	



胸部正面撮影

Experience 1.

シーツ交換

ベッド、シーツ
●シーツの敷き込みが崩れたり、しわになつていたり、見た目の美しさが損なわれるだけでなく、転倒転落や褥瘡の原因になる。常にしわを伸ばし整える。

★ important point

- ・ 見える方(廊下側)をきれいにする
- ・ 寝てもズレないように少し硬めに縛る
- ・ 患者さんとベッドマットの硬さが合っているかよくチェックする

Experience 2.

足浴・清拭体験

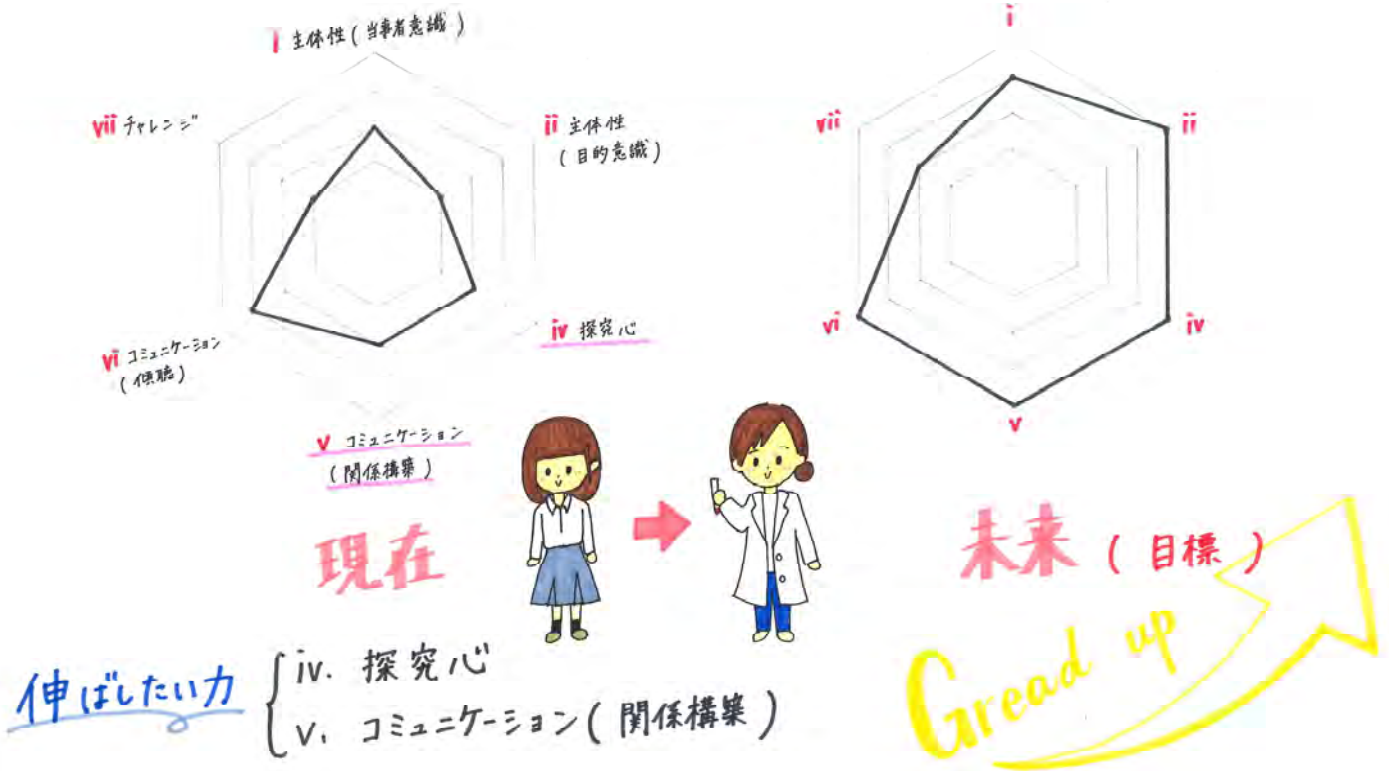
★ important point

- ・ 患者さんと常にコミュニケーションをとることを忘れない
- ・ 少し強めに体を拭くと気持ちいいらしい



LEARN

人とコミュニケーションをとる大切さ



2030年の仕事の未来は、

どんな未来になっているか？
どんな未来を創るか？



▶ こうなりたい!!

▶ こうなっているだろう

おかし作り × 医療関係

↓

長年家事をやっていた主婦の方を中心に体に良い料理教室を開いて、患者さん同士で交流できる機会を作る。

AIの多様化 × 医療関係

↓

検温や配膳は機械、患者さんの観察やコミュニケーションは人間とはっきり仕事が分担される。
看護師さんの負担が少なくなる。

人と関わり人を思いやる大切な仕事

〈体験場所〉

井上病院…高崎駅から徒歩5分

《井上病院の特徴・説明》

昭和22年に外科医院として
発足。24時間体制の整形外科
救急対応と最新の
リウマチ治療を中心に活動。
外来診療、入院・手術・リハビリ
在宅医療と一貫した
治療を行っている。

(2017年の各病院へのリウマチ患者の数)

↓ 井上病院が一番!!

病院の実力「関節リウマチ」
医療機関別2017年治療実績

(「前兆新開講へ」)

医療機関名	関節炎	全身性紅斑	全身性強直性脊椎炎	高尿酸血症
井上	1602	556	11	5
野馬次	1116	269	56	9
弘前総合病院	231	40	1	5
済生会前橋	107	9	2	2
前橋				
群馬大	941	449	20	5
日本赤十字	922	26	4	1
前橋	45			
済生会大宮南	2244	819	—	—
埼玉大	2189	358	74	17
群馬大	1476	117	6	1
前橋大	1092	141	—	3
さいたま市立	514	159	30	3
さいたま市立	514	141	13	1
前橋	451	50	3	1
赤心堂	295	48	34	1
埼玉大	290	24	3	1
前橋小児科	11	10	0	2

「セ」はセンター。「一」は編組間
または不明

なぜここを選んだか??
将来の夢が「看護師」なので、実際に病院に行くと、看護師さんが働く姿を見てみたいと思ったから。また体験もしてみたかったから。



《病院内での様々な職業の紹介》

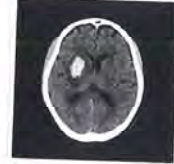
看護師

医師の医療補助や
傷病者の看護など
を主に行う。

診療放射線技師

医師の指示のもとで主に放射線を使った検査及び治療業務、これらの業務に必要な機器やシステムの管理などを行う。

CT (脳)



MRI (背椎)



臨床検査技師

臨床検査から
得られたデータを
参考に、患者さんの
病気を判断し、治
療方針を決定する。



理学療法士

病気、けがなどで生活が
不活発になった人に対し
回復・維持を図って
活動の量や質を
高めるための治療を
する人。
← (例) リハビリの補助



医療ソーシャルワーカー

社会福祉の立場から患者
さんやその家族の方々の
抱える経済的、社会的問題
の解決、調整を援助し、
社会復帰の促進を
図る業務を行う。

〈体験内容〉

「足浴」

…患者さんの足を
実際に洗う。



- ・患者さんと会話を続けさせる。
- ・患者さんに負担がかからないように足をしっかりと支える。

学んだこと

看護師は常に患者さんのために患者さんの心に寄り添って行動している。

「ストレッチャー、車いす体験」

患者さんの気持ちになって
車いす・ストレッチャーに乗る。



ティッピングバーに足をかけていることを確認



患者の状態を観察

足刺

頭刺

水平移動は患者さんの足側から

上り坂は患者さんの頭側から

- ・患者さんが恐怖を感じないようにゆっくり運ぶ。

「シーツ・布団交換」

…ベッドのシーツや布団を
取り換える。



足側は?

頭側は?

ベッドの安全

●ベッド端の位置

●ストッパーはかむ

●ギャッチアップ

収納されている?

- ・患者さんが不快な思いをしないように、きれいにセットする。
- ・床などに水滴がついていないか確認する。

Q インターンシップで学んだことを一言で表すと?

「仕事の大変さや人の気持ちに寄りそう大切さ」

Q インターンシップの前と後の成長はどんなもの?

前の自分

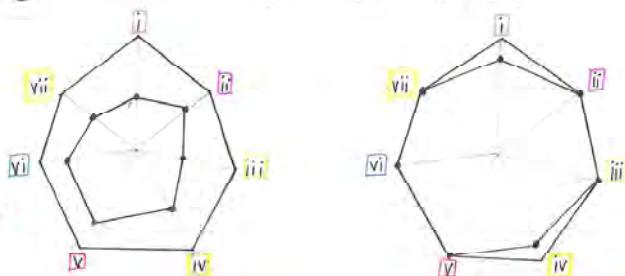
- ・やることが常に違い。
- ・メリハリがない。
- ・勉強をしない。
- ・将来について深く考えない。



後の自分

- ・メリハリをつけて行動。
- ・現実的に、そして具体的に自分の将来について考える。
- ・勉強を集中してやる。

Q 日常をどのように変え、どんな力を伸ばしていきたい?



現在の自分

未来の自分

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| i ... 主体性 (当事者意識) | ix ... コミュニケーション (関係構築) |
| ii ... 主体性 (目的意識) | x ... コミュニケーション (傾聴) |
| iii ... 主体性 (貢献意識) | xi ... チャレンジ |
| iv ... 探死心 | |



一つ一つの動作にメリハリをつけて生活するようにし、人と話すコミュニケーション能力や、自分から積極的に行動する力を身につけ、それを伸ばしていきたい。

こうなっていてほしい!

~ 2030年の仕事の未来 ~

自分の関心

♪ 音楽 🎵

×

体験した仕事

- ・医療関係
- ・看護師さんの仕事



実現したい2030年の仕事の未来

- ・患者さんが恐怖心や不安を抱かないように、病室に優しい音楽、もしくは患者さんの好きな音楽をかけられるシステム。

こうなっているであろう!

~ 2030年の仕事の未来 ~

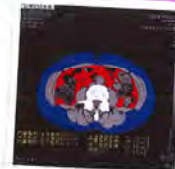
社会の動き

AI技術の活発・活性化

×

体験した仕事

放射線・CTなどの検査
↑
放射線技師の仕事



考察した2030年の仕事の未来

- ・AIが発達し、看護師のように患者さんを看病できるロボット。
- ・今までは調べられなかった所も調べることができる機械。

現代と未来の 医療のかたち ～上大類病院で 学んだこと～

上大類病院について

この病院は、内科、小児科、精神科があり、病院の上の階には、若宮苑という介護老人保護施設があります。また、高齢者あんしんセンターという高齢者の方やその家族、地域の方からの介護に関する相談や、配剤と、健康や福祉、医療に関することなどを相談できる窓口もあります。他にも、在宅ケアサービスもあり、3名のケアマネジャーの方がいます。

入院棟に入院している患者さんの多くは、認知症の高齢者の方なので、看護師の方達の主な仕事は、入院されている高齢者の方のオムツ替えなどの生活介助でした。



Q & A

Q: この仕事をしていてやりがいを感じることは何ですか

A: 患者さんに「ありがとう」と言われること

Q: 2030年に、この仕事がどんな風に変わっていてほしいですか

A: レントゲンの画質を上げたい

Q: この仕事をしていて、大変なことは何ですか

A: 時間に関係なく出勤すること

Q: 2030年に、今と変わってほしくないことは何ですか

A: 患者さんとのコミュニケーションの取りやすさ

病院で体験したこと



1日目

AM

移動介助
医療事務の方の話
お茶配り
食事介助見学

PM

シーツ交換見学
検査
薬剤師の方の話

2日目

AM

オムツ替え見学
コミュニケーション
お茶配り
昼食準備

PM

院長の話
レントゲン技師の方の話

3日目

AM

コミュニケーション
点滴見学
血糖値測定見学
昼食準備

PM

コミュニケーション
管理栄養士の方の話

インターンシップで学んだことを一言で表すと...

思いやりと安全と主体性

理由: 患者さんを思いやり、安全に配慮しながら介助し、主体的に行動することの大切さを学んだから。

インターンシップ前と後の自分の成長

前の自分

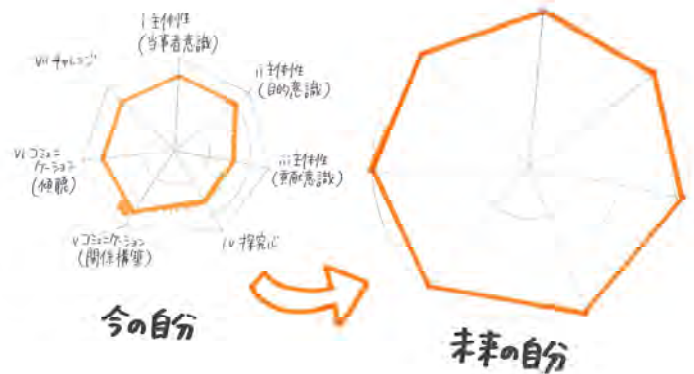
病院は手術や治療しかしないものだと思っていた



今の自分

病院によって患者さんの年齢層も違うので、病院それぞれの特徴があるということを知った

将来どんな**自分**になりたいか



理想の自分になるために

主体的に行動する力を身に付け、初対面の人とも楽しく話せるようなコミュニケーション能力を身に付ける!!!

優

し

い

心

上大類病院

- [1] 体験した仕事内容
- [2] インターシップで学んだ事
- [3] 2030年の仕事の未来は
どんな未来になっているか？



[1] 体験した仕事内容

患者さんにご飯を食べさせる



- ① 必ず患者さんが飲み込んだのを確認してからあげるようにする

おむつ交換



- ① 排泄がしっかりとできているか確認し、「しゃく創」ができていないか確認する

[2] インターシップで学んだ事



知識や技術はもちろんのこと、患者さんとコミュニケーションをとるためのコミュニケーション力も大切だと学びました。



[3] 2030年の仕事の未来は どんな未来になっているか？

社会の動き

- ・ 国際関係が活発になっている
- ・ AIの時代

×

仕事

介護関係の仕事

2030年には...

細かいところまで進歩している機械...

↓

看護師の仕事であるベッドメイキングや、お茶配りなど、AIができる仕事はAIにまかせて、少しでも看護師さんを楽にしてあげられる仕事

インターンシップ〈病院〉



私たちが健康な人生を送るために必要な施設といえは「病院」です。そんな病院の裏側を説明します。



企業の紹介

○ 上大類病院

こちらの病院は主に内科・小児科・精神科があります。4階建てになっており、患者さんの多くはお年寄りです。また、病院の他に老健施設が入っており、そこでもお年寄りの方々が生活しています。



病院でのスケジュール

★コミュニケーション★

病院でのコミュニケーションは大切なもので、患者さんの元気の秘訣です。

- point!
- ① 目を見てよく聞く
 - ② 適度にながす

★シーツ交換★

患者さんが多くの時間を過ごすベッドはいつもきれいにしておかなければなりません。すばやくきれいにベッドメイキングをします。

point!

- ① しわをつくらない
 - ② シーツがずれないようにきつくしぼる
 - ③ 人によってマットの固さをえらぶ
 - ④ オムツがずれたりもれたりしてしまった時のために防水・吸水シートをしく。
- シーツ替えはとても重要な仕事の1つです。それはシーツにしわがあったり、汚れたりしていると、患者さんの心身に大きな影響を与えるからです。

★食事介助★

病院には食事がうまくとれない方や、早くたべすぎしてしまう方など様々な人がいます。その方たちのお手伝いをしたり、何をどれだけ食べたかなど、一人一人記録をします。

point!

- ① コミュニケーションをとる
- ② のどの動きをよく見て、ゆっくり食事をするようにする
- ③ 食べやすい大きさにする
- ④ せりやり食べさせない

★着がえ★

寝たきりの方などは定期的に体をふいたり、着がえをしたります。しかし、ただ着がえをさせてあげるだけではなく、色々なことをチェックしたりし、効率よく、仕事をこなします。

point!

- ① 服をぬがせた後、床ずれがないかなどを見る
- ② 体を動かす時などは特にコミュニケーションをとる
- ③ 体を動かしやすいよう、体の下にタオルをしく
- ④ 床ずれ防止のため、体位を変える
- ⑤ けがや傷に細心の注意を払う。

★検査★

病院では、常に患者さんの体調を管理しなければなりません。患者さんに合わせた検査を行います。また小児科でも、検査機器をよく使います。

① 血圧

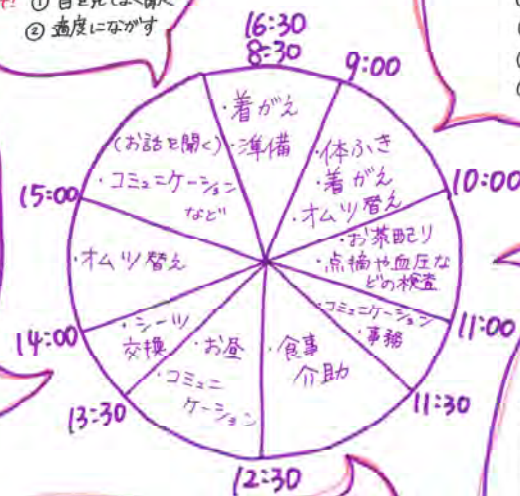
血のめぐりのよさや心臓のか脈拍をはかります。

② 血糖値

主に糖尿病患者の方が指や耳から採血し、血の中の糖の値を調べます。

③ 点検

点検は食事とれない方や、栄養が必要な方など多くの患者さんがしています。静脈にさすもの動脈にさすもの、一時的だったり、ずっとだったり、様々な種類があります。



3 病院で働く方々の役割

📌 院長さん

すること・診察・病院の総括
 やりがい・人に感謝されること
 大変なこと・悲しい事実も伝えないといけないこと
 話を聞いて学んだこと
 つらいことはたくさんあるけど歩けば心は落ちつく。疑問に思ったら考えぬいて追求するのが大切。

👨‍⚕️ 看護師さん

すること・患者さんの生活の手助け・医師の手助け・毎日の検査
 やりがい・患者さんが少しでも自分のしたことでも元気になること
 大変なこと・患者さんを見ること
 話を聞いて学んだこと
 病院は命を救うだけではない。

🏠 医療機器の説明(小児科の先生より)

すること・外来の子供の診察
 体験をして学んだこと
 正しく測定するために色々な説明があって覚えるのが大変そうだった。子供相手が多いから、バッドが低かったり、工夫もあり、やはり笑顔は大切。

💊🍽️ 薬剤師・管理栄養師さん

すること ㊟ 患者さんの薬を出す ㊠ 患者さんの食事と考える提供すること
 やりがい ㊟ 今まで食事をとらなかった人が食事を楽しみにしてもらえること
 大変なこと ㊟ 食べたいものを食べさせてあげられないこと
 話を聞いて学んだこと
 病院で働くという事は勉強をしつづけることでもある。

📷 レントゲン技師さん

すること・患者さんの診察(大きな機械を使う)
 やりがい・不明なことが検査で明らかになること
 大変なこと・部屋につれてきて、正しい体勢にすること・とり直しができていないこと
 話を聞いて学んだこと
 勉強だけではなく経験も大切。

💻 医療事務さん

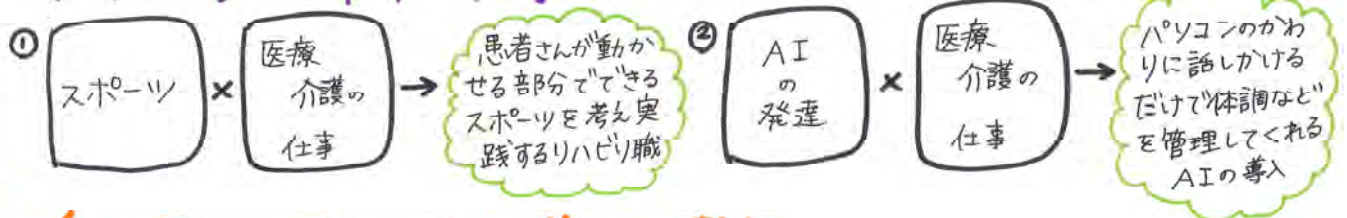
すること・受付・電話対応・会計・請求・書類整理
 やりがい・つらそうだった患者さんが笑顔で帰ること
 大変なこと・少人数で電話対応をすること
 話を聞いて学んだこと
 若いときに可能性を広げをおくことが大切。コミュニケーション力と笑顔が人を安心させる。

4 未来の医療

📌 今、病院で働く方が言う! 未来への願望

- ・あったらいいもの
 - ① カルテなどを置いただけで、パソコンに情報が入る機械
 - ② 胃カメラなどをしなくても小さな病気を見つけられる機械
- ・かわっていてほしくないもの
 - ① 患者さんとのコミュニケーション
 - ② 人と人が関わる仕事

📌 自分が考える未来の仕事



👨‍⚕️ インターンシップでの学びと感想

病院では毎日新しいことが起こり、とても忙しかたです。しかし、全ての仕事が誰かに必要とされていることが目に見えて感じられ、やりがいがあります。また3日間でコミュニケーション力(傾聴)が身についたと思います。とてもよい経験でした。

地域に根ざした医療を目指す

関越中央病院

〔病院の特徴と事業内容〕

関越中央病院は、地域に根ざした医療を目的として昭和62年に開業。現在、循環器内科と消化器外科を中心とした急性期医療を行い、心臓カテテル検査やがんの早期発見、化学療法、血液透析等の他に救急患者の24時間受け入れ等、地域医療に貢献している。また、介護保険対応施設の地域ケアセンター・訪問看護ステーションを併設し、平成25年に、サービス付き高齢者賃貸住宅を開業。専門外来として、ペースメーカー外来、心臓高血圧外来、糖尿病外来、呼吸器外来、脳神経外科外来、乳腺甲状腺外来などがあり、生活習慣病の早期発見、早期治療にも貢献している。近隣の施設・診療所、病院との連携を強化し、生活習慣病対策に力を入れ、地域住民とのつながりを大切にした医療を展開している。

〔インターンシップ先を選んだ理由〕

将来、看護師資格をとりたいから。

医療系の仕事に興味があるから。

体験スケジュール

- 1日目 院内見学 → 外来診察見学 → 透析室見学 → 昼食の配膳 → ICU見学 → 手術室見学 → 経営者インタビュー
- 2日目 放射線科・CT・MRI → 検査室見学 → 病棟見学 → 従業員インタビュー
- 3日目 地域ケアセンター → 訪問看護ステーション

手術室見学

手術領域は、消化器外科を中心に胃・食道・肝臓・大腸などの悪性疾患の摘出を中心とした症例を行っている。手術室には、1つの細長いベッドと電気メスなどたくさんの機械がある。手術診断棟においては心臓カテテルなどの検査領域から消化器手術また、ICU、CCUによる重症治療までの機能を行なう部所である。24時間に渡り緊急患者の受け入れを行っており、完治に至るまで様々な関係部所との協力によって成立している。

放射線科

1. 一般撮影室

X線を使い胸部、腹部や骨関係の写真を主に撮影している。また、乳がん検査などに使うマンモグラフィーも行っている。

2. X線TV室

バリウムを使って胃や腸を見る消化管検査を主にやっている。また、透視画像を見ながら大腸内視鏡検査やホリゾの切除にも使われている。

3. CT室

X線で「おわり」の撮影をする検査。11まで撮影が不可能で、長心臓の画像をはじめとした3次元処理が可能。画像の薄さを最小で0.75mm。さらに撮影時間は平均5秒。救急対応など患者負担の軽減になっている。

4. MRI室

「核磁気共鳴現象」利用した撮影。

特徴は① X線を使わないこと ② 強力な磁石でできていること。あらゆる断面写真を撮ることができる。主に脳・腰椎・関節・肝臓・胆のうを撮影する。また、液体の流れを利用して薬剤を使わずに血管の撮影ができる。

インターンシップで学んだこと

医療の仕事はかなり大変

→ 看護師の資格をとるまでも大変。深夜によばれるのもツライ。

目標をもって努力し続けること

→ 目標をもつことは大事だとインタビューの際に看護師さんがおっしゃっていた。

人付き合いを大切にする

→ 新島病院長が人脈は財産だとおっしゃっていた。

前の自分

・看護師の仕事は正直何もわかっていないからわからない...



後の自分

看護師にもたくさん種類があって驚いた。放射線技師・臨床工学士の仕事もくわしく知ることができた。

こんな力を伸ばしたい!

コミュニケーション能力を高める

コミュニケーションはどこに行っても使えるし、一番重要だと思ったから。

人付き合いを大切にする

院長のお話で人間関係を築くことは大切だとおっしゃっていたから。

チャレンジ精神

未知体験のことにも果敢に取り組む。

2030年の未来

自分の興味 関心

ゲーム・スポーツ

体験した 仕事

医療関係の仕事

社会の動き

AI

体験した 仕事

医療関係の仕事

実現したい2030年の仕事の未来

ゲームやスポーツを通じて
健康な体を維持する施設

考察した2030年の仕事

体のどこが悪いのか
AIが判断してくれる

感想

関越中央病院は最新の医療機器を取り入れ最高級のもを提供しているのが良かった。医療機器だけでなく、患者や職員との人間関係も大事にしている、とてもいい病院だと思った。インターンシップを通じて、目標をもつこと、思いやりの気持ちをお忘れないうこと、努力し続けること、など、他にもさまざまなことを学べて本当に良かった。この体験を生かして頑張っていきたい。

病院の職業体験って
どんなことしたの〜?

関越中央病院って
どんな病院〜?

2030年の仕事
の未来って〜?

思いやりあふれる医療

— 関越中央病院 —

- ① 関越中央病院について
- ② 体験した仕事
- ③ 2030年の仕事の未来

☆ 関越中央病院 ☆

- ・主に、循環器、消化器を中心に診ている病院。
- ・患者さんの居場所をつくるため、「地域ケアセンター」や、「北原の里」という病気のある方も利用している介護施設とマンションのような住宅がある。
- ・地域に根ざした医療を目的としている
- ・生活習慣病の早期発見、早期治療に貢献している。
- ・近隣の施設、診療所、病院との連携を強化しつつ、生活習慣病対策に力を入れ、地域住民とのつながりを大切にした医療を展開している。



診療科目

- ・内科・循環器内科・外科・消化器外科
- ・麻酔科・肛門科・乳腺甲状腺科
- ・脳神経外科・呼吸器科・整形外科
- ・泌尿器科・腎透析科
- ・リハビリテーション科

このインターシップ先を選んだ理由

もともと人と関わるのが好きで、そのような仕事に興味があり、病院など医療なら人のために働くことができるため



体験した仕事

☆ 1日目

- 外来診察
- 手術室見学



- 透析室見学
- ICUの見学



- 火災訓練
- 昼食の配膳

看護師さんが患者さんの役をして、車いすに座ったり、時間も計って行っていた。

一人一人メニューや量が違くてそれぞれの患者さんに合った料理になっていた。

☆ 2日目

- 放射線の見学



1. 一般撮影室
2. X線 TV室
3. CT室
4. 血管撮影室
5. MRI室

- リハビリ

病気やけがなどによる後遺症を持つ人の社会復帰のために、行う、訓練、指導をする

理学療法士
作業療法士
言語聴覚士
の先生方が関わります



- 検査室の見学



患者さんの血液や尿などの検査をしていた。
<生理検査>と<検体検査>の2種類がある

☆ 3日目

- 地域ケアセンター

- 入浴の様子の見学
- 食事の配膳のお手伝い
- 集団レク（歌をうたう）

寝たまま、いすに座ったまま入れる機械浴。リフト浴があり、体の不自由な方でも入れるようになっていた。

- 北原の里（訪問看護ステーション）

生活密着の介護をしていて、地域ケアセンターと違って、1人1人の利用者の方々に部屋がある。

2030年の仕事の未来

自分の興味・関心
人と関わること
人間の心理

×

体験した仕事

医療

社会の動き

ロボット、AI
の普及

×

体験した仕事

医療

実現したい2030年の仕事の未来

精神的な病気以外でも、心理学を利用して、患者さんと関わり、少しでも病気への不安などをなくす医療の仕事

考察した2030年の仕事の未来

- ロボットを使った手術、治療、診察
- AIによる受け付け

インターシップで学んだこと

- 一言で表すと...

病院は患者さんへの
思いやりの場

<理由>

患者さんを支えるためにはたくさんの先生方が関わっていて、先生同士で資料を渡す時、一言「お願いします」と言っていて協力していたり、患者さんに対して明るく対応しているところを見て、患者さんを救いたい思いがあるからこそこの行動だと思うから、

患者さんの

資料を

- インターシップ前後の成長

前の自分

、知らない人への挨拶が苦手だった

後の自分

誰に対しても挨拶をしたり、明るく関わる大切さを知った。

- 成長するため何になぜ取り組む？

- 人と関わる職業のため、礼儀を身につける
- 医療関係は理系なので苦手な数学を頑張る
- 自分よりも「相手が優先」と思える思いやりの心をもつ

患者さんに 寄り添う医療

～ 関越中央病院 ～

○ 地域に根ざした医療を目的とし、昭和62年に開業。

↳ 院長先生にインタビュー！

Q どんな思いからこの病院を始めたんですか？

A もともと大学が京都で京都で学んだ「先進的な医療を群馬でもやりたいから」といふのと、地域に貢献したかったから。

1987年 2月
関越中央病院創設

1999年 9月
地域ケアセンター開設

2012年 11月
北原の里開設



地域への貢献
先進的な医療の
提供

「家に帰るためのケアセンター」
だったが、帰る家がある高
齢者は少なかった...

夫婦で共働きが家庭が増えたことから、自宅の高齢者の
介護が出来ない家庭も増加。時代背景に合わせ、
「家に帰るための地域ケアセンター」から在宅型医療介護施設
を併設。

★ 特徴

○ 「北原の里」地域ケアセンター、などの介護施設も併設されている。

北原の里
サービス付き高齢者住宅。
デイサービスやショートステイ、ケアマネージ
もしている。



地域ケアセンター
デイサービスやショートステイの他
に診療所、デイケア、認知症対応型
デイサービス、訪問介護、訪問リハ
ビリ、居宅介護支援事務所、高齢
者あんしんセンターなども複合している。



高齢者だけしかないマンションの
ような感じで、施設の中には利用
者の方々1人1人にしっかりとフロア
バートな空間がある。
部屋の中はなんでも持ち込みOK
なので、人によって部屋の様子は
全く違う。

デイサービスの
車!



どんぱりころころ

歌のレクリエーションの時間が終わった
後、「高校生の歌も聴きたい!」と言われ、
急遽歌うことになりましたw

体験スケジュール

1日目

- ① 院内見学
- ② 外来診察、透析室、病棟の見学



「血液透析」
腎臓病などで腎臓機能が
なくなった患者さんが行う。
週3回 4時間程で体内の
血液をこの機械を使うことで
入れかえている。

③ 防災訓練の見学

⇒ たまたまインターシャロに行きた日訓練の日だった。
患者さんを一番に考え緊張感のある訓練を行っていた。

④ 昼食の配膳

⑤ 経営者インタビュー

院長先生に
インタビュー!!

⑥ ICU見学

最大6人まで入れる
集中治療室。
人工呼吸をついている
人がほとんどだった。



2日目

- ① 放射線室、リハビリテーション室、検査室の見学



- ② 血糖値の測り方を教わった。
↳ 実際に測り、頂きました!!
- ③ 患者さんのカルテを見させてもらった。
- ④ 従業員インタビュー

実際に測り、
頂いた
心電図!



3日目

- ① 地域ケアセンター見学



それぞれの家庭に合わせて
利用する期間などは
様々。



認知症の利用者さんが
いる「えがお」の中
の部屋。



② 北原の里の見学

認知症の92歳の女性のケアの様子を見学させてもら
看護士さんは点滴をかえるだけの短い間にでも利用
者さんとお話してコミュニケーションをとっていた。
認知症はかなり進んでいる方だったので、会話は成
り立っていなかったけれど、決して否定はせずに「そうですね
と笑顔で答えていた。

また自分の
家のようにくつろげる
空間!

探究型インターンシップで学んだこと

・医療は変わり続けるから日々勉強!!

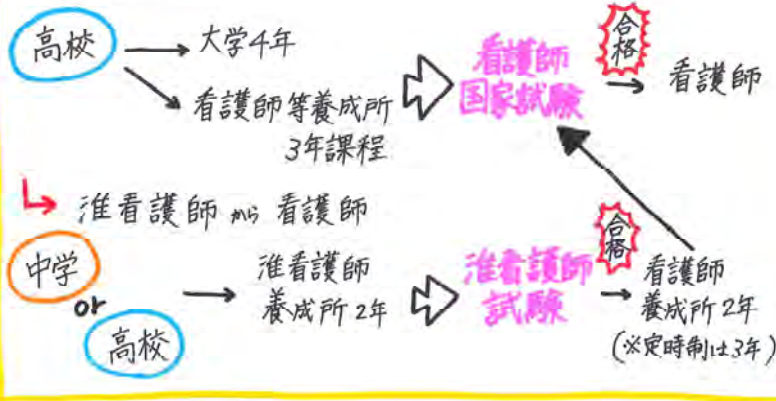
定期的に
研修やセミナーがある。

↳ 新しい医療を学ぶ。



○ 資格をとるには色々な方法がある。

↳ 看護師



○ 自分の体調が万全でないときでさえ患者さんに寄り添えるような

「精神力」と「思いやり」

↳ 自分の体調の都合で休んでいたら、同僚や患者さんにとっても迷惑がかかる。だからいくら体調が悪くても出勤して患者さんにいつもどおり接することが大切!!

インターンシップでの成長

- ・医療人の憧れはあったものの、分野によってはよく知らないことも多かった。
- ・医療にすそも勇気がなかった。

医療に関することをたくさん知れたい医療に携わる人たちがどんな気持ちで毎日働いているのかも知れた。
・医療を目指そうと思えた。



最近では共働きの家庭が増えているから、関越中央病院だけでなく、病院で働くお父さんやお母さんのために子どもを預けられるような施設が併設されている所も多い。

2030年

★ 医療の仕事の未来はどのように変わっているのだろうか? どんな未来を創るのか?

自分の好きなこと

英語 × 医療

2030年の社会の動き

AI × 医療

- 日本人の医者や看護師が日本だけでなく、国外でも活躍するようになる。
- どんどん英語が主流になってきているから、国籍を越えた医療が行われるようになる。

- 治療にどんどんAIが導入されていく。
- 患者さんの体温や血圧、血糖値など、すべてのことをAIが一括管理できるようになる!!
(看護師の不担(減)。)

医療の道に進むために

—関越中央病院—

関越中央病院は循環器内科と消化器外科を中心とした急性医療を行っている。心臓カテーテル検査、癌の早期発見、化学療法、血液透析や救急患者の24時間受け入れも行っている。病院の他にも地域ケアセンターや訪問看護ステーションと高齢者賃貸住宅がある。診療科目は、内科・循環器内科・外科・消化器外科・麻酔科・肛門科・乳腺甲状腺科・脳神経外科・呼吸器科・整形外科・泌尿器科・腎透析科・リハビリテーション科がある。勤務形態は、日勤・準夜勤・深夜勤の交代制。

—この仕事を選んだ理由—

親が医療関係の仕事に就いていたのもあり、もともと医療に興味があり、これを機に看護師などの仕事を深く知りたいと思ったから。

看護職について

看護師

病気やけがのために療養している人の日常生活の援助や、医師が診療や治療を行う際に安全で効果的に行える補助をする。「人を見る」という看護師独自の視点で対象となる人も身体、精神、社会、文化などの側面から捉え、患者さんの生命と生活を支えている。

保健師

人々が健康な生活を送れるように保健活動を行う。保健センターなどで乳幼児健診や健康相談、生活習慣病対策などを行うのが仕事。自宅療養所の家庭訪問など子どもから高齢者まで健康に暮らせる地域づくりに向けて活動している。

助産師

出産の介助はもちろん、出産にいたるまでの妊産婦への保護指導やアドバイス、産後の母子ケアまで担っている。その他にも、育児指導や不妊治療を行っている夫婦の相談、思春期・更年期の健康に関する相談など女性の生涯を通じた健康問題に関わる。

- ・認定看護師…高度化し、専門分化が進む現場で、水準の高い看護を実践できると思われた看護師。
- ・専門看護師…水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師。

体験したこと

1日目

- 外来診察見学
- 透析室見学
- ICU見学
- 手術室見学
- 昼食の配膳
- 火災訓練
- 経営者インタビュー

2日目

- 放射線科
(一般撮影室、X線TV室、CT室、血管撮影室、MRI室)見学
- リハビリルーム見学
- 病棟見学
- 従業員インタビュー

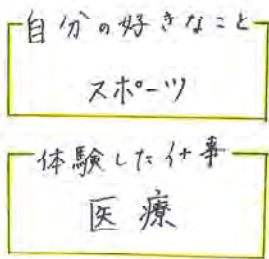
3日目

- 地域ケアセンター
- 訪問看護 同行

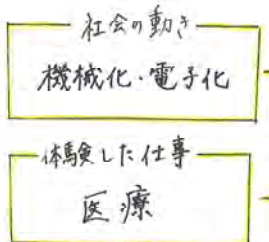


経営者インタビューでは、病院長から貴重なお話を聞くことができました。印象に残ったのは、「目標をもち」と言われたことです。やはり何かと頑張るには目標がないといけないのだと思いました。また、努力する才能があれば医療に向き不向きは関係ないのだということも学びました。従業員インタビューでは、たくさんの方から大切なことをたくさん教えていただきました。しっかりと今後に活かしていきたいです。

2030年の医療



スポーツや運動することを利用した医療が発達しないだろうか。または、治療にスポーツを使えないだろうか。(リハビリなど)



人手不足が問題になるとロボットを導入する。手術や検査の治療を始め、診察や受付もどんどん機械化していいのではないかと。



学んだこと

インターンシップで学んだことを一言で表すと社会に出ることの「大変さ」です。大人のいる社会で、しかも時には人の命を預かることもあるこの仕事の現場を見て体験することで、社会に出ることの「大変さ」や「苦勞」を実感しました。

—まとめ—

前：言われたことをするだけ。言われてから動く。

後：人に言われる前に自分で考えて、進んで動くように意識するようになる。

評価

i	主体性(当事者意識)	C
ii	主体性(自覚意識)	C
iii	主体性(貢献意識)	C
iv	探究心	C
v	コミュニケーション(関係構築)	B
vi	コミュニケーション(傾聴)	B
vii	チャレンジ	B

- 主体性が欠けている
- 探究心を持つ
- コミュニケーション能力をさらばのばしていきたい

憧れの医療現場に潜入! in 関越中央病院



〈病院の特徴〉

主に循環器内科と消化器外科を中心に急性期医療を行い、心臓カテテル検査やがんの早期発見・化学療法、血液透析等の他に、救急患者の24時間受け入れ、地域医療に貢献。

また、介護施設や訪問看護ステーションを併設している。

【職員数】

常勤医師 6人 事務 55人
看護師 101人 (保健師・看護師・准看護師・看護助手・看護学生)
パラメディカル 56人 (薬剤師・栄養士・検査技師・放射線技師・臨床工学士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)

【勤務時間】

日勤: 8:30 ~ 17:30
準夜: 16:30 ~ 1:30
深夜: 0:30 ~ 9:30

【看護師支援】

院内保育 24時間
春夏冬休み期間中の「学童保育」
育児時短制度 (小学校就学前まで)

看護師の多さにとっても驚いたし現場でもわかった

院内に保育園だよりや園児が書いた手紙などが掲示してある

なぜその仕事を 選んだ?

看護師という仕事に興味があり、日常の患者さんとして見てもらうのではなく、看護師として医療の現場を見てみたかったからです。

目体験スケジュール

1日目: オリエンテーション → 院内見学 → 外来診察見学
昼食の配膳 ← 病棟見学 ← 透析室見学 ←
防災訓練見学 → 経営者インタビュー →
手術室・ICU室見学

2日目: 放射線科見学 → リハビリ室見学 → 検査室見学
従業者 ← カテテル見学 ← 2-3階病棟の見学
インタビュー

3日目: 地域ケアセンター見学 → 「北原の里」見学

従業者インタビュー

看護師についてや医療関係全般など、その他に社会でのことなども教えてくださった。たくさんのごことを学ぶことができた。そしてたくさん質問を受け取った。

地域ケアセンター

介護が必要な方、家で1人の方など様々な方が朝がたまでいて、家に帰るといふ人が来る所。利用者さんとの交流がとっても楽しく、看護師さんたちも仕事をこなしながら楽しんでやっていた印象。

～体験したこと紹介～

防災訓練見学

年に2回しかない防災訓練を見学した。看護師や医師たちが実際に患者さんの役をやっていた。

手術室・ICU室見学

手術室には色々な医療器具があった。とても大きな部屋で患者さんにも医師たちにも良い環境が作られていた。手術室にある物は全て手術のために便利になっている物が多かった。

放射線科見学

胸部・腹部・骨関係を撮影する一般撮影室、胃や腸を見るX線TV室、X線で「わざり」の撮影ができるCT室、心臓カテテル検査を行う血管撮影室、X線を使わず、強かな磁石でできるMRI室に入った。詳しく説明もしてくれたのでとてもわかりやすかった。

リハビリ室

1人1人リハビリをするペースが違うので患者さんに合わせて行う。緊急時の道具もあり、理学療法士さんでも、道具の名前を覚えなくてはならない。

インターンシップで 学んだこと!

《学んだこと》

看護師という仕事はもちろんその他の医療関係の人は“**気遣い**”がとても大切。

“気遣い”は医療関係の仕事をしていない人も大切なことだと思います。そういった社会でも大切なことも学ばせていただきました。その他にも**努力**すること、**目的**を持つことなど様々なことを学ばせていただき、とても貴重な体験をしたと思っています。

インターンシップでの**前後**...

前

人の話を聞くことや人と話すことがあまり得意としていなかった。

後

人の話を聞く時、うなずいたり、笑顔で聞くことができ、初対面の人でも話すことができた。

《思ったこと》

“**努力**”と“**目的**”を持つことは大切だということ。

看護師や医師はもちろんたくさん努力をしているはず。その他の仕事でも努力をしないで職業につく人はいないと思います。そういう人たちは努力をしてなりた職業になっていると思うと、自分も努力してなりた職業につけるようになりたいと思いました。それ、仕事をしている人は何事にも**目的**を持っているので**目的**を持ちながら頑張りたと思います。

これから何に**取り組む**?

看護師という仕事に興味はあるが、まだ「これ!」と決まらないうえに、どの職業につけるように何事にも**努力**して頑張りていきたいし、**興味**をもったものにたくさんふれて**取り組む**ていきたい。

2030年の**仕事**の**未来**

◎こうなっているであろう!

《**社会の動き**》

AIや3D画像などで**診断技術**が向上↑

×

《**体験した仕事**》

CT・MRI室などの**見学**や実際に**体験**させてもらった。



～**考察**した2030年の**仕事**の**未来**～

診断技術が高まり、画像解析がすばやくできるようになるが、**機械**に全て任せるのではなく、**人も**加わって**判断**する仕事にする。

◎こうなっていてほしい!

《**自分の興味・関心**》

テレビを**観る事**
人の役に立つ事

×

《**体験した仕事**》

昼食の**配膳**
看護師さんの**仕事の見学**など



～**実現**した2030年の**仕事**の**未来**～

現在、**少子化**であるため2030年は**人数不足**になるが、そのようになって**患者さん**に対して“**思いやり**”をもって接することができる**仕事**にする。

医療について学んだこと!!

関越中央病院

- 体験の中で印象に残ったこと
- 3日間で学んだこと
- インタビュー内容



体験の中で印象に残ったこと

ICU手術室おエンターション

ICUには重症治療を受ける必要のある患者さんがいる所です。中に入ると重症な患者さんに対して看護師の方々がいい対応しているのが印象的でした。

手術室では、医師だけでなく看護師も現場に同行するという話を聞きました。中には電気メスなどのさまざまな器具がありました。

* 地域ケアセンター

地域ケアセンターではデイサービスなどで施設に訪れるおじいちゃんや、おばあちゃんとお話をしたり、歌を歌ったり、風食の配膳をしました。

おなさんが私たちを受け入れ話しかけてくれてとても楽しい時間がすごかったです。デイサービスでは夏祭りなどのイベントも行っており、いつも笑うことが少ないおなさんも笑顔になるような温かい場所なのだと思います。



インタビューしたこと

Q & A

Q 医療に進むために大切にしたいことがいいことは何ですか？

A 医師：使命感を持って行動

- 自分で決めたこと、やらなくてはいいことを考える
- 自分を高める気持ち

看護師：おもいやりの心

- 感情のコントロール
- 笑顔を大切にする
- 患者さんにあわせる

Q どのような進路を進めば"医療に関わる"ことができますか？

A 理系に進むこと

- 大学に進む
- 働きながら資格をとる
- 国家資格をとる

Q 気をつけていることは何ですか？

A 健康

- 相手との関わりを大切にする

3日間で学んだこと

Q 相手を思いやる気持ち

相手を思いやる気持ちは私がこの3日間の中で一番強く感じたことです。

どの看護師の方も患者さんがどうやって気持ちが良いか、痛くない方法はないかなどと一番重要視していると言っていました。

患者さんは病院にいるということが一番不安だと思うので、少しでも気持ちを軽くしようとしているところが伝わってきました。

Q 努力すること

医師のやりがい大変さが少しの間でも伝わってきました。でも院長さんは努力をすることが大切だという言葉聞き、今努力できることをあきらめずやろうと思いました。



患者と医師が繋がる

多職種連携型病院

○ 希望館病院 (医療法人 松沢会)

- ・昭和32年1月… 希望館診療所を開設 (19床)
- ↓
- ・現在… 希望館病院 (130床)

<病院の概用>

○ 診療科目

- 内科・血液内科・皮膚泌尿器科・整形外科 (土曜日)
- ・リハビリテーション科・神経科 (水曜日)・循環器内科 (隔週)
- ・人工透析・リマウチ内科 (1日のみ)

○ 春照苑 (介護老人保健施設)

- ・通所リハビリテーション 30名
- ・入所サービス 70床
- ・短期入所サービスも可能



なぜこの会社を選んだ? (自分が)

- ・たくさんの医療関係の職種を体験できるから。
- ・人の役に立つ仕事がしたいから。
- ・患者と、出来ないことが出来たときの喜びを一緒に味わいたいから。

○ カーネーション (サービス付き高齢者向け住宅)

- ・入居条件… 満60歳以上の方又は要介護状態と認定された方
- ・定員… 19名



○ 体験スケジュール

～1日目～

[施設内の見学]

① 院内

- ・事務室… 主に病院のお金を管理して重要な仕事の1つ
- ・薬剤室… 患者さんに適した薬をその場で作って渡している。
- ・レントゲン室… 壁が分厚く放射線が出ないような仕組み。機械を優先するため、空調を良くしている



実際に私たちのシャープペンシルを使って、内部を撮影してもらいました。

2019/08/28 病院見学
希望館病院 放射線科 CT画像

- ・外来室… 主に患者さんを診察 (注射、採血など)
- ・給食室… 毎日100人以上のご飯を作る。希望館病院などの大きい病院は管理栄養士がいなくてはいけない。衛生面には気をつける (湯に手洗い)。
- ・検査室… 患者さんの血液を調べる (インフルエンザの検査も)
- ・透析室… 腎臓の機能を人口的に代替する (人工透析)

② 施設の説明と質問

- Q: 医療ソーシャルワーカーとは?
- A: 主に医療機関で働く相談員のこと。希望館病院のSWは社会福祉士
- Q: なぜ多職種連携が必要なのか?
- A: 医師、看護師をはじめ関係する多職種がお互いの能力を引き出すことで、少ない人数でも知率的・効果的な医療・介護サービスを提供できるから。

③ 春照苑・カーネーションの見学

～2日目～

[リハビリ室で理学関係の仕事]

- (体操 → 個人でのリハビリ)
- ・1回目 9:00～10:00
- ・2回目 10:00～11:00
- ・3回目 11:00～12:00
- ・4回目 14:00～15:00

④ 質問とふり返り

☆ 理学療法士、作業療法士と自分から話したこと☆

- ・関節を動かさない患者は自分が手伝ってあげる
- ・相談医と話し、患者に適したリハビリをする
- ・患者とのコミュニケーションを大切に
- ・いつもそばに寄り添って歩く

⑤ リハビリ

患者のステップアップを見ること!

～3日目～

[看護関係の仕事]

- ① 血圧を測る… 生徒同士で練習した後、実際に患者さんの血圧を測る
- ② 注射の練習… 刺すのではなく、水を注射器の中に入れる練習
- ③ 患者の足洗い… ぬるま湯と泡で患者の足を洗う

実際に洗っている様子



- ④ 包帯の巻き方… 手と腕を生徒同士で巻く

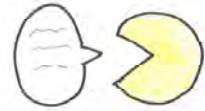
⑤ ふり返りシートと質問

Q: なぜ看護士になろうと思ったのか?

- A: 自分が入院した時に、この看護士さんが親切にしてくれて、自分もこうなりたいと思ったから。

○ インターンシップで学んだことを一言で表すと...

『コミュニケーションの大切さ』



理由

- この医療現場に行っても、医師や看護師が笑顔で患者とコミュニケーションをとっていたから。
- 患者とコミュニケーションをとらないと、体の健康状態だけでなく、気持ちも分からないから。

インターンシップ前の自分

- 自分から患者に対し、話しかけることが出来なかった。
- 患者とどう接すれば良いか分からなかった。



インターンシップ後の自分

- 進んで話しかけられるようになった。
- 笑顔で話しかけることで、患者と仲良く話せるようになった。

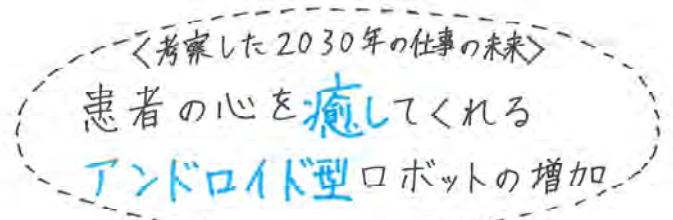
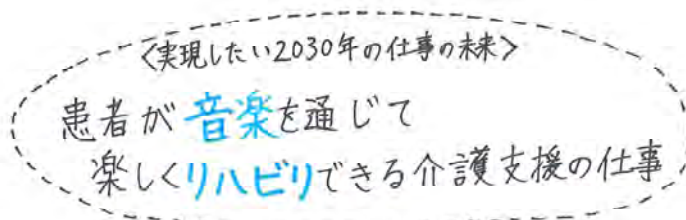
○ これからの日常

- 社会に出ていくためには、「コミュニケーション力」が必要なので、始めは身近にいる人との会話を大切にしたい。
 - 積極的にあいさつを行い、誰もが気持ちの良い1日を過ごせるようにしたい。
- そのために....

• 主体性 • コミュニケーション • 探究心

を伸ばしていきたい

○ 自分が願う2030年の仕事の未来



希望館病院



病院について

診療科目

内科 血液内科 皮膚泌尿器科 リハビリテーション科
 整形外科 神経科 循環器内科 リウマチ内科 人工透析

病床数 130床

介護老人保健施設

春照苑

介護老人保健施設とは、要介護高齢者の在宅復帰を目指すため、医師の医療的管理の下、看護・介護を提供する施設です。

週3回以上の専門的なリハビリテーションや、管理栄養士による栄養管理の整った食事、充実したレクリエーションやイベントなどがあり、とても工夫されていた施設でした。

サービス付き高齢者向け住宅
カーネーション

サービス付き高齢者向け住宅とは、国土交通省・厚生労働省が定めた一定基準を満たし、安否確認・緊急時対応が付いた、高齢者が24時間365日、安心して生活できる賃貸住宅。

生活相談サービスや安否確認サービス、協力医療機関である希望館病院があり、安心して生活できる施設だと思います。

多職種連携

体験スケジュール

1日目

院内見学
病院についての説明
春照苑の見学
カーネーション

2日目

理学療法
作業療法
の体験

3日目

看護体験
(血圧・注射
包帯の巻き方
足洗い)

○ 理学療法・作業療法 ○

そもそも、理学療法士と作業療法士のちがいは？

理学療法は日常生活に必要な基本動作ができるように身体の基本的な機能回復をサポートする動作のリハビリテーション。

作業療法は、入浴や食事など日常生活の動作や、レクリエーションなど、あらゆる作業活動を通して行う身体と心のリハビリテーション。

患者さん一人一人に合わせた様々な工夫

○ 看護体験



2日目の!

インターンシップで学んだこと

○ インターンシップ前と後の私

前の自分

「何となく」看護系の仕事につけたらいいな。
病院の仕事はどんなものがあるのかよく知らなかった。

後の自分

看護師、臨床検査技師の仕事に興味があった。
医者・看護師だけでなく病院の仕事を知った。



2019/08/28 病院見学
希望館病院 放射線科 CT画像

放射線科

現在の自分から未来の自分へ成長していくために取り組むこと

人の命を扱う仕事なので「責任感」をもって行動したい。一歩一歩の行動が患者さんの命に関わることなので、正しい手順を踏むことを大切にしたい。
また、医師や同僚の看護師、患者さんなど多くの人と関わるので、コミュニケーション力をつけたい。言いたいことを正しく伝えられるようにする。

- ・ 薬剤師
- ・ 放射線技師
- ・ 理学療法士
- ・ 作業療法士
- ・ ソーシャルワーカー
- 臨床検査技師
- ・ 医療事務
- ・ 調理師、栄養師
- ・ 血液透析

2030年の看護師の仕事

★ 自分の興味・関心と看護師

自分の興味・関心

音楽

× 看護師



患者さんが音楽を通じて明るい気持ちで治療やリハビリを行えるような医療。

★ 社会の動きと看護師

社会の動き

高齢化

× 看護師



高齢化による看護師の人手不足
看護を支えるロボットの普及

介護ロボット

現状 → 開発は進んでいるが一般的にはまだ普及していない。

○ 希望館病院でもリハビリ室から病室に戻るまで車イスの患者さん3人を1人の看護師さんが順番に押していた。 → 安全センサーなどが搭載されている車イスなど。

課題

コストや安全性への不安、正しい商品知識の教育など。

人々を救う病院の仕事

会社の紹介

医療法人 松沢会 **希望館病院**
介護老人保健施設 春照苑と
サービス付高齢者向け住宅 カーネーションを併設

診療科目: 内科, 血液内科, 皮膚泌尿器科,
リハビリテーション科, 整形外科,
神経科, 循環器科, リマウチ科, 人工透析

病床数: 130床

理念: 「地域に密着し、きめ細やかな医療
サービスを提供します。」

この仕事を選んだ理由

私は看護師を目指しているため、
実際に病院での仕事の様子が見た
かったから。

仕事紹介

医師や看護師以外にも薬剤師や理学療
法士, 作業療法士, 臨床検査技師など様々な
医療の資格を必要とする仕事がある。
また, 事務や調理師, 社会福祉士などの仕
事もあり, 病院は専門的な仕事が集
まって成り立っている。

体験スケジュール

1日目: 社会福祉士の仕事について
院内と併設施設の見学

2日目: リハビリテーション科での
見学と体験

3日目: 看護体験

2日目: リハビリテーション科の見学・体験
患者さんと一緒に体操
お話をする
リハビリのお手伝い

3日目: 看護体験

血圧をはかる練習
患者さんの血圧をはかる
注射器に薬を入れる練習
昼食中の患者さんとお話を
患者さんの足を洗う
包帯を巻く練習

体験したこと

1日目: 院内見学

(事務室, 調剤室, 放射線室,
透析室, 調理室など)

社会福祉士の仕事について
併設施設の見学



自分なりに挑戦したこと

最初は自分から患者さんに話しかけら
れなかったけれど, 段々と笑顔で話しかけるよ
うに頑張った。

インターンシップで学んだこと

○自分から積極的に行動し、笑顔で話すこと。

理由: 病院の方が仕事をする際にこれらのことを大切にしていると聞き、体験によって自分でも実感したから。

自分の成長

〈インターンシップ前〉

周りに合わせて後ろをついていくように行動していた。

〈インターンシップ後〉

自分で考えて行動しようと思うようになった。



どんな力を伸ばしていきたい?

〈現在〉 〈未来〉

○主体性 当事者意識	B	⇒	A
○主体性 目的意識	B	⇒	A
○主体性 貢献意識	B	⇒	A
○探究心	C	⇒	A
○コミュニケーション 関係構築	C	⇒	A
○コミュニケーション 傾聴	C	⇒	A
○チャレンジ	B	⇒	A

こうなっていてほしい!
2030年の仕事の未来

〈自分の
興味・関心〉

音楽



〈体験した仕事〉

病院の仕事



〈実現したい2030年の仕事の未来〉

患者さんに音楽を聴いてもらうことで、楽しみながら精神面を治療する。

こうなっているであろう!
2030年の仕事の未来

〈社会の動き〉

AI



〈体験した仕事〉

病院の仕事



〈考察した2030年の仕事の未来〉

リハビリテーションなどの患者さんの治療の手伝いをロボットがする。



いつも患者さんのことを 考えて動く ～ 希望館病院 ～

会社の紹介

希望館病院 高崎市江木町

理念：地域に密着し、きめ細やかな医療
サービスを提供する。

診療科目：内科・血液内科・皮膚泌尿器科
リハビリテーション科・整形外科・神経科
循環器内科・リウマチ内科・人工透析

希望館病院を選んだ理由

私は医療の仕事に興味がありました。医療の仕事での具体的に



りたい職務が決まっていなかったので、様々な診療科目を持つ希望館病院に行き、それぞれの仕事はどのようなことをするのかを知りたいと思いました。

カーネーション

この施設は在宅困難、通院困難な血液疾患の患者さんが中心に利用している施設です。1人の利用者さんに1つの個室が用意されています。希望館病院との連携が緊密であるので、急変時対応がスムーズで、施設を利用している方が家族も安心です。



春照苑

この施設では在宅復帰を目的に在宅計画を支援しています。主に入所者さんの食事や排泄、入浴などの身体介護や生活援助をしています。また、短期入所サービスといったご家族の体調不良や外出・外泊などで介護が難しい方々のために利用できるサービスがあります。最近ニュースなどで親戚の介護に疲れを感じている人が増えていることと耳にするので、その方たちが自分の自由な時間を持つことができるのでこのサービスはとても良いものであるなと思いました。



3日間の体験スケジュール

1日目



シャペンのレントゲン撮らせてもらいました!!



1日目では病院内をまわらせていただきました。印象に残ったのは、調理室です。患者さんに食事を提供するので衛生管理が綿密でした。調理師さんのご家族までの健康状態を気にしていたり、髪型や服装なども厳しく制限されていました。また、患者さんの食事がご自身の人もいれど、おかげで入る人もいて、お米だけでも5種類ほど段階があって驚きました。

3日目の看護体験でナース服を着せていただきました!!



3日目 看護体験

注射器に液を入れる練習をさせてもらいました。ゴム手袋をしていても、先端にふれてはいいながら、注射器を上に向けてはいいながらと細かに注意点がたくさんありました。衛生面の管理が徹底されていて驚きました。血圧の測り方を教えていただき実際に患者さんの血圧も測らせてもらいました。この体験をして看護では、患者さんの体調を管理することの他にも、コミュニケーションをとったり、患者さんの負担にならないように考えて行動をとったりすることも大切なことだと学びました。最後は患者さんの足を洗わせてもらいました。話しが上手にできない患者さんで水が熱すぎないか、痛くしてはいないかととても不安で緊張しました。患者さんには、痛いなどの気持ちをだせない方もいて、しっかりと読み取ってあげなければなりません。患者さんと接することは自分が思っていたよりも大変で難しさを学びました。

注射器に液を入れる練習をさせてもらいました。ゴム手袋をしていても、先端にふれてはいいながら、注射器を上に向けてはいいながらと細かに注意点がたくさんありました。

2日目 リハビリ室

患者さんのリハビリの手伝いをさせてもらいました。それぞれの患者さんに合ったリハビリをして、目標を決めて頑張っていました。大きな目標よりも自力で車いすに乗れるようになることや排泄ができるようになることなどひとつひとつの行動に向けて目標を立てていました。まひで首がおこせなかった患者さんもリハビリを続け、首を上げられるようになったそうです。リハビリの仕事は患者さんと深く関わって近くでサポートができるとても素晴らしい仕事だなと思いました。



医療の仕事には、レントゲンを撮る放射線技師の方、血液や尿を調べる検査技師の方、患者さんの個人情報を守る事務の方、リハビリをする理学療法士の方、薬を調剤する薬剤師の方など様々でした。



インターンシップで 学んだこと

学び・感想

私は今回のインターンシップをして学んだことを一言で表すと仕事の大変さを知ったということです。3日間、希望館病院の方に私の仕事を体験させていただいて、仕事をすべて任せてくれたわけではないのに、私自身がとても疲れてしまいました。



働いている方々に、仕事をしている上で気を付けていることをうかがったところ、患者さんの命を預かるといふことをわづらわず、常に気を抜かず患者さんと接することばかり聞きました。その答えを聞いたとき、私は自分が仕事をあまりみてしまっていたことを認識しました。自分の両親に、毎日自分のために仕事をしてくれていることのおりがたきを感じました。また、働いている方々みなさん決まった仕事を任されるばかりではなく、患者さんの様子を見て自分重かいていました。社会にどれだけ誰からも指示されず、自分で動かなければならぬものなのだと気づき、

インターンシップに行く前の自分

積極性がなかった。人に頼まれたことしかできなかった。人に挨拶や返事がはきはきとできていなかった。仕事は自分で稼いでいるかと思っ



行った後

自分からやることをみつけて、動くようになった。従業員の方や患者さんにはおはきと受け応えができるようになった。仕事は自分が想像していたより大変なもので働くことはすごいことだなと思うようになった。

その厳しさを身をもって感じることもできました。今の私には周りをみて自分から動くということがそれほどできていません。だからこれからは周りの指示を待っているのではなく、自分から気づいて行動するようにしたいと思いました。また、挨拶・返事は社会の中であたりまえにできなければならぬことなので、今から意識して頑張りたいと思います。このインターンシップの体験でたくさん貴重な経験をさせていただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



社会の動きに合わせた 取り組みを

～ 2030年の仕事の未来 ～

希望館病院の少子高齢化への対策

多職種連携

今後の社会は医療・介護サービスが必須となる高齢者が増え、一方で生産年齢人口が減少していき、それによって少ない人数で効率的・効果的な医療・介護サービスを提供しなければならなくなります。

そのため多職種連携をして、お互いの能力を最大限に引き出す必要があります。それには異なる職種同士でも理解し合うことが大切です。希望館病院では医療と介護が連携して毎月1回会議を行っています。その会議では、様々な問題・課題を話し合っ

たてに会議に参加するだけでなく、本音で語るということを理念としています。人手不足であるからこそ少人数でも、方向性を明確にして働くことが重視されています。



こうなっていきたい仕事の未来

1日目で施設を回った時に、人工透析の部屋に行く話を聞きました。人工透析を長時間することもできるのですが、患者さんの負担になるため1日3時間で4日間するそうです。医療の機械が今後もっと進歩して人工透析のように、患者さんがもっと気持ちにゆとりを持って治療ができるようになってほしいなと思いました。最近では施設があっても人手が足りなくて、介護施設を始められないというケースが起きているそうです。AI導入によって、少ない人手で働けるようにしてお年寄りが施設に入りやすい環境になればいいなと思います。

こうなるだろう仕事の未来

看護師の方たちの仕事を一緒に体験させていただいて、患者さんの食事の移動や検査への移動で車いすを押す仕事がとても負担になっているのではないかと思います。人手不足の社会なので、車いすが手のスイッチで自動に動いてくれたり車いすが設定した場所まで連れていってくれたりするものができるといいなと思いました。それによって看護師の方は、患者さんとの時間を多くとることができて、効率がよくなるのだと思います。

[医療と健康]

医療法人 松沢会 希望館病院
 (● 介護老人保健施設 春照苑
 ● サービス付き高齢者施設 カーネーション

選ぶ理由

人の役に立つ仕事を見たいと思っ
 てるから
 興味があるから

★ 医療と介護などの 多職種 の連携や
 地域との連携を大切にし、きめ細やかな
 医療サービスを提供する

なぜ多職種連携が大切?

高齢者が増加する一方...
 生産年齢人口は減少!!

少ない人数でも効率的、効果的に医療・介護サービスを提供するため

診療科目
 内科 血液内科 皮膚泌尿器科
 リハビリテーション科 整形外科 神経科
 循環器内科 リウマチ内科 人工透析
 病床数
 130床

＜1本馬乗りスケジュール＞

～10日～	～20日～	～30日～
院内見学	リハビリ テーション	看護業務
病院SWR への説明	(時間1人1日)	
施設見学		

- 一緒に毛糸の玉をつくる
 ↳ 集中する時間をつくるため
- 簡単な編み物やマスク作り
- 運搬中の声かけ
- 看護業務
 ↳ 大切にしてほしいこと
 責任感と優しさ!
 自分だけでなく相手を見て
 ほしいことを考える。
- 血圧の測定
 ↳ 機械だと数値が高くなるため...
 腕の圧血、自分の目で目視確認!
- 注射器の扱い方
 ↳ 先端部分の不潔に注意して使うため
 触る部分には細心の注意
- 包帯の巻き方
 ↳ 巻く手の厚さを合わせる
- 患者さんの足の洗う

○ リハビリテーション

★ それぞれの症状や状態に合ったリハビリを行う

- 全員が体操
 (手、腕、肩、首、足に動かす) YHBY
- 全員が車イスに乗っているため
 座り姿勢の状態を行う
 ミニカーやリフト車
 でのリハビリが
 リハビリのイメージ!

・キャッチボール

インテグレーション

- 相手の立場を考慮した行動をとり
- コミュニケーションの大切さを

<理由>

実際に患者さんと接し、患者さんへの思いが、どうしたら良いかというように考えられたから。

自分自身の成長

インテグレーション前...

- コミュニケーションが苦手で思っていた
- (その行動をとり、色々と考えている)

インテグレーション後!

- 思いがけずコミュニケーションが得意になり、自信が湧いた
- 人の役に立てると、強くなるようになった

目的をもって

積極的行動をとる!



2030年の仕事の未来

★ こう行っているけれど!
(興味・関心・願望・願いの実現)

自分の興味・関心

動物
(小動物)



体験型仕事

リハビリ
看護



- 入院中は目撃体験してもらえたり、話し相手がいなくて寂しい時に心癒す
- インフォメーションも提供して、お話しする

★ こう行っているであろう!
(社会の動きを考慮して)

社会の動き

高齢化
人手不足
機械の発達



体験型仕事

リハビリ
看護



- 高齢化により、施設数の増加が必要
- 中々、苦痛はく、体に装着するデバイス、医師に患者さんの状態を伝えるシステム

2030年に向けての医療

— 希望館病院 —

理念 地域に密着し、きめ細かな医療サービスの提供

診療科目 内科 血液内科 皮膚泌尿器科 人工透析
リハビリテーション科 整形外科 神経科
循環器内科 リウマチ内科

病床数 130床

その他の施設 介護老人保健施設 春照苑
サービス付高齢者向け住宅 カーネーション

希望館病院を選んだ理由

将来、医療関係の道に
進みたいと思ったから

— 病院の仕事 —

診療放射線技師

レントゲン技師
CT画像やMRIをとったりする。
レントゲン室にある機械はとても高い

薬剤師

薬局で働く
患者さんに合わせて薬を提供する
なるべく間違いを少なくする

事務
お金の管理
など

看護師

患者さんの
手当てや
注射をするなど
いろいろな仕事

栄養士

病院食をつくる
その人、その人にあつた形や、やあらかさなど
衛生管理、体調管理
→ 大切

リハビリワーカー
医療機関で働く
相談員

作業療法士

日常的な動作の
リハビリ
(主に上半身)

理学療法士

腕や脚のリハビリ
(主に下半身)

— 体験スケジュール —

1日目 病院内見学
春照苑・カーネーション見学

2日目 理学療法士、作業療法士の
仕事の見学と体験

3日目 看護師の仕事の見学と体験

普通のごはんとおかず

ミキサーにかけたおかず

患者さんのご飯

ドボロのおかず

やあらかめのご飯

食べられない人には

カロリーの高いゼリー

ドリンク

病院には患者さんがどこに行けばいいのかわかりやすいように
床の色テープを貼って、
それをたどっていけば、
目的の場所に着くように
なりました

パソコンを使って
記事の見出しをつけよう!!



— 体験したこと —

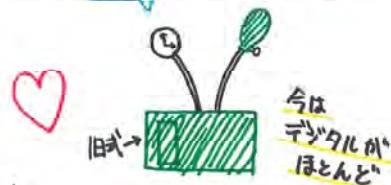
「レントゲン室」
機械に合わせて
空調を管理している



2019/08/28 病院見学
希望館病院 放射線科 CT画像

シャペンのCT画像

血圧をはかる



実際は患者さんの血圧を測りました

患者さんを見るまはあいさつが大切!

注射器に薬を実際に入れたり水を入れたりしました

患者さんのあしを優しく洗う

看護師

理学・作業療法

動くところをとにかく鍛えるリハビリ
その人その人の病気の症状などに合った
さまざまなリハビリがあった
私は患者さんと一緒に毛糸で動物を作るや
毛糸をまいたりしました

ペダルこぎなど

— インターンシップで学んだことを
一言で表すと —

私が学んだのは...

仕事の大切さ

理由 病院で働いている人はいろいろな職業の人がいて、どの仕事が無くなっても病院はなりたたないと思ったから、どの仕事もとても大切だと思い、仕事の大切さがインターンシップで学んだことだと思った。

もっと主体性や
積極性を
上げていきたい。

— 自分の成長 —



前の自分より
ステップアップ
することができた。

— 現在の自分から未来の自分へ
成長をするため —

もっとこれから成長をしていくために、
これまで以上にいろいろなことにチャレンジ
したり、勉強をがんばって、自分のさまざまな
選択肢を増やしていきたい!!

— 2030年の仕事の未来 —

自分の興味・関心
好きなこと得意なこと
人と話したりすること
人と関わること
いろいろな話を聞くこと



体験した仕事
看護

実現したい未来の仕事

機械がどんどん発展して、人の手がいらなくなっても、
人と人が関わり合いながら、しっかりとした信頼関係のある看護

社会の動き

AIを多く取り入れる
たくさんの仕事が
ロボットへと変わる



体験した仕事
理学療法

考察した未来の仕事

AIなどでよりその人に合った
リハビリを考え、
人によるリハビリとロボットによる
リハビリを効率よく行う

黒澤病院の

自分のしてもらいたいことを

させていただくために...



美心会の7つの魅力

1. 医療・保健・介護の相互連携による質の高いサービスの実現・美心会における地域包括ケア・老健・くろさわ・デイサービス・特養シニア
2. 教育制度の充実
3. 「医療安全」へ積極的な取り組み
4. 綺麗な設備・環境
5. 福利厚生が充実
6. 永年勤続表彰で海外へ
7. 交流を深めるイベントがたくさん!



	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
28(水) 第1日	オリエンテーション (総務部)	看護部 オリエンテーション	昼食	看護部(病棟) 看護師インビュー			振り廻り①	終了	
29(木) 第2日	カサ・デ・ウエルテ	ウエルアロ	昼食	キャリア 形成に ついて 高野CO	理事長 インビュー	薬剤部	振り廻り②	終了	
30日(金) 第3日	リハビリテーション科		昼食	栄養部	放射線部	検査部	健診C	医療事務部	振り廻り③ 終了

スタッフステーション



看護師、医師、薬剤師
リハビリスタッフ、管理栄養士
が連携している。

ラビリ



カサ・デ・ウエルテ (介護付有料老人ホーム)



季節の行事に合わせ

セラミックの手作り料理

温泉成分の湯や
四季折々のお湯

マシン機器を設置
したジム

マルシェ

買い物ほびの日常動作リハビリ

ドライブ

実際の車を使用して乗降動作
リハビリ

イメージを
手紙で送るの??

矢口らばかった事がたくさん知れて、
以前よりも医療に興味をもつことができ
た。貴重な体験。

私はもともと放射線技師という仕事に興味をもっていた。
今日の体験を通して良さを体感すると共に、他にもいろんな人が
開けた病院がほしかった。とても面白いと思いました。

自分の成長

前の自分
積極的に行動を
する事ができない。
気にはなっていたが
も質問ができていない。

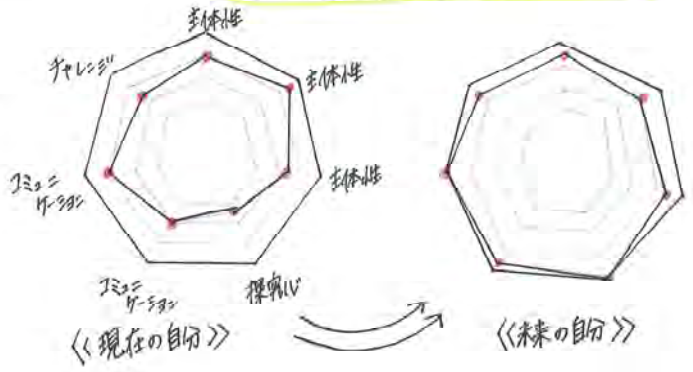
- ・おんげと運動
- ・いぬやウサギの練習
- ・CO2のお話

- ・理療のお話
- ・看護師のお話
- ・お年寄りとの交流
- ・仕事をしながら
- ・理学療法士の体験

後の自分
自分のやるべきことを
見つけて行動できるように
なった。
「ありがとう」という言葉が
かんげろうと思えた。

日常をどのように変えたい??

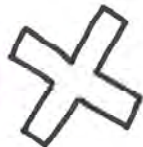
どんな力を伸ばしていきたい??



自分を成長させるために 取りくみたこと・取りくんでいくこと

- ・コミュニケーション能力を高める。
- ・積極的に自分から行動をする。
- ・気になったことについて自分から調べる。

好きなこと
音楽を聴くこと
人と話をすること



体験した仕事
医療関係の仕事



2030年の仕事
音楽やコミュニケーションを通して
患者を笑顔にする仕事

社会の動き
ロボット化
少子高齢化



体験した仕事
医療関係の仕事



2030年の仕事
働く人が少なくてお世話の人を
治せるようなロボットを取り入れた
仕事

Q&A

Q1. 向いている人はどんな人?

A1. 人が好きの人
明るくてきりがえがでる人。

Q2. 仕事のやりがいとは?

A2. 患者さんの笑顔が見れたり、
「ありがとう」と言ってもらえること。

様々な施設を併設する 黒沢病院 ~ 予防の医療 ~

黒沢病院

★職員総数 674人

職員の数が多いと1人の患者さんにかけることのできる時間が少なくなる!

★こだわり

病院に在るといふことを感じさせない
高級ホテルの様な空間に!
人間ドックを受ける人が泊まる部屋は
世界各国をイメージ

希望した理由

- ① 将来の夢が看護師
- ② 病院内の仕事を知りたかった

★併設している施設

ヘルスパーククリニック(外来・人間ドック・リハビリ)
介護保険老人施設 老健くろさわ
介護付老人ホーム カーサ・デ・ヴェルデ黒沢
医療機関の他に...
バンリー黒沢, アイケイ薬局
を経営。

3日間のスケジュール

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
1日目	オリエンテーション (総務部)	オリエンテーション (看護部)	昼食 休憩		病棟見学 + 看護師インタビュー		振り返り		終了	
2日目	カーサ・デ・ヴェルデ黒沢		リハビリ	昼食 休憩	講習会	理事長 インタビュー	薬剤部	振り返り	終了	
3日目	リハビリテーション科			昼食 休憩	栄養 部	放射 線部	検査 部	健診 センター	医療 事務部	振り返り 終了

体験したこと

① <カーサ・デ・ヴェルデ黒沢>

・お年寄りの方と一緒に体操

Point! 1つ1つの動作を大きく

・お年寄りの方との会話

相手のお名前を聞いてお名前を
呼びながら話すことが大切だと思う。

Point! ゆっくりと話す

・口を大きく開けて

一言一言はっきりと話す

② リハビリテーション科

・リハビリの内容...

歩行練習, 立つ練習, マッサージ,
パズル, オセロ など...

1人1人に合わせてゆっくりと行う

・車いすを押してみても...

どのくらいのスピードで押せばいいのか
難しかった。

学んだことを一言で表すと...

心を広く、常に笑顔で

<理由>

お年寄りの方と関わる機会が多く、
何度も同じ事を説明してあげたりする
ので心を広く持つことが大切だと思った。
そして、いつも笑顔でいることで患者さん
に安心してもらえると聞いたから。

自分がこれから取り組むこと

たくさんの人と関われるボランティア
に参加したい

<理由>

様々な年齢の人と関わることで
将来の仕事に役立つと思うから。
コミュニケーション能力はどの職業でも
必要になるから。

2030年の仕事

★こうなりたい

医療機械がもっと発達してほしい。
例えば、乳がんを調べるマンモグラフィ
検査で、痛さに気絶してしまい倒れて
しまう方がいると聞いたので、そういう
ことがなくなるよう痛みをもっと軽減した
機械になってほしい。

★こうなっているだろう
医療職の仕事は今とあまり変わら
ないと思う。理由は、患者さんの中には
自分の感情を口で伝えられない人もいる。
そんな時に、その患者さんの感情を
読み取る方法は主に表情だから
AIでは不可能だと思うので、人間
である私たちにしかできない仕事だ
と思うから。

予防の医療

『予防の医療』とは、病気になる
ために行う医療のこと。
主に、人間ドック。

黒沢病院は人間ドックに力を入れている。
人間ドックを受けるお客様の
負担にならないよう、ほとんどの検査
を同じ階で受けられるよう工夫して
いる。たとえ人間ドックとしても、病院
に行くというのは気が重い人も
多いと思う。そこで黒沢病院は高級
ホテルをイメージした統一感のある
家具を使用し、病院の雰囲気
をなくすことで人間ドックの受診者を
増やした。そして、受けられる検査の
数を他の病院よりも多くし
お客様(地域の方)の健康を
見守っている。

Q & A

Q: 医師と看護師の違いは?

A: ① 大きな違いは資格
② { 医師は治療で患者さんと携わる
看護師は直接患者さんと携わる

Q: 大切にしていることは?

A: 自分がしてほしいことを患者さんにすること。
美しい心を持つこと。
治療など、質を良くすること。

印象に残った言葉

『サービス業は「ありがとう」を言う側の
職業だけど、医療職はサービス業
の中で唯一「ありがとう」をお客様
(患者様)から言ってもらえることができる
職業。それは医療職の特権!』

まるで高級ホテル!!

他の病院とは違う視点。黒沢病院

黒沢病院とは? どんな病院?
何が有名?

— 黒沢病院を選んだ理由 —



◦ 人間ドックや脳卒中センターで有名! (TVで紹介有)

◦ 外見も内見も病院らしさをなくしている!

将来、医療関係の仕事につきたいから!!

医療の仕事にはどんなものがあるのか知っておくべきだと思ったから。

黒沢病院での3日間

1日目

◦ 胸骨圧迫

◦ 病院内見学

2日目

◦ お年寄と昔遊び

◦ 点滴作り

3日目

◦ リハビリ

◦ 病院食試食

— インタビュー内容 —

Q どんな人が向いているか?

A ・人が好きな人

・明るくて、きり変えの早い人

Q 大切にしていることは?

A 患者さんはもちろん、職員の健康を守ること。

Q これからの黒沢病院は?

A ・質のよいことをもとめる。
・職員を幸せにする。

3日間を一言で
将来の選択肢が増えた!!

インターンシップ
前の自分・今の自分

前の自分

人によって
しまうこと
多かった

今の自分

自分から行動
するようになった

今
↓
未来

↓
どんな自分?

↓
医療関係の仕事

↓
・責任重大

・何事にも恐れない

↓

恐れずいろいろなことに
挑戦するか、責任感も
忘れない自分

～2030年の仕事～

好きな事

音楽

X

体験した仕事

医療

=

実現したい

音楽も
治療の
一つ

会社の動き

AI

X

体験した仕事

医療

=

実現するだろう

機械が
たくさん
導入

インターンシップ 2019

～医は美心なり～

医療法人社団美心会
黒沢病院

<黒沢病院関連施設>

- ・黒沢病院附属ヘルスパーククリニック
- ・メディカルフィットネス&スパ
ヴァレオプロ
- ・介護付有料老人ホーム
「カーサ・テ・ヴェルテ黒沢」

etc.

< 体験内容・スケジュール >

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
28(水) 第1日	オリエンテーション (総務部) 9:00-10:30	看護部 オリエンテー ション 10:30-11:30	昼食 休憩 11:30-12:30	看護部(病棟) + 看護師インタビュー 12:30-15:30			振り返り① ・質疑応答 ・座談会 15:30-16:30	終了		
29(木) 第2日	カーサ 9:00-10:30	ヴァレオプロ 10:30-12:00	昼食 休憩 12:00-13:00	病院での キャリア形 成について 高野CO 45分	理事長イン タビュー 45分	薬剤部 14:30-15:30	振り返り② ・質疑応答 ・座談会 15:30-16:30	終了		
30(金) 第3日	リハビリテーション科 9:00-12:00		昼食 休憩 12:00-13:00	栄 養 部	放 射 線 部	検 査 部	健 診 セ ン タ ー	医 療 事 務 部	振り返り③ ・テーマ解説 ・考察・提案 ・今後の展望 ・質疑応答 15:30-16:30	終了

<1日目>

主に看護部の仕事見学やインタビュー
心臓マッサージの練習をしました。

<2日目>

主に黒沢病院の関連施設の見学や
インタビュー、薬剤部の見学をしました。
薬剤部では実際に薬を作る体験
などもしました。

<3日目>

主にリハビリテーション科や各部署
の見学をしました。リハビリテーション科
では、理学療法士のお手伝いをさせて
いただきました。

<インターンシップで学んだことは>

私がインターンシップで学んだのは、人のあたたかさです。
看護師や理学療法士の人達などが患者と接している所を見て、
世界にはロボットではどうしても補いきれないものがあるなと感じ
ました。

<インターンシップでの成長>

前の自分

目標が決まらず、やる気も
出ない。いつもたらたらして
楽な道を選んでいた。



後の自分

理学療法士になりたい
という目標が決まり、その
目標に向かって努力する
ことができるように
なった。

<2030年の仕事の未来>



～考察～

ロボットやAIにより、
一瞬で病名や怪我の
場所がわかる

病院らしさを感じさせない！！

～施設へのこだわり～

黒沢病院

- ・病気で暗い気持ちになってしまった人へ、自然と元気な気持ちになって欲しい。
- ・誰でも心安らぐ空間に。
〈病院独特のにおいを感じさせない〉
- ・毎日花の入れ替えを行う。



予防から治療、介護まで

ヴァレオ・プロ

- ・病院内にあるマジカル & フィットネス



カーサ・デ・ヴェルデ黒沢

- ・「幸せに満ちた人生を歩む」をテーマにした介護付き有料老人ホーム



退院後の生活を考えたリハビリの体制

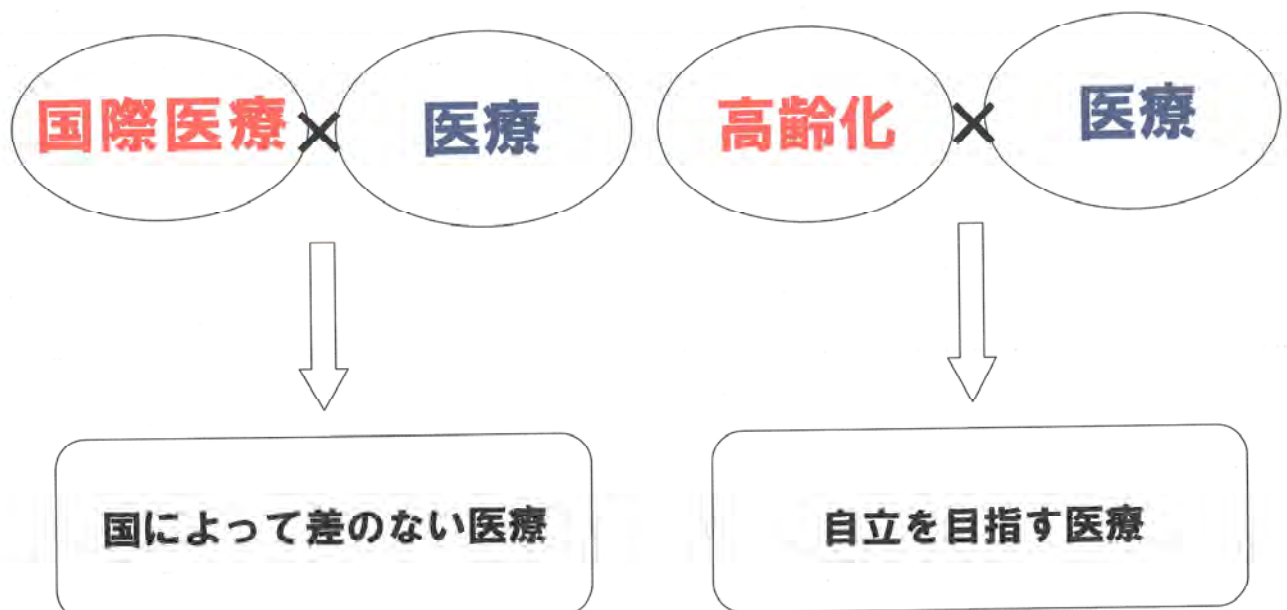
マルシェ



ドライブ



2030年の仕事の未来



黒沢病院と将来の医療



～生活に密着した場所で高水準の医療を提供～

美心会グループでは、医療・保健・介護の相互連携による質の高いサービスの実現をしています。患者さんを第一に考えた医療提供を行うために、きれいな施設で「病院とは思えない、患者さんが通いやすく過ごしやすい病院」を目指しているようです。

注目ポイント

人間ドッグ患者専用の宿泊施設は、まるで旅先のホテルに宿泊しているような優雅で落ち着いた空間になっています。カーフの部屋のデザインが異なっており、ロンドンやパリなど、世界各国の都市をイメージして作られています。



～患者さんを第一に考えた医療～

黒沢病院は24時間365日患者さんを受け入れているため、いつでも診てもらうことができます。黒沢病院では、自分のしてほしいことを患者さんにすることで、患者さんに喜んでもらうことを目指しているようです。脳の病気を専門に見てもらう脳卒中センターがある病院は群馬県内では黒沢病院だけです。

この企業を選んだ理由

私は以前から、医療関係の仕事に少し興味がありました。そこでインターンシップで病院に行き、医療についての興味を深めようと思い、黒沢病院のインターンシップに行きました。



	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
28(水) 第1日	オリエンテーション (総務部) 9:00-10:20	看護部 オリエンテーション 10:30-11:30	献血 休憩 11:30-12:30	看護部(病棟) + 看護部インタビュー 12:30-15:30				振り返り① 質疑応答 懇話会 15:30-16:30 美心ホールD	終了 11:30	
29(木) 第2日	カーサ 9:00-11:00	ヴァレオプロ 11:00-12:00	昼食 休憩 12:00-13:00	病院での キャリア形成 場について 高野CO 13:00-13:45 美心ホールD	看護部イン タビュー 13:45-14:30	薬剤部 14:30-15:30		振り返り② 質疑応答 懇話会 15:30-16:30 美心ホールD	終了	
30(金) 第3日	リハビリテーション科 9:00-12:00		昼食 休憩 12:00-13:00	栄 養 部 13:00- 13:30	放 射 線 部 13:30- 14:00	検 査 部 14:00- 14:30	健 診 部 C 14:30- 15:00	医 療 部 15:00- 15:30	振り返り③ テーマ概説 ・看護・検査 ・今後の展望 ・質疑応答 15:30-16:30 美心ホールD	終了

心に残った体験

① 看護部オリエンテーション

オリエンテーションでは、正しい手の洗い方やAEDの正しい使い方を学びました。また、看護部長さんの話や質疑応答、看護部の講話見学から、看護の仕事に興味を持ちました。

② 薬剤部の見学・体験

薬剤部では、薬を作っている所や分けている所を見学しました。点滴の薬を混ぜたり、錠剤の袋詰めをしたりする体験もしました。見学や体験だけでなく、薬剤師の方から薬剤師になるために必要なことや医療系の仕事に就くために大切なことを聞くことができました。

③ リハビリ科の見学・体験

リハビリ科では、病院の人や患者さんと話しながらたくさん学ぶことができました。患者さんのことを考えて、一人一人のリハビリをしっかりと見ているところがすごいと思いました。

インタビュー

看護部長・高木さん

理事長・黒沢さん



Q どんな人が看護師に向いていると思いますか。
A 明るい人や人が好きで、プライベートとの切り替えがしっかりできる人に向いていると思います。

Q 大切にしていることは何ですか。
A 自分のしてほしいこと、美しい心を持って患者さんにする事です。また、職員同士の健康にも気を付けています。職責を大切にすることで、質の良い医療を提供しています。

Q 最もやりがいを感じることは何ですか。
A 患者さんの笑顔を見たときです。患者さんの感謝の気持ちや毎日の励みになります。

Q どのような勉強をしましたか。
A 効率の良い勉強をしてみました。例えば、たくさん本を読むのではなく、同じ本を何度も繰り返し読む方が知識を得やすいと思います。

Q なぜ看護師になろうと思いましたか。
A 人によって違いますが、私は看護の實習をやったときに、自分に合っていると思えたからです。また、助けられている姿を見て自分もなりたいと思えたからです。他には温かい雰囲気や、た、回家資格がほしい、コストが安いといった理由で看護師になる人もいます。

Q これからの黒沢病院をどのようにしていきたいですか。
A さらに質の良い医療を提供し、美心会グループを元気にしていきたいです。



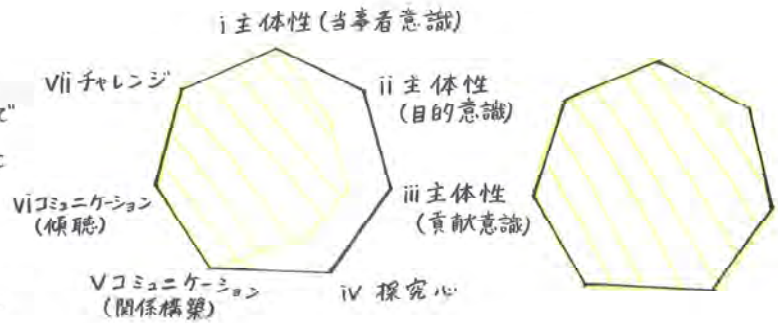
↓ 美心会マーク
美心会の「心」がモチーフになっている。3つの楕円は、保健・医療・福祉、同時に過去・現在・未来を表している。同時に現状を打破して、新しい未来に向かおうとする上昇志向「アークスルー」を表現している。

インターンシップで学んだこと

病院の人達は、まず第一に患者さんのことを考えていました。患者さんが困っている時や何かしてほしい時に、病院の人達は笑顔で患者さんに接していました。病院の人達が笑顔で接することによって、患者さんも笑顔になっていました。今回のインターンシップで、社会に出て活躍するためにはコミュニケーション能力が大切になってくるということを学びました。

現在の自分

未来の自分



インターンシップ前

医療関係の仕事への興味はうすく、就きたい職業もはっきり決まっていなかった。また、積極性もあまりないように感じていた。

インターンシップ後

医療関係の仕事への興味が深まり、看護師になってみるのもいいかもしれないと思った。また、積極性がインターンシップ前よりもついた気がした。

上のグラフで自分を振り返ってみて、私は全体的に主体性と探究心が欠けていると思いました。主体性は将来、特に必要とされるのでこれからの探究活動や日々の生活でさらに主体性をつけていきたいと思いました。

現在の自分から未来の自分へ成長していくために、これからの探究活動に力を入れて取り組んだり、日々の生活で様々なことに積極的に参加したりしていきたいと思いました。



2030年の仕事の未来

こうなっていてほしい・2030年の仕事

こうなっているだろう・2030年の仕事

自分の興味
音楽



体験した仕事
看護関係の仕事

社会の動き

AI



体験した仕事
医療の仕事



実現したい2030年の仕事

看護師一人一人に音楽プレイヤーを持たせ、心を落ち着かせながら仕事を行わせる。



考察した2030年の仕事

- ・一部の手術をAIが行う
- ・薬作りをAIがすべて行う
- ・リハビリをAIが教える
- ・患者さんの血などの検査をAIが行う



AIに負けない!

コミュニケーションを生かす仕事

『公立藤岡総合病院』

病院の理念

「地域住民から信頼される医療」

7つの特徴

○がん治療

患者さんと共に親身に行ってがんに向き合う。

○救急治療

藤岡多野地域の中核病院として、頼りになる存在を目指す。

○災害医療

地域災害拠点病院としての役割を果たす。

○教育・研修・サポート

病院・職員全体でサポートをし、医療人としての成長を支援。

○専門医療

急性期病院として専門性の高い医療の提供

○チーム医療

多角的な視点から最善の治療を考える。

○地域連携、先進医療機器

地域の皆さまと医療機関の橋渡し

■体験スケジュール

1日目

9:00 ~ 総務課
オリエンテーション

10:00 ~ 看護部施設
見学

11:30 ~ 日誌・昼食

13:00 ~ 薬剤部見学

14:30 ~ 栄養室見学

15:30 ~ 日誌

採血練習, 高齢者体験
調査, とろろを頂いたお茶

2日目

9:00 ~ リハビリテーション
見学

10:30 ~ 総務課

11:30 ~ 日誌・昼食

13:00 ~ 患者支援
センター見学

14:30 ~ 放射線室
見学

15:30 ~ 日誌

リハビリ体験

カンファレンス見学

3日目

9:00 ~ 看護部
感染研修

11:30 ~ 日誌・昼食

13:00 ~ 検査室見学

14:30 ~ 臨床工学室
見学

15:30 ~ 日誌

防護服試着

手洗い指導

■ インターンシップで学んだこと

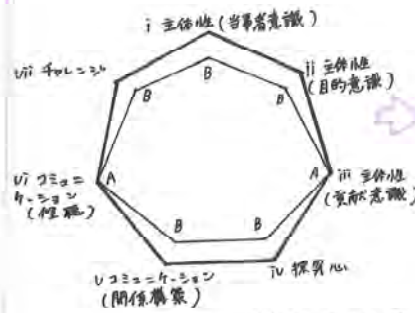
一言で言うて...

コミュニケーションは
とても大事!!

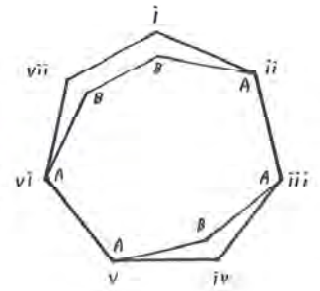
理由

- ・ 看者さんによりえ、た病院を
目指すため。
- ・ 治療に向けての会議・考えの共有。

現在の自分



未来の自分



現在の自分から未来の自分へ成長して
いくために、何を取り組むのか?

前の自分

- ・ 自分の考えが人と
違っているのが怖い。
- ・ 人に話しかけることが
苦手。

今の自分

- ・ 異なった考え方を
受けとれられる。
- ・ 自分から話しかけ
ようと思える。

- ・ コミュニケーションをたくさんとる。
(お互いが意見をいっせおくがる。
↓
様々な意見にふれる。)
- ・ 積極的に動く。
(新たな発見もえられる。
チャレンジ精神)

■ こうなっていてほしい!
2030年の仕事の未来

自分の好きが=

音楽

X

体験した仕事

病院の仕事



実現した2030年の仕事の未来

- ・ リハビリでの楽器・歌
↳ 脳をはたらかせる(認知症リハビリ)
- ・ 音楽療法の進化
↳ 心身の障害の機能や生活の質の
大幅な回復・向上

■ こうなっているであろう!
2030年の仕事の未来

社会の動き

AI・機械の普及

X

体験した仕事

病院の仕事



考察した2030年の仕事の未来

- ・ 看護師などの仕事をもっと楽に。
看者さんも楽に生活できるような
機械の導入。
- 今: 看者さんの入浴は 未来: 全自動の
機械も可能。 入浴機械
洗うのは看護師。

コミュニケーションの大切さ

～ 藤岡総合病院で学んだこと～

私が病院に行こうと思った理由3個

- 1 医療職に興味があった!!
- 2 医療系ドラマが好き
- 3 職場の雰囲気を感じてみたい

藤岡総合病院について

旧藤岡は何と「十二人の死にたい子供達」のロケ地!!

創立1951年 2018年11月に新設病院に移動

(歯科口腔外科、形成外科などを新設)

従業員数 623名 訪問看護ステーション「はるかぜ」や介護老人保護施設「しらさぎの里」なども

藤岡総合病院を見て思ったこと

藤岡総合病院に事前打ち合わせで初めて行った時思ったこと... きれい!!

見た目はもちろん、中も真っ白できれいすぎました。設備も整っていてとても良い病院だと思いました。

病院での体験スケジュール

1日目... 看護部 施設見学、薬剤部、栄養室

採血体験をした!

嚥下障害の人の飲み物飲人してみた

2日目... リハビリテーション、患者支援センター、放射線室

患者さんと多くコミュニケーションをした

色々な機械があった!!

3日目... 看護部 感染研修、検査室、臨床工学室

防護服を着た!

色々な機械を見た! 脳みそを見た!

働いている人のインタビュー

Q「仕事をしている中で一番よかったことは？」

A. 仕事でミスしてしまった後のカバー。仕事で連続でミスしてしまった時

Q「仕事でやりがいを感じた時はいつか？」

A. 最初は上手く出来なかった仕事が出来た人から早く出来るようになったとき

インターンシップで学んだ事を一言で表すと

笑顔とコミュニケーション力はどの仕事でも不可欠

理由 病気で苦しんでいるはずなのに患者さんに笑顔が多いのはなぜだろうと考えた時話している看護師さんかすと笑顔で喋っている事に気がついた。笑顔の力はすごいなと思った。これはどの仕事でも同じなのではと気がついた。

インターンシップ前と後の成長

前の自分

初対面の人と上手く話せない。
とても緊張してしまう。



後の自分

多くの人と話した事で初対面
の人とも緊張せずに話せるようになった。

自分の伸ばしたい力

ズバリ... コミュニケーション能力

2030年の仕事の未来はどうなっているか?

こうなっていほしい
仕事の未来

催眠 × 医療



辛い治療の際に患者さんの精神的負担を減らす。

こうなっているであろう
仕事の未来

人工知能 × 医療



多く話をする事により、脳の老化を防ぐ。

患者さんのことを一番に考えている！！ 病院のさまざまな仕事 in 藤岡総合病院

行ってみたいと思った理由

将来医療系の仕事に就きたいと考えていて、病院のいろいろな仕事を実際に見てみたいと思ったから。

病院の仕事、紹介説明

藤岡総合病院には、内科、外科、小児科、精神科、循環器内科など全部で27の診療科目があり、医師、保健師、看護師、看護助手、介護福祉士、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、臨床工学技士、視能訓練士、歯科衛生士など全部で623の方が働いている。

人工透析室、リハビリテーション室、患者支援センター、がんサロン、緩和ケアセンターなど、いろいろな部屋があった。

体験スケジュール

1日目

看護部・施設見学
薬剤部見学
栄養室見学
採血の体験
老人体験

2日目

リハビリテーション施設見学
患者支援センター見学
カンファレンス参加
放射線室見学

3日目

感染研修
検査室見学
臨床工学室見学
人工透析の見学



体験したことの紹介①

採血の体験

人形の腕に注射器をさして採血の体験をさせていただいた。針の向きや手順など細かく決まっていたので難しかった。血管になかなか針が入らず、何回も針をさしてしまった。本物の患者さんに何回も針をさすわけにはいけないので何度も練習していたそうだ。プレッシャーを感じながらの業務なので、とても大変だと思った。

体験したことの紹介②

人工透析をしている患者さんを間近で見せていただいた。人工透析とは、人工的に血液中の余分な水分や老廃物を取り除き血液をきれいにする働きを腎臓に代わって行う治療法である。少しずつ汚れてしまった血液を体外に出して人工腎臓でキレイにしてまた体に戻すという作業で週に3回、1回4時間かかる。患者さんの精神的・身体的な負担はとても大きいと思う。そんな中、患者さんに優しく笑顔で話しかけている看護師さんがいて、こういう時にやりがいや仕事をする意味を感じるのだろうなと思った。



インターンシップで学んだこと

○医療の現場で働くうえで大切な力は『気づく力』である。

医療の現場では患者さんと直接コミュニケーションを取ることがとても多いので患者さんの気持ちや体調の変化、どのような症状でどのような辛さを感じているのかに気づき思いやることができる力がすごく大切になってくると感じた。

○病院には患者さんのための『工夫』がたくさんある。

・自分の病室やトイレの場所がわからなくなってしまう患者さんのために廊下に道を示すテープがはいてある。

・病院のスタッフさんたちは、PHSという電波の弱い携帯を使って連絡を取り合っている。(ペースメーカーの入った患者さんに影響しないため)

インターンシップ前と後の成長

前
医療系の職業の中でも知らない職業や興味のない職業が多かった。

後
いろいろな職業に興味が出てきた!

この経験をもとに日常生活をどのように変えたいか?

- ・どんな職業を選んだとしても、その道にしっかり進めるように勉強をがんばりたい。
- ・インターンシップに行って、仕事の大変さを少し感じる事ができたので、両親に感謝したいと思った。
- ・仕事をする上で、指示を待つのではなく、自分から動くことがとても大切だと思うので、日頃から、自分からいろいろなことにチャレンジしたい。

こうなっていてほしい!

2030年の仕事の未来

自分の興味・関心
好きなこと

音楽
動物

体験した仕事



医療関係の仕事

- ・音楽を聞き、安心し、リラックスしながら検査や治療ができる
- ・動物とふれ合うと心が癒やされるという人も多いと思うので、衛生面を考慮したうえで動物とふれ合える機会が増えてほしい。

こうなっているであろう!

2030年の仕事の未来

社会の動き

AIやロボットの発達

体験した仕事

医療関係の仕事



- ・ロボットによる手術や治療が行われる。
- ・AIの医師が診察するようになる。

人を救う職業

公立藤岡総合病院

1. 病院の理念

地域住民から信頼される医療



2. 診療科目

内科 / 精神科 / 神経内科 / 消化器内科 / 循環器内科 / 呼吸器内科 / 血液内科 / 腎臓内科 / アレルギー科 / リウマチ科 / 小児科 / 外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 歯科口腔外科 / 形成外科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 産婦人科 / 眼科 / 耳鼻咽喉科 / リハビリテーション科 / 放射線診断科 / 放射線治療科 / 麻酔科 / 病理診断科 / 救急科 /



3. 病床数

一般 395床 . 感染症 4床

4. 施設

敷地面積 57,285.91㎡

建築面積

11,833.99㎡

延面積

34,526.62㎡



5. 体験スケジュール

1日目

2日目

3日目

	28	29	30
	水	木	金
9:00	総務課 オリエンテーション	リハビリ テーション	看護部 感染研修
10:00	看護部 施設見学		
11:00		総務課	
12:00	日誌	日誌	日誌
	昼食	昼食	昼食
13:00			
14:00	薬剤部	患者支援センター (カンファレンス)	検査室
15:00	栄養室	放射線室	臨床 工学室
16:00	日誌	日誌	日誌

6. 体験イベントの紹介

1日目

- 採血体験
- 老人体験
- 施設の見学
- 薬の調合
- 嚥下の説明, ヒソミ剤



濡いとろみ 中間のとろみ 濡いとろみ

2日目

- リハビリテーションの見学, 手伝い
- カンファレンスに出席
- 放射線室の見学



3日目

- ウイルス防護服を着る
- 正しい手洗いの方法
- 検査室の見学
- 透析治療の様子の見学

7. 探究型インターンシップで"学んだ"こと

一言で表すと?

現在と未来の 幸福の両立

before

- 目の前のことばかり考えていた。
- 主体性、探求心が"不十分"であった。

after

- 後先のことを考えながら行動できるようになった。
- 主体性、探求心が育ち、目的意識を持って積極的に行動できるようになった。

8. 現在の自分から未来の自分へ成長していくためにこれから取り組むこと。

- いろいろなことに、失敗を恐れず挑戦する。
- 自分のことばかりでなく、周りに気配りする。困っていたら助ける。
- 常に貢献意識を持ち、受け身ではなく積極的に自ら取り組む。
- ホ・シ・ティブ思考を大切にする。

9. こうなっていてほしい!
2030年の医療の未来

ゲーム

×

リハビリ

楽しく、効率よく行える
リハビリ

普段の苦しいリハビリに、おもしろいゲームを取り入れ、少しでもリハビリを楽しく、効率よく行えるようになってほしい。

10. こうなっているであろう!
2030年の医療の未来

科学
テクノロジー

×

医療

発症を予測し
抑えこむ医療へ

2030年の医療は今までの「病気になったら受ける医療」から、「発症を予測し抑えこむ医療」へと転換するだろう。



現代の医療に 求められること とは？

～藤岡総合病院で
私が学んだこと～

1日目

- ・ 総務課 オリエンテーション
- ・ 看護部 研修
- ・ 薬剤部 見学
- ・ 栄養部 見学

高齢者
体験なびを
しました！

2日目

- ・ リハビリテーション
- ・ 看者支援センター
- ・ 放射線科 見学
- ・ 検査室 見学
- ・ 臨床工学室 見学

たっさんの
リハビリ施設を
見ました！

3日目

- ・ 看護部
感染研修
- ・ 検査室 見学
- ・ 臨床工学室 見学

手洗いの
大切さを学ば
ました！

インタビュー!!

病院での待ち時間を減らすために、工夫していることはなんですか？



受付にコンピュータナビを導入したり、スタッフの仕事もすばやく正確にするように心がけています。

仕事をしていく上で工夫していることや秘訣はありますか？

覚える事がたくさんあるので何でもメモするようにしています。わからないことがあれば、質問するようにしています。

2030年の医療のカタチとは？







ロボットを使った手術

A. AIと協力し、より高精度で効率的なサービスが提供できるようになっている!!!

遠隔診療

ささえあう医療への道

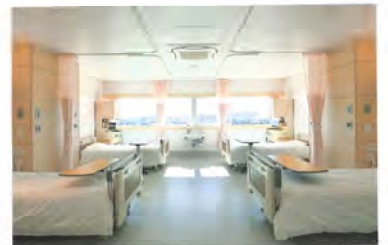
～藤岡総合病院について～

- 27の診療科目 
- 計623人の職員 
- 新病院開院 (H.29.11) 
- 救急医療の充実 
- がん診療の充実 
- 構成する4つの市町村 



～その他～

- 新設された病棟
- 偉い職員の方々
- 多くの診療科があるため、色々な診療を受けることができる。
- 外来棟・入院棟が近いので便利。
- 医療機器



～3日間の体験スケジュール～

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
1日目	総務科 オリエンテーション	看護部 施設見学				薬剤部	栄養室	
2日目	リハビリテーション	総務課			患者支援センター	放射線室		
3日目	看護部 感染研修				検査室	臨床工学室		

※ 空欄は昼食や、日誌を書く時間。

～学んだこと～

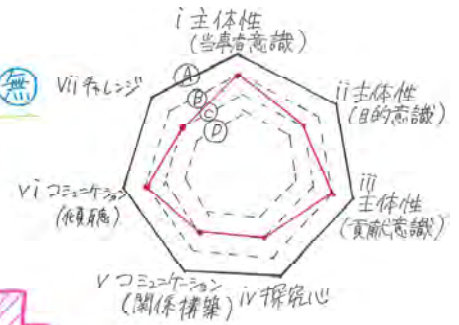
コミュニケーションの大切さ

- 患者さんとの会話はとても大切!
- 情報の伝達

～日常をどのようにして変える?～

今の自分

- チャレンジ精神 **無**
- 探究心 **無**
- 消極的



今までの自分

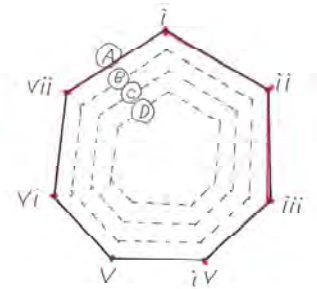
- 消極的
- 自己中心的

後の自分

- 積極的
- 相手の気持ちを考えながら行動

★未来の自分

- チャレンジ精神 **有**
- 探究心 **有**
- 積極的



- そのために
- 積極的に話す
 - 色々なことに興味をもつ。

～こうなっていてほしい! 2030年の仕事の未来～

興味・関心
音楽 🎵
スマホ 📱



病院の
仕事



音楽で心をいやすながら
治療を行う仕事

～こうなっているだろう! 2030年の仕事の未来～

社会の動き
AIの発達



病院の
仕事



最新の医療機器が使われ、人手がいらぬ医療施設

安心・安全な医療を目指して



はるな生活協同組合 高崎中央病院

場所: 高崎市高岡町 498-1
高崎駅東口から車で8分

- 目標:
- ①「貧困をなくそう」
 - ②「すべての人に健康と福祉を」
 - ③「住み続けられるまちづくり」
 - ④「平和と公正をすべての人に」

この仕事を選んだ理由

臨床検査技師に興味があったから

(外来)

内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科を標榜。

〈専門外来〉乳腺外来・禁煙外来・睡眠時無呼吸外来・呼吸器外来・頭痛外来
ペースメーカー外来

一日平均患者数 250~300人
(8割が予約制)

慢性疾患患者の治療中断をなくすための声かけや、はがきでの働きかけなどを行っています。

(病棟)

〈一般病棟〉 60床: 内科、外科、小児科(4床)

月平均入退院数 100人

手術日 毎火曜日 & 金曜日

〈療養病棟〉 59床・リハビリ室

歯科衛生士配属で口腔ケア・口腔リハビリ実施
理学療法士・作業療法士によるリハビリ実施
多職種が連携し、チームで患者さまの状態を共有し対応しています。

(訪問診療・訪問リハビリ)

在宅で安心して医療が受けられるよう訪問看護ステーションなど関係機関と協力しながら訪問診療、生診を行っています。

(組合員活動)

はるな生活協同組合の組合員は約25000人。

地域の健康づくりや医療、社会保障の充実に向けた取り組みを進めています。地域で班をつくり、定期的に集まり、血圧や尿のチェック、病気の健康について学びあう場となっています。

(病児保育)

子どもたちが慣れない環境でもゆったりと安心して過ごせるよう医師・看護師・保育士が連携をとり対応しています。

利用対象 生後6か月~小学3年生

○子どもが発熱や下痢などで保育園・幼稚園や学校に行けない。

○水ぼうそう・おたふく・インフルエンザなどで登校許可がでない。でもこれ以上仕事を休めない。

利用時間 月曜日~金曜日 8:00~17:45
(土日・祝祭日・年末年始は休み)

利用料 1日 2000円 半日 1000円

利用定員 1日 8名

体験した仕事

1日目

9:00 院内見学

4F 医局・手術室
↓
3F 療養病棟
↓
2F 一般病棟
↓
1F 外来

初めてオペ室を見るのができました。手術を行うところまで多くのドアがあったり、足でボタンを押してドアを開けたりと、たくさん工夫がされていました。

10:00 インタビュー

Q 看護師の仕事で大変なことは?

A 命と向き合うということ。

Q 患者さんとのコミュニケーションで大切なことは?

A 目線を合わせること、挨拶、患者さんの病状を把握

13:00 看護体験

車いす体験

段差や坂道を上るのがとても怖かったです。押してあげる人は、乗っている人の気持ちを考えてあげることが大切だと思いました。

バット交換

病棟のバットと新しいものに交換しました。バットも介護がしやすいように工夫されているんだなと思いました。

足浴

寝たきりの患者さんの足を洗いました。喜んでいただけた時は、とても嬉しかったです。

点滴見学

看護師さんが患者さんに声をかけながら点滴の針を刺しているところが印象に残りました。

2日目

9:00 看護師さんへのインタビュー

Q 外来の看護師の仕事は?

A 内科、外科、整形外科の診察介助
救急車、入院の対応など

Q 看護師で良かったと思う事は?

A 患者さんが心を聞いて話してくれた時

10:00 小児科見学・病児保育

小児科は一般の外来と別の窓口になっており、子どもらしい雰囲気、安心して診察を受けることができます。

病児保育室のびのび



病児保育では、具合が悪くて保育園などに行けない子供達と遊びました。共働きの家庭にとってこのような施設はとてもありがたいと思いました。

13:00 血圧測定・心臓音、呼吸音を聞く

血圧測定では、水銀を使った道具で血圧を測りました。正確に測ることがとても難しかったです。また、聴診器を使って心臓音と呼吸音を聞きました。



3日目

9:00 リハビリ体験



理学療法士、作業療法士の方と一緒に患者さんのリハビリ体験をしました。常に会話をしながらトレーニングをするなど、患者さんを精神面からも支えていることを知りました。

11:00 嚥下造影検査見学



食べ物の飲み込み方に問題がないかどうかレントゲンを使い、調べる検査の見学をしました。食べ物のがのび通るところがとってもほろりと見えて驚きました。

13:00 放射線科見学



レントゲンやCTなどの機械を体験しました。実際に機械に乗ったり、ボタンを押して機械を動かしたりと、とても貴重な体験をさせていただきました。また、エコーを使って看護師さんのお腹を見ました。超音波で臓器を映像化して検査していることに驚きました。

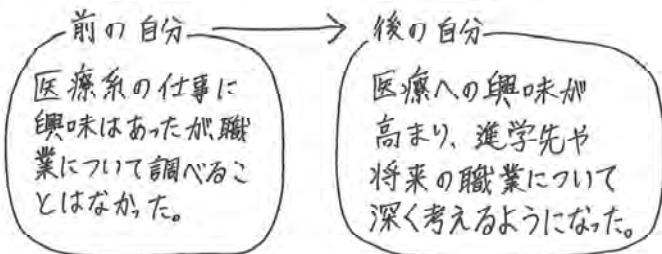


インターンシップで学んだことを一言で表すと?

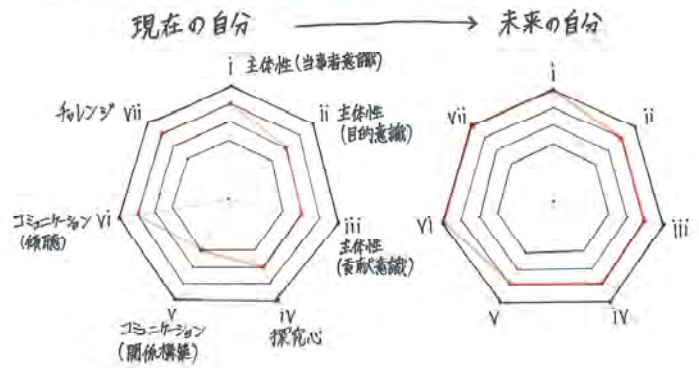
一言: コミュニケーション能力が大切

理由: 看護師は医療行為の他に、「患者さんの話をしっかり聞く」「看護師同士で報告や連絡などの意思疎通をする」など、コミュニケーションの力が求められると思ったから。

インターンシップでの成長は?



日常をどのように変えていきたい? どんな力を伸ばしたい?

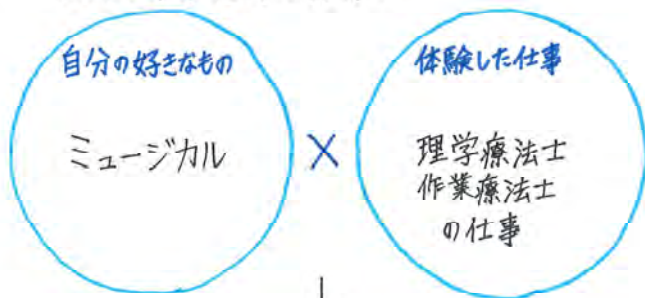


現在の自分から未来の自分へ成長していくために、これから何に取り組む?

- ・医療系の大学に進学するために理系教科の勉強に力を入れる。
- ・コミュニケーション能力をつけるために、相手の話にしっかりと耳を傾けたり、自分の意見や考えを明確に伝えたりする。

2030年の仕事の未来

こうなっていてほしい!
2030年の仕事の未来

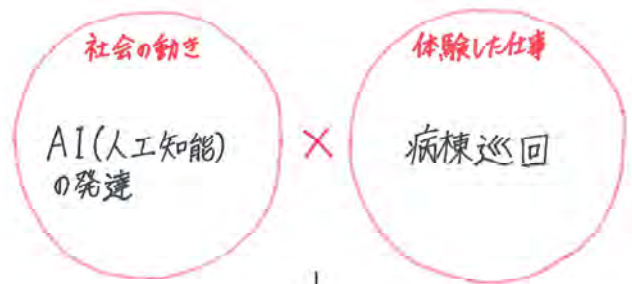


実現したい2030年の仕事の未来

- ・音楽を通じて脳を活性化させるリハビリテーション。
- ・歌や踊りを取り混ぜたりリハビリテーションにより、患者を精神的にもサポート。



こうなっているであろう!
2030年の仕事の未来



考察した2030年の仕事の未来

- ・病棟の個室内にセンサーを設置し、患者の容態急変などに対応しやすくなる。
- ・高齢化による患者の増加や看護師不足にも対応できる。

さまざまな人からの支援で 成り立っている病院！

高崎中央病院について

高崎中央病院は高崎市高岡町にあり、1962年8月に設立。
病床数は117床（一般急性期病床 医療療養病床）。職員数は316名（看護職員96名）。
高崎中央病院はほろな生活協同組合が運営している病院です。
ほろな生活協同組合とは「いよまた健康でありたい。病気は一日も早く発見し、一日も早く健康を取り戻したい」ほろな生活協同組合は、そう考えている人々が組合員となり知恵をかき出し合っているいろいろな活動を行っています。ほろな生活協同組合は、組合員の思いを大切にして、安心してかかりつけの医療をめぐらしています。

組合員になる

人間ドック予約接種、各種健康診断、診断書等の受取と
保険診療予約予約センター、保健学校と保健学校、映画会等
例：人間ドック、ハイキングなどの生協の各種行事へ参加できます。

一般	組合員
36,750円	27,800円

9450円以上の寄付！

私がこの仕事を選んだ理由！

担当：医療関係の仕事をしていて、テーマ、実際に働くことに
やるのがよくないと思ったのよ。

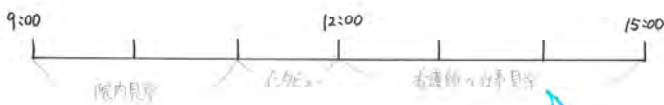
ほろな協同の歴史

1930年、高崎市あら町の坂本商店の3階の一室を借り、資料活動を開始。
その後、在日朝鮮人連盟事務所の一室を借り「高崎民主武蔵所」を開設。
1954年、現在の通町診療所に床診療所として新築移転しました。
1959年、妙善基地反対闘争。朝鮮戦争の場、アムニティ朝鮮山岳地帯に長くいた「朴正徳」の恩恵の住民を支援に沢山の人が参加。アムニティを撤退させました。私たちは医療者として参加しました。
安中公害 1977年「安中製鉄所」を創業開始と同時に始まりました。高崎中央病院として1962年10月住民投票を実施しました。1969年に高柳先生が、高崎県公害対策特別委員会委員陳述を行いました。1985年6月に竣工し、当時まわりはほとんど田舎でした。通町の高岡町へ、病床数は50床から119床へと大きく展開しました。
「群馬の4つの医療生協に産科診療所の開業を」との方針に基づき、2番目の産科診療所を1989年9月に開院し、現在の「組合員おむすび会館」に「7つのこころ診療所」もあがりました。
病院移転が10年間、旧病院の1階フロアへの使用を診療所を運営してきましたが、1995年7月1日新しく「通町診療所」がオープンしました。
収入入であった時に実践してきた「訪問看護」をよりよく請求できるように、1996年7月「中居訪問看護ステーション」を開院しました。
2002年リニューアル完成した高崎中央病院。第四次医療法の改正に伴い、「中長期計画」を策定し、策13年の中病院リニューアルを決定しました。

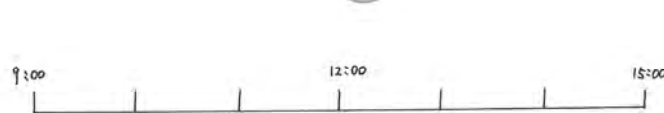


体験スケジュール

1日目

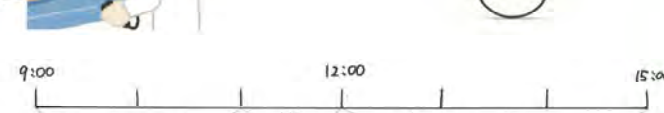


2日目



足浴で足湯を見学しました。念のためイスに座ってお話をしました。

3日目



院内見学のときは、見ることができなかった内視鏡室を見ました！



実際に人が乗る物を触り込むようにリフトで下見しました。

実際にCTの機械にのって見ました。

1日目

～院内見学～

外来

内科、外科、小児科、産科、皮膚科、呼吸器科、小児科、一般外来、2階の外来、3階の外来

1階の外来

手術室はドアが何重にもあり清潔に保たれている。ドアは自動ドア。エレベーターもエレベーターで動く。体の中に入る薬品はすべて不保管されている。

体感に近い状態で、患者さんの痛みを軽減するための取り組みがなされています！

～インタビュー～

総看護部長の佐藤様にインタビューをしました。

Q 看護婦さんが大変なことは？

A 命を向き合うこと。
注射などが合っていないかどうかが確認しなくてはいけない。
小児科と関連する場合は、器用にならなければいけません。

Q 夜勤の仕事内容

A 夜中、患者さんが体調不良が分かる。薬や食事のやり取り。
看護婦さんの体調が悪くなること。
夜勤は18:00～1:00、1:00～7:00、7:00～11:00、11:00～15:00の4つに分けられている。

Q コミュニケーションをとる上で大切にしていること

A 患者さんとの目線を合わせる。挨拶を交わす。

2日目

～ 病児保育 ～

病児保育とは 急に発熱が出たり、風邪をひいた子どもを預かる施設です！
 仕事と休みの兼ね合いの施設ばかりです。
 だんなさんが利用する？
 子どもの発熱や下痢など予備医、幼稚園や学校に行けない
 場合や、おたふく、インフルエンザなどで、預かる(預)けられない
 病児がいる、急な外出ができない

～ 血圧測定 ～

血圧の測定は血圧を測る道具と聴診器を使って
 やりました。自分も初めてなる機械ではなかった。
 初めて見る道具も、(わり)に見えるが不安なところ
 下も看護師さんが丁寧、優しく教えてくれたので
 安心でできました。



血圧測定のやり方

1. 水銀血圧計を垂直に置く。
2. マンシュートの空気を完全に抜き、そのゴムノブの
 中央の上腕動脈にかりかきようの巻き方は、
 ゆるからず、かたかたのゴムのマンシュートの
 下線が肘からへうの2cm上になるように巻く。
3. 測定の際には肘関節を伸展して、測尺部位の
 高さは心臓と同じ高さにする。
4. 5秒 聴診法で最大血圧を推定し、
 水銀マンシュート圧をゼロに落とす。
 さらに聴診法による推定値(約20mmHg
 以上)がわかる。聴診法で最大血圧および
 最小血圧を測定する。
5. 水銀を落とす速度は、血圧測定値が
 2mmHg/sになる。
6. 最小血圧は第5音になる。

インタビュー

- Q. 看護師としてよかったこと
- A. 1番は患者さんの症状がよくなること！
 よくに伝わったと思えてくれたこと
 今の時はありかたを言っていました。
- Q. 看護師になたきかけ
- A. 子供が入院したときにとりよけてもらった。
 社会人になってからも看護師になれると聞いて
 看護士の免許をとり、1年間働いて、
 正看護師の学校に通い始めた。

3日目

～ リハビリ見学・体験 ～

始めにリハビリ室で足や手をうまく動かすことができない患者さんの
 リハビリを見学しました。手取りに何かを、やったり。足は重りを、ついたり
 歩いたりしてました。
 体験では利き手と反対の手ではしを握り、マウスピースを咬ませ
 ながら、片手で片手でボタンを押す練習をしてもらいました。
 片手で片手でボタンを押すのは難しくなりました。



～ 放射線科見学・体験 ～

次に放射線科を見学しました。
 始めにレントゲンの機械について説明していただきました。
 そして患者や検診室のレントゲンの機械の様子を見てもらいました。
 検査室には専用の防護服を着ておりました。
 その後、エコー検査で使われる機械で実際に見て
 もらいました。放射線技師の方と協力していただいて
 エコーの機械で肝臓や腎臓の位置などを教えて
 いただきました。実際に、自分で機械を動かして
 見ました。
 その他にも、CTの機械について説明していただいたり、
 マネキマフラー 胸部レントゲン
 などの機械を見学しました。



探究型 インタビュで学んだことは？

インタビューで学んだことを一言で表すと？

患者さんと関わる中で、取組むのびんが
 患者さんのために役に立っていること。

理由
 患者さんの症状がよくなることだけでなく
 患者さんの心にも寄り添っていることが
 わかったから。

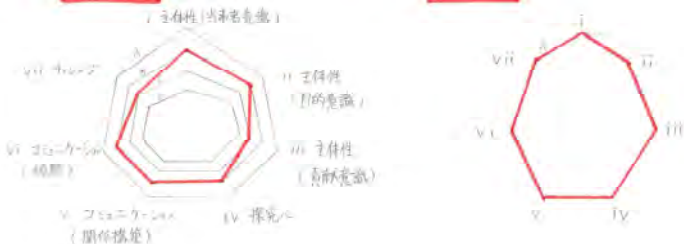
インタビューの前と後で成長したことは？

前の自分
 自分から何かしなくてはならないことが
 できなかった。

後の自分
 人のためにやることを思えた。
 自分から積極的に行動しようと思えた。

日常をどのように変えていきたい？

現在の自分 → 求める自分

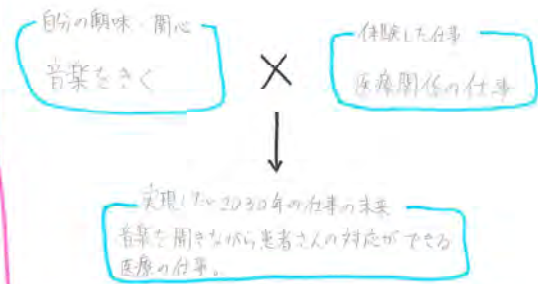


現在の自分から求める自分へ成長していくためには、これから何に取り組む？
 私は誰のために何かをすることがあり考え、つづけたので、今日のこと
 人との関わりをもっと深めていきたいと思った。
 人とのコミュニケーションがうまくできるように、ハッパのなれと話し
 たいと思った。

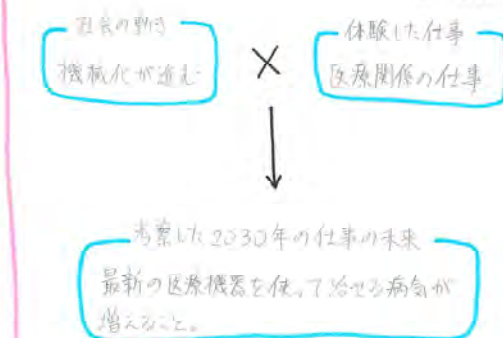
2030年の仕事の未来は、

どんな未来になっているか？

こうなっていほしい！ 2030年の仕事の未来



こうなっているであろう！ 2030年の仕事の未来



～ けるび生活協同組合 ～
 ◦ 組合員は25000人あり
 ◦ 地域の健康づくりや医療、社会保障の充実に向けたり取り組む
 高崎中央病院、在宅福祉総合センター併設あり
 通町診療所、高齢者あんしんセンター、通町、高齢者住宅虹の郷、けるび生活協同組合診療所、介護センター併設ありの杜



一般病棟

60床 = 内科、外科、小児科
 月平均 100名の入院
 手術日 毎火曜日 & 金曜日

2F

療養病棟

59床 = リハビリ
 歯科衛生士配属で口腔ケア、口腔リハビリ実施
 理学療法士、作業療法士によるリハビリ実施

3F

高崎中央病院で

職業体験



外来

1日平均患者数 250 ~ 300人
 内科、外科、小児科、放射線科、整形外科、皮膚科
 ± 標榜

在宅

往診、訪問看護、デイケア、診療所
 「自分の家」自分らしく最期までの思いに添えて



テレビやドラマで見るとは、医療現場や医療器具などは実際どうなっているのか興味をもっていたため。

1日目

- 病院内見学
- 記念撮影
- 病院についての話

1950年 診療開始
 1985年 現在の住所の高崎中央病院に
 2000年 リニューアル今の高崎中央病院に

- インタビュー
- 車いす体験
- 手の洗い方、体験

- ① 水で全体的に洗う
- ②せっけん(2回押し分)で手の平と手の甲を洗う
- ③ 指と指の間を洗う親指も忘れずに!
- ④ 爪をしっかりと洗う手の平に反対の手の爪を立ててクルクル
- ⑤ 手首まで忘れずに!
- ⑥ 水をよくすすいで泡を流す

◦ 足洗い体験

2日目

- インタビュー
- 院内見学
- 病児保育体験

生後6か月から小学3年生まで発熱や下痢などで保育園や学校に行けない子供対象(感染症の子もOK!)

水ぼうそう
おたふく
インフルエンザ

- 内視鏡望見学
- 採血見学
- 血圧測定体験
- 呼吸音、心臓音聞き
- 脈測定
- 看護師への道について

3日目

◦ リハビリ (説明・見学・体験)

<言語聴覚士> 言語や聴覚、音声、認知、発達、摂食、嚥下に関する障害に対して、その発現メカニズムを明らかにし、必要に応じて訓練や指導、支援などを行う専門職。

<理学療法士> 何かや病気などで身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して、自立した日常生活が送れるように支援する専門職。

- 検査見学
バリウムを使用し、食べ物や飲料物が正しく飲みこめているかを確認する検査

◦ 放射線科 (説明・見学・体験)

レントゲン
CT
マモグラフィ
エコー
3D画像
製作体験

看護師さんに聞いてみた!!

看護師さんが大変なことは何ですか？

常に「命」と向き合っていることです。看護師は、医師が出した指示がまちがっていないか確認してから行わなければいけません。絶対にミスをしてはいけません。医師が次に何をやるか分かっているといかないのも大変だと思います。

夜勤はどのようなことですか？

日勤 8:30 ~ 5:00
 日中夜 4:30 ~ 1:00
 深夜 12:30 ~ 9:00

夕食準備や菜と飲み補助、モニター変化のチェック、認知症の患者さん（寝られない方）の話し相手などしています。

外来の看護師さんは何をしていますか？

内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科の診察補助（検査、処置）をします。検査担当になったら、各部所に連絡して検査準備をします。中央処置室では、点滴や採血をします。CTサレナゲン、心電図は放射線科と協力します。また、救急車対応や抗がん剤・輸血、内視鏡の対応、入院手続きへの対応などもしています。

患者さんとのコミュニケーションで大切にしていることは何ですか？

患者さんと目線と同じにすること、挨拶をすることです。信頼関係をつくるだけでなく、患者さんの病状をしっかりと把握することも大切です。

看護師になって良かったと思うことは何ですか？

患者さんに関わる中で、患者さんが心を開いてくれたときや、大変だった患者さんが良くなって「あの時はありがとう」と声をかけてくれたときです。また、金銭面などの問題があった方が、自分が関わることによって医療を受けられるようになったときです。

看護師になったのはなぜですか？

自分が子どもを産んだときに看護師さんが治療も精神面でもすごく良くしてくれて、支えてくれて看護師になりたいと思いました。その後、友人の母から、社会人でも看護師にできるかと聞いて、准看護師になって、学校に通って、国家試験を受けて、看護師になりました。

看護師になるには

大学

一般教養の科目が充実し幅広い視野の学習ができる。4年間の過程を卒業後、看護師だけでなく、保健師、助産師の国家試験受験資格を得ることができる。修了者には学士の称号が与えられる。

短期大学

3年間の過程を卒業後、看護師国家試験受験資格が得られる。必要に応じて、専攻科への進学や大学への進学が可能。修了者には準学士の称号が与えられる。

専門学校

最も多い進学方法。3年間の過程を卒業後、看護師国家試験の受験資格が得られる。大学、短期大学に比べ、職場での実践力を養う教育に比重が置かれている。文部科学省の認可を受けた学校では修了者に専門士の称号が与えられ、大学編入も可能。

厚生労働省が実施している、年一回2月下旬に行われる。

看護師
国家試験



国家資格

病院では、医師や看護師だけでなく、放射線技師や検査技師、管理栄養師や薬剤師、事務員やケースワーカーなど、たくさんの方が働いていて、病院は成り立っている。

病院などに就職

感想

1日目に初めて手術室の中を見せてもらって、テレビで見るようなものがたくさんあることが分かった。ドアを開けるボタンも足で押すなど、手を汚さないために衛生面での工夫をしているのだと思った。2日目に自分たちで血圧測定をしたり、呼吸音や心臓の音を聞いたりして、とても難しいなと感じた。一瞬を逃してはいけないし、おさえる場所などもしっかりと把握するのは大変だと思った。3日目のリハビリ科では90歳をこえる方もいて、とても驚いた。実際に障害をもった体験をして、普段自分が簡単に通していることがすごく難しく感じ、自分が障害をもっていないことが改めて幸せだと思った。この3日間を通して、普段生活しているときにはあまり意識しない「命」と関わって、「命」と向き合うことの大切さや、常に「命」と向き合っている医療関係の仕事のすごさを実感した。



女性の生涯にわたる専門病院

患者さんに寄り添うことが第1

館出張佐藤病院の取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS (SDGs)

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレをみんなに
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 気候変動に具体的な対策を
- 13 海の豊かさを守ろう
- 14 陸の豊かさを守ろう
- 15 平和と公正をすべての人に
- 16 パートナーシップで目標を達成しよう

2030年に向けて世界が合意した
持続可能な開発目標

- 産科 産前・出産・産後
- 婦人科 健康のために・検診・治療
- 予防医療 アシコンセアソシエーションケア・アソリート外来
ウエルエイジング外来

ライフスタイルナビ

Girl Lady Mother Woman

- ・冊子制作
- ・医療連携 (産婦人科)
- ・治療・学会・講演の実績
- ・小児科連携
- ・歯科連携

江戸時代から続く
女性の専門病院

体験した仕事

~ 1日目 ~

- ・更衣。手洗い。院内見学
- ・回診見学。配膳。退院指導見学
- ・患者さんの観察の仕方(体温・呼吸・血圧・脈拍測定他)



↓



~ 2日目 ~

↑

- ・更衣。患者さん移送の仕方(車イス・ストレッチャー)
- ・環境整備。新生児のお世話見学・抱っこ
- ・哺乳瓶洗い。ベッドメイキング(シーツ交換)
- ・配膳。院内見学。育児指導
- ・看護体験感想・進学について(質問)

探究型インターンシップで学んだこと

コミュニケーションの大切さ

インターンシップで、私が一番学んだことは、コミュニケーション能力の大切さでした。看護師、助産師、医師など、特に人との関わりが仕事になる職業にとって、コミュニケーションがとれることは最も重要なことだと感じました。配属をさせて頂いた時、最初に私は患者さんに「昼食です。」しか言いませんでした。しかし、指導者の方から、「休めり召し上がり、下さい。」などの一言を言われた方がいいとアドバイスを受け、実行してみたら、患者さんが笑顔になつてくれた。この一言がこんなにも違うんだと驚きました。自分からコミュニケーションをとりに行くことは、大切なことなんだと実感しました。

相手の気持ちになって物事を考えること

インターンシップで体験をさせて頂いた佐藤病院は、産婦人科なので、それぞれの状況があります。だから、相手の気持ちになって考え、コミュニケーションをとることが大事なんだと学びました。ある人にはどの様なお世話をしても、違う人にとつたら、いい気持ちにさせてもらうかも知れない場合があることを言われた方が、いいのだからと感じました。それが、やっぱりというくらい大事なことを学びました。

あいさつ・返事は基本!!

あいさつや返事をきちんとすること。これは当たり前のことかも知れませんが、あいさつ・返事は人とのコミュニケーションをとる上で一番大切なことです。院内でも、人と会うならあいさつをすることを心がけるように言われ、実行しました。今までは人とすれ違っても、あいさつができていないことがあったけれど、これからは進んであいさつをしたいと思います。

報・連・相 (ほうれんそう) は

とても重要!!

仕事をする上で、この報・連・相 (報告・連絡・相談) がとても重要なのだということも、実際に現場を見ることで学びました。数多くの患者さんに対応するのは、人に報告すること、連絡すること、分からないことを、周りに相談することはやらなければいけないことだと感じました。報・連・相は、仕事をする上で大切だけれど、これは仕事をしていなくても、普段の生活の中でも大切なことだということも、心に刻んでおきたいです。

2030年の仕事の未来を想像

どんな未来になっている？ どんな未来にしたい？

こうなっていてほしい!

自分の好きな英語をもとに活かしたい × 産婦人科の仕事



- ・ 今よりも、もと国際的な病院
- ・ 海外の人にも安心して科用できるような病院
- ・ 海外の治療法、日本の治療法、それぞれの良いところを活かした新しい治療法

→ どうすれば、国際的な社会でも働ける人になれる？

こうなっているであろう!

社会全体でのAIの導入 × 産婦人科の仕事



- ・ たくさんの患者さんの情報をより便利に管理することができるシステム
- ・ 難しい手術がより簡単にできるような機械の導入

・ 助産師や看護師など、人との関わりが仕事である職業 → AIでは変われない

→ AIに変われないような仕事とは？

女性の生涯を支える!

— 産科婦人科 館出張佐藤病院 —

<病院紹介>

- 江戸時代より続く女性の専門病院
- 他の産婦人科との医療連携

<病院理念>

- 女性の生涯にわたる専門病院
- 地域に密着

すべての女性を尊重に重しく



<仕事内容>

～産科～

- 妊婦外来
- 出産について
- 精神的なケア
- 産後のアドバイス

～その他～

- 配膳
- ベッドメイキング
- ...

～婦人科～

- 不妊治療



<体験スケジュール>

<1日目>

9	10	11	12	13	14	15	16
受付 受付	院内見学 回診見学 配膳	昼休憩	退院指導見学 患者さんの観察の仕方 患者さんの移送				

院内見学

- ロビー、NST、外来診察室、相談コーナー、マミズルーム
- ナースセンター、手術室、分娩室、新生児室
- 病室（婦人科）
- 病室（産後）
- 展望レストラン

回診見学

医者が病室にいる患者さん1人1人診察しているところの見学

退院指導見学

出産して退院する患者さんに対して、今後のアドバイスをを行うところの見学

患者さんの観察の仕方

脈拍、血圧の測定の実験

患者さんの移送

車イス、ストレッチャー 体験



<2日目>

9	10	11	12	13	14	15	16
手洗い 妊婦体験	環境整備 ベッドメイキング	母乳瓶洗い 新生児抱き方	配膳 昼休憩	病室見学 (葉、マミズ)	退院指導 退院見学		

妊婦体験

赤ちゃんの重さのおもりをつけての妊婦さんの体験

ベッドメイキング

患者さんのベッドのシーツの取りかえ作業

環境整備

手術室の手術後の状態から次の手術のために色々な器具を整える作業

哺乳瓶洗い

新生児が使う哺乳瓶を洗い、消毒する作業

新生児抱き方

実際に新生児を抱っこさせる体験

配膳

入院している患者さんの病室に昼食を持っていく体験

普通の病院

→ 何かしらげる

佐藤病院 (産婦人科)

→ できる方にお手伝い

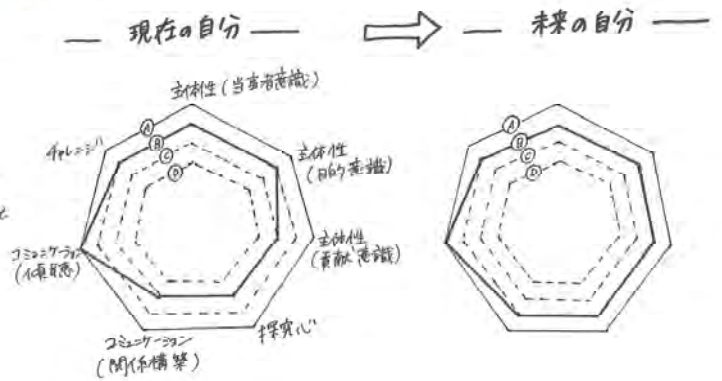
産婦人科病院
ならではの

探究型インターンシップで学んだこと

<インターンシップで学んだことを一言で表すと?> <これから自分をどう変えていきたいか?>

患者さんに関わる上で一番大切なのは
コミュニケーション!

様々なことを体験させてもらったけれど、どれもコミュニケーションが
関わってきたので、人なごころで、やっぱり一番コミュニケーションが大切だと
感じました。



<インターンシップでの自分自身の成長>

— 前の自分 —

- 消極的
- コミュニケーション力が
足りない
- 社会人のマナーが
足りない



— 後の自分 —

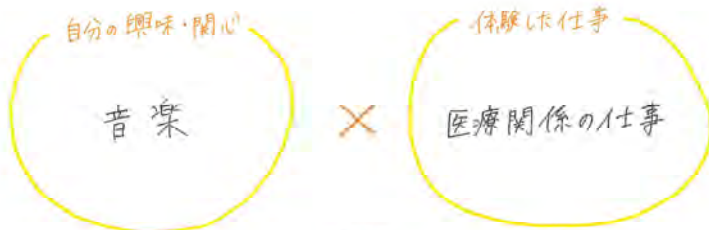
- 様々なことに「イロコシ」
するようになった
- 看護師さん、助産師さん
など、患者さんとのコミュニ
ケーションをとることができた
- 様々な大人の方と接することで
最初は緊張したが、言葉遣い、
挨拶に気をつけて行動する
ことができた。

〜 未来の自分へ成長するために〜

- ・ もっとコミュニケーション能力を高めるために、
日頃からあいさつ、返事を積極的に行う
- ・ 自分の仕事に責任を持って取り組み、もっと周りを
見て行動する

2030年の仕事の未来

こうなっていてほしい!



実現したい 2030年の仕事の未来

病室や待合室で、患者さんの不安や
緊張が少しでもなくなるように音楽を
かけリラックスしてもらおう。

こうなっているであろう!



考察した 2030年の仕事の未来

AIが患者さんに必要な薬、治療の
パターンをすばやく出す。



産まれてから高齢まで



女性を温かくサポート 産科婦人科 病院

職場

たてばり
産科婦人科 館出張佐藤病院
(高崎駅 から歩いて20分くらい)
きれいで落ち着いた感じの病院でした!

なぜここを選んだ?

将来医療系の仕事をしたくてその中でも看護師、助産師が特に興味があったから。

佐藤病院の取り組み

佐藤病院では **SDGs (持続可能な開発目標)** の達成に貢献する活動に取り組み、次世代が健康に活躍できる社会の実現を目指しています。

持続可能な世界を実現するための17ゴール・169のターゲットから構成。地球上の誰一人取り残さない先進国自身の取り組みをユニバーサルなもの。

佐藤病院のSDGs方針

- 1 医療技術・施設設備・環境・職員の質の向上で、女性のQOLをサポートする
- 2 たゆまぬ向上心で自己の成長と女性の健康に寄与する
- 3 社会貢献活動を通して生涯の機会を促進する
- 4 「できること」をやるのではなく「やった方がよいこと」を積極的に行う
- 5 SDGsの達成に貢献する活動で、さらなる職員・地域・病院の相互発展を図る

理念

- ・女性の生涯にたずさわる病院
- ・最新医学の取り入れ
- ・広がりより地域中心の歴史ある病院
(徳川家よりも長く代が続いていらっしゃるはず!)
- ・温かみのある看護・サービス

体験スケジュール

1日目 9:00 ~ 16:00

- 回診見学
- 昼食配膳
- 調乳指導見学
- 退院指導見学
- 患者さんの観察の仕方
- 病院についての話を聞く

昼食配膳

佐藤病院6Fの食堂で作られる患者さん1人1人に合わせたごはんを病室へ運びました。2日間私たちの分まで昼食をつくっていただきました。すごくおいしかったです!

退院指導

赤ちゃんを出産したお母さんたちが集まり、退院に向けて説明を聞きます。赤ちゃんの様子はもちろん、お母さん自身の体調に対する説明もありました。

産科婦人科病院について

佐藤病院は

5F	産科
4F	
3F	婦人科

婦人科では...
流産やセカばく早産、子宮の病気
つわりがひどい人に点滴を打つなど。
悲しいことが多い
赤ちゃんが
人 11週 ~ 12週 ~

産科では...
お産をさる、お母さんの手助けをする
退院した後家で産後ケアの先生とのお話をできるようにサポート

患者さんの観察の仕方

血圧測定や脈拍測定、聴心器を使って心音を聞く体験をしました。この体験でも相手がどんな状態か知るために言葉がけをするなどのコミュニケーションが大切でした。



体験スケジュール

2日目 9:00-16:00

- オペ室掃除
- ベッドメイキング
- 妊婦体験
- 分娩台体験
- 車イス
- ストレッチャー体験
- 新生児を抱く
- 哺乳瓶洗い

分娩台に乗った!

妊婦体験と共に分娩室で分娩台体験をしました。分娩室では2種類の音楽が流れるようになっていて、一つはお産中に、もう一つは産まれた後に流す曲で"どちらもリラックス効果のある曲だ"そうです。貴重な体験ができました。

妊婦を体感!

36週あたりの妊婦さんはお腹に3kgほどの重りをつけているのと同じ状態で、自分が実際に体験してみると、動きにくく動作1つ1つが大変でした。



赤ちゃんを抱っこ

生まれてから1日も経っていない生まれたての赤ちゃんを抱かせてもらいました。天使のようなかわいさでした。アルコールバケツもあり衛生面に配慮されていました。



車イス、ストレッチャー体験

車イス、ストレッチャーに乗らせていただきました。押すスピードが速いと乗っている人は怖く感じるののでゆっくり、声かけすることが大事でした。

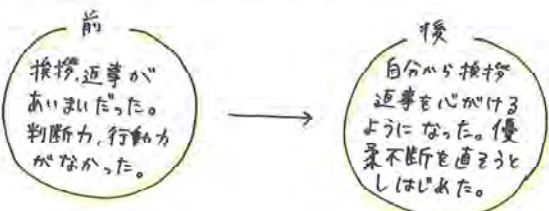


インターンシップで学んだことも一言で表すと

コミュニケーションの大切さ

看護師や助産師は常に患者さんの体や心の状態を考え、落ち着かせる思いやりの仕事でした。思いやりのためにはコミュニケーションが大事だということも学びました。

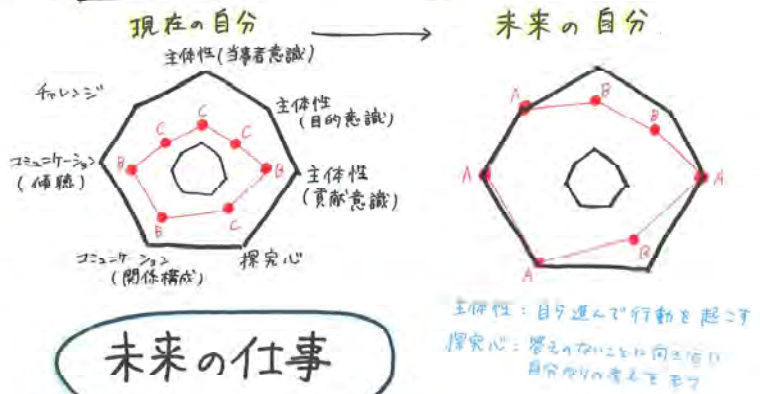
インターンシップ前後



これから...

- 自分から積極的に動く行動力を身に付ける
- コミュニケーション能力を高める

伸ばしていきたい力



未来の仕事

2030年の看護師 助産師

患者さんに心身になって寄り添う仕事で、AIにできることもあるけど、看護師、助産師だからこそ安心できることの方が多いため、AIにはとられないし、AIにとられたくない仕事だと思いました。

やりたいこと

海外旅行

X

助産師

→

病室からなかなか出られない患者さんもいるので、部屋で行きたい場所のプログラミングマッピングをやって気分を上げてもらう。

社会の動き

AI

X

助産師

→

妊婦さんの体調を24時間見守る AI ロボット



産科婦人科館出張佐藤病院

～長い歴史の中で女性の生涯にわたる病院～

◎ インタerview先をココにした理由

医療系のお仕事に興味があり、普段どんなお仕事をしているのかより深く知りたかったから。



病院の **理念**

出産を中心に女性の生涯にわたる専門病院として、優秀なスタッフによる最新医学を取り入れた診療内容を、地域社会に提供する使命を自覚し、温かみのある看護とサービスにより、患者さま一人ひとりに愛される病院を目指している。



◀SDGsの取り組み▶

佐藤病院はSDGs(持続可能な開発目標)の活動に貢献している。

1. 医療技術・施設設備・環境・職員の質の向上で、女性のQOLをサポートする。
2. 社会貢献活動を通して、生涯学習の機会を促進する。
3. SDGsの達成に貢献する活動で、さらなる職員・地域病院の相互発展を図る。

1日目

～体験したこと～

病院の概要 病院内の見学	配膳 普段のお仕事の様子	退院指導の見学 準備・片付け	質問 血圧や脈拍などの測定
-----------------	-----------------	-------------------	------------------

9:00 3階と4・5階で仕事の内容が少し異なる。
 10:40 3階 → 朝の点滴を行ったり患者さんの状態を確認したりする。
 (4・5階では助産師もくわえる。)

12:00/13:00 配膳では、患者さんにどんな言葉をかけていいかわからず、少しとまどってしまった。



2日目

～体験したこと～

診察台体験など 手術室の準備やそうじ ハットメイキング	病院見学(1階) 配膳 車いすなど	新生児のお世話見学	進学についてなどの質問 感想
-----------------------------------	----------------------	-----------	-------------------

9:00 生まれてはじめて、診察台に乗った。
 11:00 手術室の準備やそうじといった貴重な体験ができた。



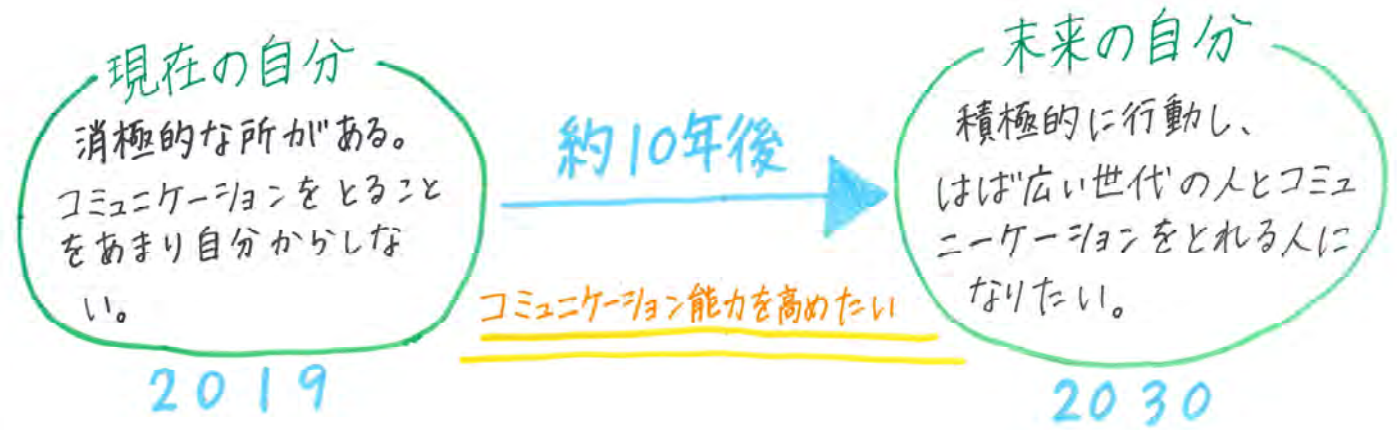
12:00/13:00 1日目より、配膳のときの患者さんとのコミュニケーションがとれた。

16:00 新生児のお世話見学ではその日に生まれた赤ちゃんをたのませてもらいました。

インターシフトを通して学んだことを一言で表すと...

コミュニケーション能力

インターシフトを通して、将来社事をするときや社会にでるうえで一番大切だと思ったから。



そのためには...

自分から積極的にボランティア活動などに参加し、はば広い世代とふれあうようにしたい。

2030年の仕事の未来



インターシフトを通して...

私は今回のインターシフトで普段体験できないことをしたり、見たりして改めてコミュニケーション能力が大切なことだと思った。

看護師以外の仕事でももちろん、コミュニケーション能力は大切だが、特に看護師は患者さんの心のケアにおいて大切だということに気がついた。

今回の貴重な経験をこれからの自分の将来につなげていきたい。

考察した仕事の未来

よりAIが発達し、仕事が楽になる場面もあるかもしれないが、もし、看護師がAI化され、ロボットになってしまったら患者さんの体のケアはできても心のケアができなくなってしまうと思った。

患者さん、利用者さんによりそった仕事

ニ之沢病院の紹介・説明

ニ之沢病院は主に老人の方々が利用している病院です。ニ之沢病院には、老健と呼ばれる介護老人保健施設や老人ホームもあり、とても充実した病院となっています。病院での仕事は、看護師や介護士、栄養士、などたくさんあります。

その仕事を選んだ理由

将来、医療関係の仕事に就きたいと思っているからです。医療関係の仕事はたくさんあるので実際に行って、どんな仕事があり、どのようなことを行っているのが興味がありました。

仕事の種類

栄養士

- ・食事の献立作り
- ・病気にあった食事内容の確認を医師と行い提供
- ・食事を食べている様子を見て介助方法を確認

看護師

- ・医師からの指示で体調管理・治療(怪我治療の場合)
- ・看護日誌・カルテの記入
- ・状態の報告

リハビリ

- ・理学療法士(PT)
- ・作業療法士(OT)
- ・言語聴覚士(ST)
- ※身体機能の維持・向上
- ・生活に必要な動作の再構築
- ・精神面のケア

医師

- ・入所様の体調管理
- ・入所時の状態確認決定
- ・お薬の管理・処方
- ・各職種との連携を図り、状態の把握や方向性を定める

介護士

- ・生活に関わるサポートやケアを行う(介護・介助)
- ・各職種と連携を取り、利用者様の状況や状態を確認・報告

施設ケアマネージャー

- ・施設入所中のケアプランを作成
- ・各部署と連携、家族への報告や確認
- ケアプラン... 介助方法や看護補助の内容計画のこと

支援相談員

- ・入所や退所の対応
- ・利用者様・ご家族の相談対応
- ・病院や役所との連携
- ・ご自宅や他の施設への訪問

スケジュール・体験したこと

1日目

9:30	オリエンテーション
10:00	リハビリの仕事
11:00	支援相談室の仕事
11:30	居室の仕事
12:00	介護の仕事
12:30	お昼休み
13:30	介護の仕事
15:30	院長からの話
16:00	まとめ・終了

- ・体操、LFAリハビリ見学
- ・おやつ配茶、配茶、見学
- ・利用者とのコミュニケーション

2日目

9:30	看護介護の仕事
10:00	病棟の仕事
12:30	お昼休み
13:30	薬局の仕事
14:00	放射線科の仕事
14:30	検査科の仕事
15:30	まとめ・終了

- ・臨床検査技師の説明
- ・エコー
- ・心電図実演

- ・診療放射線技師の説明
- ・一般撮影、CT見学と説明

3日目

9:30	地域連携室の仕事
10:00	病棟の仕事
12:30	お昼休み
13:30	医事課の仕事
14:00	栄養科の仕事
15:00	質疑応答・終了

- ・診療報酬請求事務の説明
- ・医事課計の説明

- ・手洗い
- ・バイタル測検
- ・食事介助見学

- ・シーツ交換
- ・車椅子介助、移動
- ・食事介助見学

探究型インターンシップで学んだこと

将来の夢の幅が広がった

理由 看護師が臨床検査技師のどちらが私の将来の夢であったか、インターンシップに行ったことで、この二つの職業以外にもいいなと思った仕事があったから。

① インターンシップの前と後の自分の成長

後の自分

人とたくさん関わり、多くの人とコミュニケーションをとれるようになった。

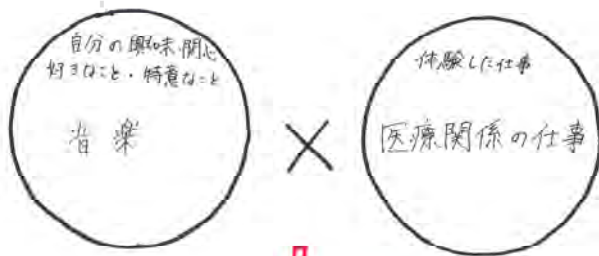
前の自分

人とコミュニケーションをとることが苦手

- ② 日常をどのように変えていきたい？どんな力を伸ばしていきたい？
- 今の自分に足りない主体性(当事者意識)、コミュニケーション能力(傾聴)、チャレンジ精神を身に付けていきたい。
- ③ 現在の自分から未来の自分へ成長していくために...
- わからないことはすぐに聞く。
 - 何事にも恐れずにチャレンジする。
 - 自分から進んで行動する。
 - 困難なことにぶつかっても努力を続ける。

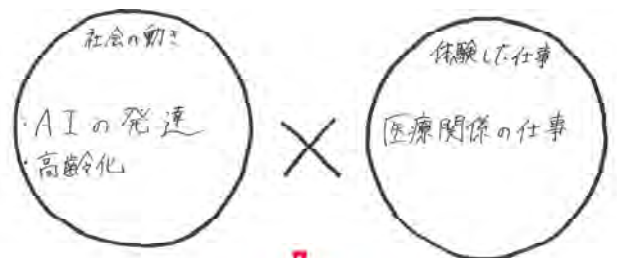
2030年の仕事の未来

① こうなりたい！



音楽をきいてもらい、
脳を活性化させる

② こうなっているであろう！



病院に行かなくても
診察ができる。

患者さんや利用者さんとの繋がりを大切に

二之沢病院
老人保健施設

二之沢病院とは...

- ・外来は内科全般に対応している
- ・医療療養型の病院
- ・訪問診療や往診なども行っている

<病院>

- ・お医者さんが診断した結果で看護師さんなどが動く。
- ・患者さんのする事全部を手伝うのではなく出来ない事をサポートする。
- ・患者さんや患者さんのご家族などの相談も受ける。

なぜ二之沢病院を選んだ?

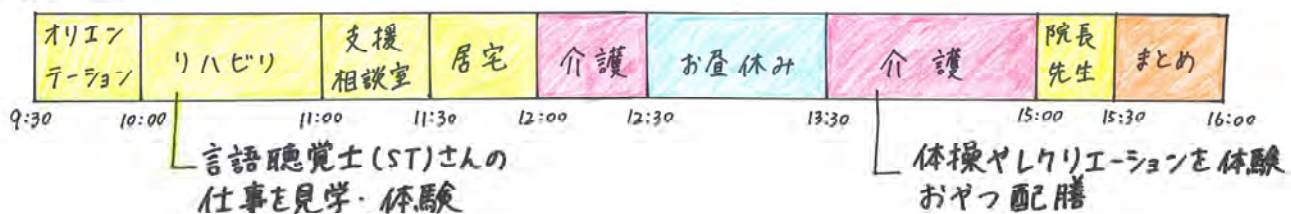
- ・医療系の仕事をもちたかったから。
- ・将来必要とされる職業だから。
- ・将来の夢を見つけたから。

<老人保健施設>

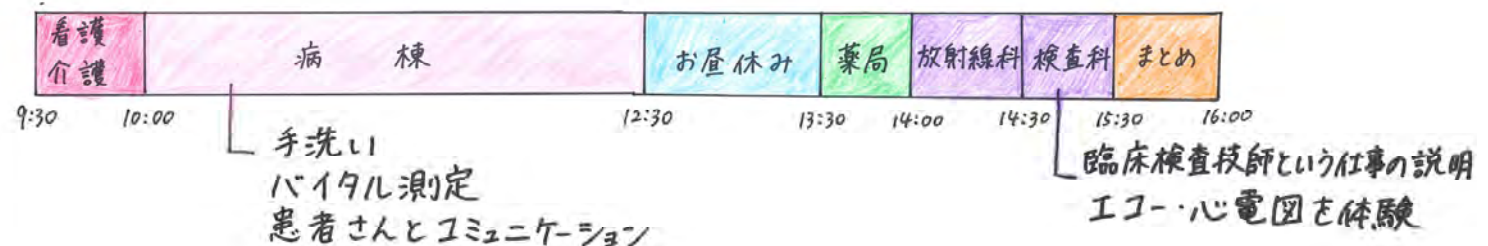
- ・利用者さんが在宅復帰できるようにしている。
- ・リハビリや療養をする。
- ・入所期間は3ヵ月～1年。
- ・入所するには手順がある。

～体験スケジュール～

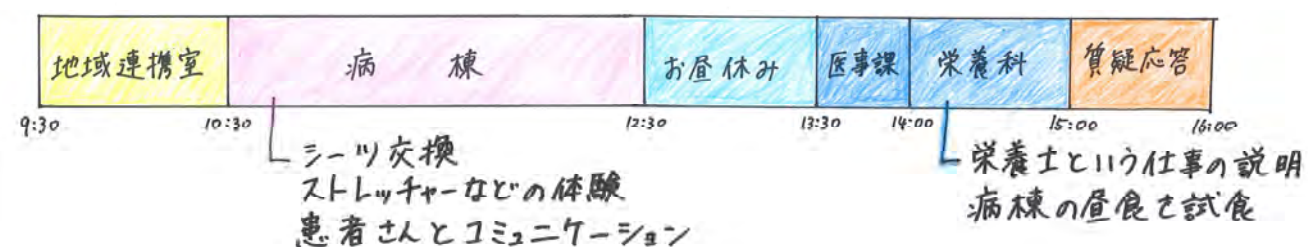
<1日目>



<2日目>



<3日目>



インターンシップで学んだ事を
一言で表すと?

人との関係

↳ 病院や老健は人と接する事が
多か、たから。
コミュニケーションをとる場面が
たくさんあったから。

なりたい自分

- ・ 貢献意識の主体性と
関係構築のコミュニケーションの
力を伸ばしている。
- ・ 自分の意見をはっきり周りの
人に言えるようになってる。

インターンシップで前と後の成長

前

- ・ 医療の事に詳しくなかった。
- ・ 人と接する事や話す事に
緊張していた。



後

- ・ 医療の事をたくさん知れた。
- ・ 人と接する事や話す事に
あまり緊張しなくなった。

2030年の仕事の未来

こうなっていてほしい!

自分の好きな事

- ・ 音楽を聴く事。
- ・ ドラマを見る事。

×

体験した仕事

看護・介護の
仕事



実現したい仕事の未来

- ・ 音楽を使って患者さんや
利用者さんが自分から体操をする。

こうなっているであろう!

社会の動き

- ・ 高齢化が更に
進む。
- ・ AIの発達。

×

体験した仕事

看護・介護の
仕事



考察した仕事の未来

- ・ 人手不足。
- ・ スムーズに診察が
受けられる。

いろいろなプロが支え合う職場

二之沢病院

1日目

リハビリ — 相談員 — 介護支援専門員 — 介護福祉士

↳ 理学療法士 (PT)
作業療法士 (OT)
言語聴覚士 (ST)

2日目

看護師 — 薬剤師 — 診療放射線技師 — 臨床検査技師

↳ 食事介助見学

↳ エコー体験
心電図実演

3日目

相談員 — 看護師 — 医事課 — 栄養士 — 質疑応答

↳ シーツ交換
車椅子介助
ストレッチャー体験

① リハビリテーション (リハビリ)

言語聴覚士 (ST) は、言葉によるコミュニケーションに問題がある方に必要に応じて支援していくもの。理学療法士 (PT) は、疾患や傷害による後遺症の改善を図るもの。作業療法士 (OT) は、身体または精神に障害のある方に対し、治療指導、援助を行うもの。それを通じて、様々な機能や能力の維持、改善を目指す。

② 介護福祉士

介護福祉士は、施設の介護職員として介護業務にあたるだけでなく、利用者さんの残存機能の維持、自立した生活のために適切なアドバイスも行います。また、介護福祉は、様々な事業所で働いています。大きく分けて居住施設型、特定施設型に分類されていて、さらにその中でもいくつかは分類されません。

学んだことを一言で...

日常生活の中から学べるものがたくさんある。

↳ どんなことでも **主体性** を意識して取り組みたい。

インターネットを通して...

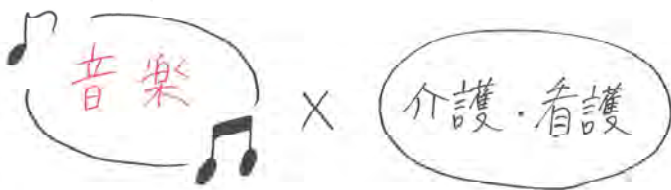
「働く」ということに対するイメージや、これからの進路について、前よりもはつきり考えられるようになった。



「大学」という進路だけでなく、それぞれの進路でどのような資格や、経歴を得ることができるのかなどを調べてみる。

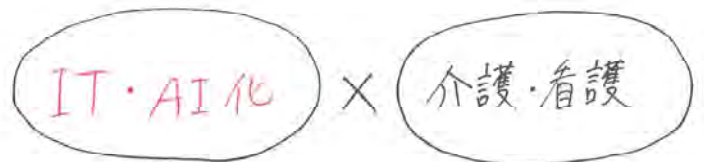
2030年の仕事の未来

○私が望む未来



音楽が脳や身体に与える影響などについての研究が進むと、それが介護・看護に取り入れられる。

○社会の動きから



AIなどが、看者さんや利用者さんと接する中で、自分自身でその方の状態や細かい情報を読み取るようになる。

将来への道筋

~二之沢病院に行つて~

~会社紹介~

2つの施設に分かれている!

病棟... 病気になった患者さんの診察

老健... 利用者さんが自立し、家庭復帰へのサポート等をしている。

~選んだ理由~

その1. 将来の夢である**介護福祉士**の仕事を知るから。

その2. その他の医療関係の仕事も体験することができるから。

~病棟・老健の主な職種~

病棟

看護師, 薬剤師, 相談員

診療放射線技師

臨床検査技師 など

老健

ケアマネージャー(介護支援専門員)

介護福祉士, 理学療法士

作業療法士, 言語療法士

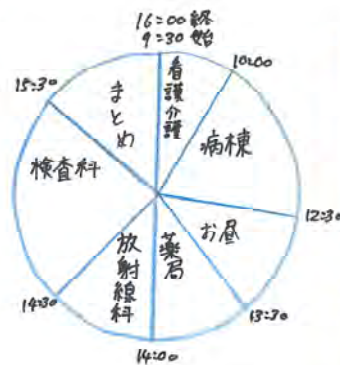
など

~体験スケジュール~

1日目



2日目



3日目



~体験したことの紹介~

1日目

リハビリ, 体操, レクリエーション, おやつ配膳, 配茶, コミュニケーション, 脚気検査, 脈拍

2日目

手洗い, バイタル測定, 食事介助見学, 薬の包装, MRICT見学, Eコー, 心電図の実演

3日目

メラビアンの法則, シーツ交換, 車椅子の移動, ベッドの移動, 食事介助の見学, カルテの作成, 病棟の給食の試食

~ インターンシップで学んだことを一言で表すと? ~
将来の夢への道が

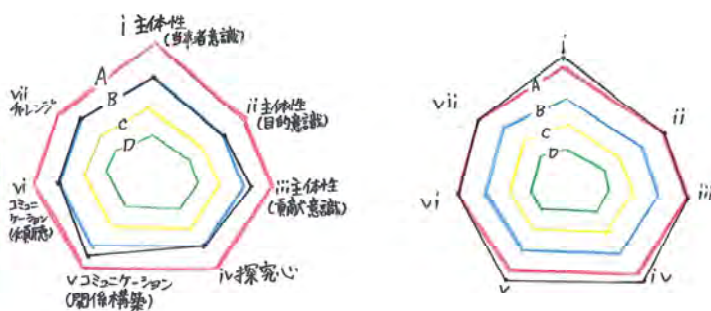
1つではないこと!

<理由>

1つしかないと思いつ込んでいた私の将来の道を増やしてくれたから。

~ 日常をどのように変えていきたい? どんな力を伸ばしていきたい? ~

現在の自分 → 未来の自分



~ インターンシップの前と後の私の成長 ~

前の自分

- ・コミュニケーションが上手くとれない。
- ・自分のペースでつっはってしまうことがよくある。



後の自分

- ・コミュニケーションが他人ともできるよう!
- ・相手のペースに合わせられるようになった。

~ 現在の自分から未来の自分へ ~

- ・どんな人とも上手くコミュニケーションをとれるように近所の人から話してみる。
- ・人の意見をしっかりと聞いてから自分の意見を言う。
- ・何事にも目的や責任感を持っていく。

~ こうなりたい! ~
 2030年の仕事の未来

自分の興味関心 × 体験した仕事

漫画を読む × 介護、医療関係の仕事

歌を歌う ×



実現したい 2030年の仕事の未来

お年寄りが漫画を読む、書くなどをし、脳を働かせながら過ごせる仕事。

カラオケ大会などを開いて地域の人と楽しめるイベントがある仕事。

~ こうなっているであろう! ~
 2030年の仕事の未来

社会の動き × 体験した仕事

外国人労働者 × 介護、医療関係の仕事

科学技術の発達 ×



考察した 2030年の仕事の未来

多様な言語が飛び交う職場

患者さんの病気がすぐ治る。健康状態を一定に保つ。

人を「看」て、人を「繋ぐ」
看護師の仕事

看護師



傷病者や妊産婦の養療上のお世話や
 医師の診療の補助をする。

『人を看る』という独自の目線から観察。
 判断をし、患者さんの命と生活を支える。

★心のケアも大切に、患者さんにとって
 一番身近な存在です

榛名荘病院

「一般財団法人榛名荘」という医療団体の
 施設の一つ。外科や歯科、整形外科
 があり、その中でも**脊椎脊髄治療**に
 特化している。年間400件以上の
 手術をしており、自立生活社会復帰
 がいち早くできるよう、リハビリ施設も充実。

・連携している施設

- ・はるな脳外科・あけぼの苑高崎
- ・群馬脊椎脊髄センター
- ・訪問看護ステーション榛名荘
- ・居宅介護支援事業所ひなたぼこ

など

仕事内容

[1日]。脊椎脊髄病棟

「首から腰まで」の病気を患った方の病棟



脊椎脊髄回復期病棟

手術後の患者さんの病棟。日常生活の動きを通して
 リハビリをする。半年ほど首の装具やコルセットは外せない。

・回復期病棟(整形外科外来)

脊椎脊髄以外の病気の方の病棟。自力で歩ける人から
 寝たきりの人まであり、施設内に様々な工夫があった。

・検査室、放射線室 ★除査技師、放射線技師

入院や外来で来た患者さんの除査をする。放射線室は
 放射線を扱うため、壁が全て鉛でできている。

・歯科 ★歯科衛生士

外来はもちろんだ、入院している患者さんの口ケアも
 行い、合併症を防ぐ。

鉛が入った服。
 除査するとき、
 医師看護師が着る。



[2日]。リハビリテーション科 ★理学療法士

理学療法

運動のリハビリ(起きる、歩くなど) ベッド、手すり、階段が
70cm以内にある。

作業療法

身体の基本～応用能力や社会生活適応性の改善。
 手の動かし方から料理やパソコンの打ち込みもする。

言語聴覚

病気による失語病をリハビリ。言葉の語み方を覚える。

・オハコ

榛名荘病院には3室あり。放射線室と同じように
 CT検査ができる。衛生管理がとても厳しい。

・栄養課 ★管理栄養士

患者さんの食事の管理をしている。一人一人病状が違います
 ので、食べ物の大きさから栄養バランスまで、とても細かい。
 (朝食→10大→粗を2大→2大の極を2大→ミキサー)

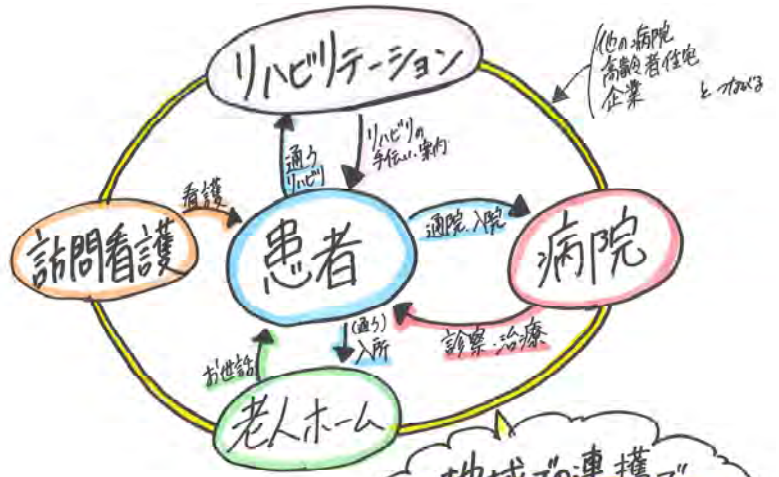
・外来

外来で来た患者さんを案内したり、医師のサポートをする。
 患者さん一人一人とのコミュニケーションが大切。

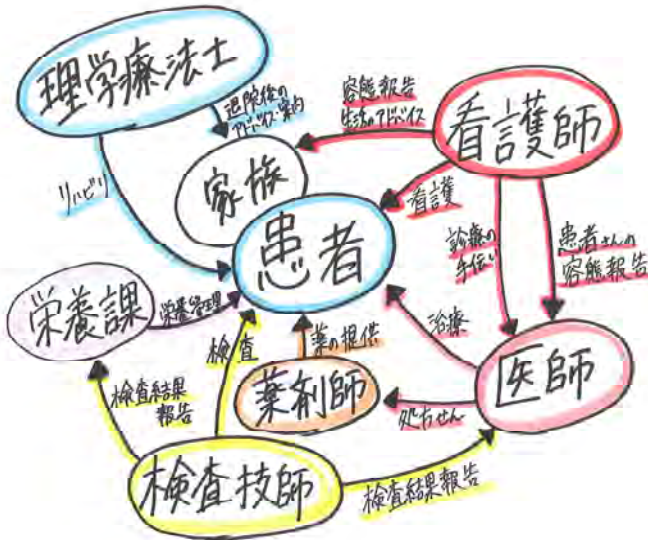
・薬局 ★薬剤師

外来からの処方せんや、入院中の患者さんの薬の管理を
 している。薬を細心検閲して飲ませたり、吸入薬や漢方
 など多様な種類の薬品を取り扱っている。

「病院」は、様々な職種や地域との連携で成り立っている



地域での連携で、情報伝達がスムーズに



★ 患者と医師だけでなく、専門の科の医師や検査技師、薬剤師など、専門的な知識・技術を提供し合うことで、より良い治療をすることができるといえる。
看護師は、一番に患者の様子を観察し、報告する役目も担っている。

2030年の仕事の未来

自分の興味 仕事

「美術」
「物のデザイン」 × 看護師

↓

- 現場の声がより多く聞かれるようになる。
- ユニバーサルデザインが増える。
- 医療器具を使いやすくなる。
- 病院の外観見から「病院らしい」暗さが取り除かれ、子供からお年寄りまで心地良く通えるようになる。
- 外国人にもわかりやすいデザインが増える。

社会の動き 仕事

AI
ネットのチャット機能向上 × 医療関係の仕事
教育過程の変化

↓

- 病院にわざわざ通わなくても診察できる。
- ベッドから抱え上げた。車いすをおしてくれるロボットが増えている。
- 准看護師が看護師と統一され、看護の教育が3年か4年になる。
- ★ AIやロボットが沢山いても、人間同士でしかわからないことも沢山ある!

未来を支える職

★ 企業説明

医療法人社団日高会日高病院
高崎市中尾町886

病院理念: 患者の満足を第一に考え、質の高い医療を提供する。
沼田、富岡の65歳以上の高齢者が30万人以上いるので定期便を出して日高病院で診断。



★ 仕事・会社の紹介・説明

日高病院 部署と職種	
診療科	⇒ 医師
看護部	⇒ 看護師・准看護師・看護補助者
薬剤部	⇒ 薬剤師
診療放射線科	⇒ 放射線技師
栄養課	⇒ 管理栄養士
リハビリテーションセンター	⇒ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
臨床検査室	⇒ 臨床検査技師
臨床工学室	⇒ 臨床工学技士
病診連携室	⇒ 社会福祉士

診療科 ⇒ 医師 ... 傷病の診療、治療をする。

看護部 ⇒ 看護師 ... 傷病者若しくはよけい婦(褥瘡)に対する療養上の世話又は診療の補助を行う。
○ 24時間患者さんのそばにいる(夜勤がある)患者さんを一人の人間として捉え、ケアをする。

薬剤部 ⇒ 薬剤師 ... 薬剤師法に基づき、医療品の調剤、製造、供給、その他薬事衛生に従事する。
○ 外来患者入院患者対象の調剤、供給入院患者の内服指導。

診療放射線科 ⇒ 放射線技師 ... 医師や歯科医師の指導監督の下に、診療用の放射線の照射・撮影を行う。
○ 単光子トゲン検査、CT、MRI、血管造影、血管造影下の治療。

臨床検査室 ⇒ 臨床検査技師 ... 医師または歯科医師の指示のもとに、厚生労働省で定める生理学的検査を行う。
○ 生理学的検査(採血、採尿、細菌培養、心電図超音波等)、病理診断。

臨床工学室 ⇒ 臨床工学技士 ... 医師の指導・監督の下に医療機器の操作および保守点検を行う。
○ 医療機器の管理(人工呼吸器、輸液ポンプ、心電図モニター)

栄養課 ⇒ 管理栄養士 ... 栄養士法に基づき、栄養士を指導し、給食管理などの業務を行う。
○ 入院患者の食事の管理、入院・外来患者の食事指導

病診連携室 ⇒ 社会福祉士 ... 心身の障害や環境上の理由で日常生活に支障のある人の福祉に関する相談を受け、助言・指導を行う。
○ 入院患者の福祉や介護保険に関する相談、退院調整

理学療法と作業療法の違い
① 理: 立ち上がることや歩くことなどの動作をできるよにする。
② 作: 料理などの作業をできるようにする。

リハビリテーションセンター

理学療法士 ⇒ 医師の指示の下理学療法を行う。言語聴覚士 ⇒ 音声言語、非言語に障害がある人に対して、訓練とこれに必要な検査や助言・指導に従事する。

作業療法士 ⇒ 医師の指示の下作業療法を行う。

★ 体験スケジュール

1日目 午前 控入室案内、院長インタビュー、看護部長インタビュー、個人情報について
午後 OPE室見学(デビンによる腎臓がん摘出)
2日目 午前 医療ソーシャルワーカーの話、BLS体験(胸骨圧迫、AEDの使用)
午後 院内見学、病棟、リハビリ、救急外来、レントゲン

3日目 午前 看護ケア体験
午後 ベッドメイキング、ストレッチャー、車椅子体験
★ 院長インタビュー内容
Q 医療系の仕事にはどのような人が向いている?
優しい人、敬遠持ちがある人、ストレスに強い人、チーム医療が強い人
Q 失敗した時に大切なこと、心掛けること?
行動することで失敗するので、失敗することは悪いことではない

★ 印象に残った体験

OPE見学: 生まれて初めて手術室に入り、生まれて初めて手術を見ました。北関東に1台しかない上から機械が手術をするデビンを見ることができました。遠隔手術で行い、一人で手術ができるので、手が掛からず手術ができるというものでした。想像していた手術とは違い、あまり出血していませんでした。

医療ソーシャルワーカーの話: 医療ソーシャルワーカーの話聞く前は、そのようなお仕事があること自体知りませんでした。MSWになるためには特別な資格は必要ないが、ほとんどの医療機関で採用条件として「社会福祉士」または「精神保健福祉士」が必要となっている。(国家資格) 合格率も25%程度であり福祉界でも最も難易度が高い資格です。医療機関などにおける福祉の専門職として、患者や家族を社会福祉の視点からサポートする職だと知りました。MSWは患者さんの入院前の生活の様子把握し退院後も気に掛けていく大変さだと思いました。

救命処置



【MSWとは...】

MSWに必要なのは「コミュニケーションスキル！」人と話し、相手を知る・理解することからはじまるため最善の配慮をした対応が求められます。

また病院に来ることは基本的に「ネガティブ！」だからこそ、親身になり信頼関係を築くこと、一緒に悩むことが出来「コミュニケーションスキル」が必要となります。

- Q 学生時代にしておくべきこと?
人間の幅を広げる。本を読む、会話を。心に止まったことをノートに書き止める。70%になってからでは遅い。今が大チャンス!!
- Q 将来の仕事をどのように変化と思うか?
人口減少により看護層が変ってくる。バトが人にならなくなる → 病院いなくなる?

BLSのポイント

- 心停止を確認してから10秒以内に圧迫を開始する
- 強く、速く押す: 圧迫を100-120回/分のテンポで行い、深さは成人の場合少なくとも5cm
- 圧迫を行った時に胸骨を完全に元に戻す
- 胸骨圧迫の中断を最小限にする(胸骨圧迫の中断を10秒以内に抑えるように心がける)
- 胸の上がりを伴う効果的な人工呼吸を行う
- 救急要請を行う

★ インターンシップで学んだことを一言で表すと?

一言: 何をやるのにも協力が大切。

理由: 病院では何をやるのにも一人でではできず何をやるのにも協力をすることが大切だと思ったから。

こんな力を伸ばしたい!

現在の自分		未来の自分
B	— 主体性	— A
B	— 探究心	— A
B	— コミュニケーション	— A
C	— チャレンジ	— B

★ インターンシップ前と後の自分

前の自分

仕事は自分の好きなことをやるから楽しくてやりがいもある。

後の自分

自分が好きでない仕事でもやりがいはいくらもある。仕事に就くことで多くの人間と出会えて多くの経験ができる。成長させてくれる。

初めて発見したこと

病院には事務部門や検査事業などもあること。病院では20床以上なければいけない。20床以上の所は7000坪などと言ふ。

面白いと思ったこと

日高病院には県内唯一のゲイナがある。(約3億円)放射線科にはCTやPET (ホトロンCT) がある。→ 体の中にも放射線元素を投与し体の断面を撮影する。

★ 現在の自分から未来の自分へ成長していくために、これから何に取り組むのか。

まずコミュニケーション能力を高めることを第一に考えていきたいと思う。なぜかと言うとチャレンジすることや探究心を持つことは友達や大人や先生とコミュニケーションをしてこそのものであるからです。コミュニケーション能力を高めるためには積極的に人と会話することが大切なので今まで以上に会話していきたい。また、院長インタビューで院長が話されていた人間の幅を広げたり、本を読んで心に止まった言葉をノートに書き止めたりもしていきたいと思う。

大人に言われて心に残った言葉

医療系の仕事は職に就いてからの勉強の方が大変なので学生のうちに勉強の習慣をつけておいた方が良い。専門性が求められる時代になるのでスキルを身につければ食べていける。

コミュニケーション能力 ⇒ チャレンジ探究心

驚いたこと

手術はもっと出血したりして怖いイメージだったが、前もって準備しているのでも落ちついてた。手術をする先生がリラックスできる曲を流すらしい。

★ 2030年の仕事の未来はどんな未来になっているか? どんな未来を創るか?

自分の興味、関心好きなこと、得意なこと
・体を動かすこと
・機械
・筋道を立てて考えること

体験した仕事
・医療関係の仕事

社会の動き
少子高齢化、技術の発達
医療に携わる人の減少

体験した仕事
医療関係の仕事

実現したい2030年の仕事の未来

体の仕組みや骨の構造などの知識が豊富で、機械を使いこなし体内の精密な断層像や癌部の断層を撮影でき血管造影を行うことができる多くのスキルを身につけた放射線技師。

考察した2030年の仕事の未来

手術には機械が使われるようになる。
少子高齢化により看る層が変化する。
人口減少によってベットがそんなに必要なくなる?

まとめ

インターンシップに行ったことで仕事のことを知ることができたり、社会のことを知ることができました。私は仕事から大学を選択したいと思っているので、これからより探究していきたいと思っています。

より良い医療と安心を提供し命をつなぐ

医療法人社団 日高会 日高病院

〒370-0001
群馬県高崎市中尾町
807-1

医療理念

「患者の満足を第一に考え
質の高い医療を提供する」

日高会グループ

- 白根クリニック、日高リハビリテーション病院
- 社会福祉法人花の苑、平成日高クリニック
- 富田クリニック、(株)MWS日高、日高病院

- なぜこの会社 仕事を選んだのか
- 医療関係の仕事に興味があったから
- 医療を受ける側ではなく、提供する側に
立って、何をしているのか、どんな工夫か
あるのかを学びたから

3日間のスケジュール

1日目

- 院長インタビュー
- 看護部長インタビュー
- 個人情報について
- OPE室見学

OPE室は緑のかべに
囲まれて、大きな機械
がたくさん置かれていた。
「ダビチ」という
機械を使った、
肝臓の手術を見学し、
ダビチは今不可能
だった角度からの
視野の確保と、
繊細な動きが可能
になり、出血量が減少す
るなどのメリットがあるそうです。



1日目は…
患者さんのために
より良い医療を提
供することを近く
で見、実感した。

2日目

- 医療ソーシャル
ワーカーとは
- BLSを体験
- 院内案内
病棟・リハビリ室
救急外来・レントゲン

医療ソーシャルワ
ーカーとは、医療機関などに
おける福祉の専門職
として患者やその家族
を社会福祉の視点から
サポートをする人！

BLS
(basic life support)
↓
一次救命処置
一次救命は時間との
勝負！はじめるのが早い
ほど生存率が上がる。
手順とAEDの使い方
についてよく学びました！



2日目は…
BLSをどなたが
正確にやるか、と、
時間の長さか、と、
命を救うためには
おのずかに関係して
いる、ということを
学びました。

3日目

- 看護ケア体験
バイタルサイン
に電図モニター装着体験
輸液ポンプ
シリンジポンプの操作
- ベッドメイキング
ストレッチャー
車椅子 体験

点滴静脈注射を
施行する時に利便性
と安全性を高める
輸液ポンプと
輸液ポンプより少量で
より正確な輸注を
必要とする
シリンジポンプが
ある事を知り、使い方を知った！
ベッドメイキングで
シーツのおり方、
まくらの置く向き
など細かい所まで
気をつけていることを
知った！



3日目は…
看護師さんか
患者さんへ細かい
気遣いを感じて、
驚いた。
3日間、様々なものを
見たりして、将来の道
が分かった。

院長先生のインタビューでわかった

二、三年であった **2つの変化**

働き方改革

医療者に変化があった

・**労働時間**の見直し

・**休み**の日数

・**会議**の時間の長さ

医療関係の仕事には
時間と**多くの人の力**
が必要

少子高齢化
人口減少

患者の**年齢層**・**病気**の種類
に変化があった

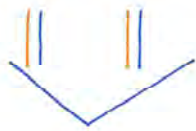
病院では
急性期・回復期・慢性期
の3つに**機能分化**しているが
これらの**集約化**・設備の**整備**
が必要となる

この2つの変化から

2030年は！

より良い医療を提供するために進歩し、

医療は**機械化**が進むだろう。



私たちに

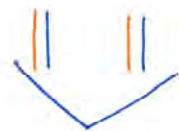
高い専門性と**技術能力**

が必要とされる

人間の幅を広げる
ことが大切。

人と人との**関係**や

本で蓄える**知識**



感情をよみ、

理解をする事

～インターンシップ2019～

命を支える・救う

病院の人々の仕事

In 医療法人社団日高会 日高病院

● 3日間で体験したこと・スケジュール ●

～ 3日間のスケジュール～

1日目 8月28日(水)	2日目 8月29日(木)	3日目 8月30日(金)
9時15分 学生集合 南玄関 9時30分 控え室案内 9時40分 院長インタビュー ① 10時30分 看護部長インタビュー ② 11時00分 個人情報について	9時30分 医療ソーシャルワーカーとは 10時30分 BLSを体験してみよう (講師：中田師長) ④⑤	9時30分 看護ケア体験 バイタルサイン 心電図モニター装着体験 輸液ポンプ・シリシソポンプ操作 ⑦
12時30分～ お昼休憩(レストラン)	12時30分～ お昼休憩(レストラン)	12時～ お昼休憩(レストラン)
13時30分～ OPE 室見学 ③	13時30分～ 院内案内 病棟 リハビリ室 救急外来 レントゲン (須田技師長) ⑥	13時～ ベッドメイキング ストレッチャー・車椅子体験 ⑧
15時 終了	15時 終了	14時～ 振り返りの会

① 今行われている医療のことや、今後医療がどうなっていくのかなどを聞くことができました。

② 看護師が今どんなことをしているのかや、やりがいや失敗談を聞くことができました。

③ OPE 室見学では「ゲージ」という特殊機械を見せていただきました。その機械は3億円もするそうで、北関東に1台しかないそうです。

④ 医療ソーシャルワーカーとは 医療機関などにおける 福祉の専門職として 患者や家族を社会福祉の視点からサポートする人です。Mは「Medical(医療的)」、Sは「Social(社会的)」、Wは「worker(働く人)」です。MとWには「コミュニケーションスキル」が必要で、④

BLSを体験してきました。AEDを使ったり、胸骨圧迫や人工呼吸の説明を受け、胸骨圧迫の練習をしました。胸骨圧迫をやり続けるのはとても大変なことなのだと感じました。⑤

⑥ 院内見学をしました。レントゲン室の他にもCT室MRI室を見学し、がんで行われる放射線治療の機械も見せていただきました。今まで見たことなかったのが印象に残りました。⑥

⑦ 心電図モニターを装着させてもらいました。つけるのは初めてだったので「ビーン」という音でとても怖さを感じました。輸液ポンプなどの使い方も教えていただき、使えるようになりました。⑦

⑧ ベッドメイキングやストレッチャー・車椅子体験をさせてもらいました。ベッドメイキングとはベッドのシーツや枕カバーをつけることです。ベッドにシーツをつける時やり方があり、とても細かくきめいたシーツをしくことができていました。車椅子では動かすのが大変でした。ストレッチャー体験はいつも患者さんがどうゆう状態をうけているのか体感できたので、よかったです。

★医療法人社団日高会★

～病院・クリニック一覧～

- 日高病院
- 白根クリニック
- 社会福祉法人
花の苑
- 富岡クリニック
- MWS日高
- 日高リハビリステーション
病院
- 平成日高クリニック

豆知識

病院とは20床以上のベッドが完備されている施設。

●まとめ●

インターンシップで学んだこと

今回のインターンシップで様々なことを学ぶことができたと思います。

いままであまり病院のことを知りませんでした。看護師の仕事が一番よく知ることができたと思います。患者のことを第一に考え、ささいなことにも気をつけて行動していました。また、看護師の仕事内容もよく知ることができました。改めてすごい仕事なんだと感じることができました。

～インターンシップを終えて～

インターンシップ前の自分
進路が決まらず、危機感を感じず、勉強しない自分



インターンシップ後の自分
進路が明確に決まり、それに向かって元張り始めた自分

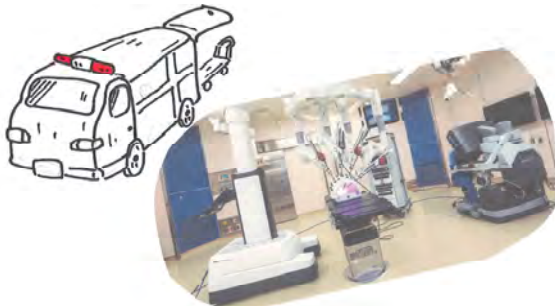
未来の医療を見てみよう!

仕事・病院の紹介と説明

場所:群馬県高崎市中居町 886

診療科:内科・呼吸器内科
循環器内科・糖尿病科
腎臓内科・外科・乳腺外科
心臓血管外科・腎臓外科
整形外科・脳神経外科など

日高病院は最先端医療の機械を多く導入しており、主に循環器内科で使用されているda-Vinciは、4本のロボットアームによる手術が行なわれています。その他にも、放射線による最新のがん治療も行なわれています。



1日目

9時15分 集合
9時40分 院長インタビュー
10時30分 看護部長インタビュー
11時00分 個人情報について

12時30分~お昼休憩(レストラン)

13時30分~OPE室見学

15時00分 終了

1日は院長、看護部長へのインタビューと実際のOPE室に入らせてもらいがんの手術を1時間ほど見せてもらいました。本物のOPE室は緊張感が全然違い、医療の現場を体で直接体験することができました。また、OPE中には説明をしながら手術していたので、とても分かりやすかったです。

2日目

9時30分 医療ソーシャルワーカーとは
10時30分 BLSを体験しよう

12時30分~お昼休憩(レストラン)

13時30分~院内見学
病棟、リハビリ室、救急外来
レントゲン(須田技師長)

15時00分 終了

2日は、BLS(一次救命処置)と院内見学をしました。BLSでは胸骨圧迫とAEDの使用、ゴツなどを学びました。院内見学では院内の施設を見て回り、担当者の話を聞かせてもらいました。特に印象に残ったものは、放射線治療の機械を見学した際に、大きさや空気感が違い、とても不思議な感じでした。

3日目

9時30分 看護ケア体験
バイタルサイン
心臓モニター装着体験
輸血ポンプ、シリンジポンプ操作

12時00分~お昼休憩(レストラン)

13時00分~ベッドメイキング
ストレッチャー
車椅子体験

14時00分~振り返りの会
3日は主に看護師の仕事を実際に体験させていただきました。点滴の操作や輸血ポンプの使用手法、ベッドメイキングのゴツ、ストレッチャーや車椅子に実際に乗せていただきました。



BLSのポイント

1. 心停止を確認してから10秒以内に圧迫を開始する
2. 強く、速く押す: 圧迫を100~120回/分のテンポで行い、深さは成人の場合少なくとも5cm
3. 圧迫を行うたびに胸部を完全に元に戻す
4. 胸骨圧迫の中断を最小限にする
(胸骨圧迫の中断を10秒以内に即えるように心がける)
5. 胸の上を伴う効果的な人工呼吸を行う
6. 通気具を避ける



ストレッチャー



シリンジポンプ

医療の現場のQ&A



Q1 院長になったのやりがいは?

A. 人の力が必要。日本の社会が変わり患者層などが変わっていたり、働き方改革で現在はとても大変だが改革に向かっていくことがやりがい。



Q5. 未知な事に心がけていることは?

A. 未知の行動を起こした結果でありそれを受け止め、また行動することが大事。



Q2. どのような人材を求めていますか?

A. 優しい人。相手を導うことができる人。思いやりのある人。ストレスに強い人。チームワークがある人。

Q3. 学生から社会人になって変わることは?

A. 時間をとても大切にできるようになる。人との関わりを大切にする。中途半端な気持ちでいられない。

Q4. 学生のときにしておくことは?

A. 人間の幅を広げること。本を読むこと。色々な人とのつながり

Q6. 医療機械の発達で変わったことは?

A. 出血量が大幅に減った。画像がとてもきれいになり安全性が高くなった。

Q7. 今後医療はどのように変化すると思いますか?

A. 人口の割合が変化し、病気の割合が変化する。病院の収容力が始まり大学卒業後の高い専門性が求められる。

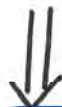
2030年の仕事の未来

2030年医療の現場はこうなっている!

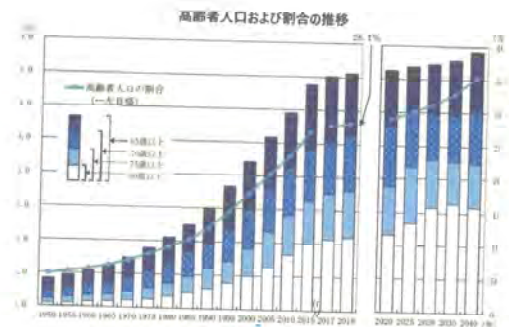
社会の動き
AIの発達 少子高齢化
働き方改革



体験した仕事
OPE室見学
看護ケア バイタルサイン
ストレッチャー 車椅子体験
リハビリ室見学



考察した2030年の未来
OPEの完全自動化 ロボットによる看護専用ロボットの普及 24時間体制の自動運転の車椅子の普及 看護ケア



高齢者の割合の増加にともない、病気の割合も変化している。人口減少も進む中、医療の現場にはAIなどの労働力が增える。

現在の医療 ~ 日高病院 ~

仕事・会社の紹介

- 診療科 ⇒ 医師
- 看護部 ⇒ 看護師・准看護師 看護補助者
- 薬剤部 ⇒ 薬剤師
- 診療放射線科 ⇒ 放射線技師
- 栄養課 ⇒ 管理栄養士
- リハビリテーションセンター ⇒ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
- 臨床検査室 ⇒ 臨床検査技師
- 臨床工学室 ⇒ 臨床工学士
- 病院運搬室 ⇒ 社会福祉士

OPE室では最先端の機械タ・ウインチを使っている。

- この機械を使うことによるメリット ...
- 出血量が減少する
- 手術の安全性・質が高まる

この仕事を選んだ理由

- 医療に興味がある。病院ではこんな人がこんなことをして働いているのか気がなったから。特に放射線技師の仕事が見たかったから。

体験スケジュール

- 1日目 午前：院長・看護部長にインタビュー
午後：OPE室見学

- 2日目 午前：医療ソーシャルワーカーにハワイ
BLS体験
午後：院内見学

医療ソーシャルワーカーは福祉の専門職。高齢者や家族を福祉の視点からサポート

- 3日目 午前：看護体験①
(バイタルサイン・心電図モニター装着体験)
(輸液ポンプ・シリンジポンプ操作)

- 午後：看護体験②
(ベッドメイキング)
(ストレッチャー・車椅子体験)
- 振り返りの会

体験したことの紹介

院長インタビュー

Q. 医療関係者についている人は?
A. 優しい人(挨拶が何か)
誠実で思いやりのある人
ストレスに強い人

Q. 学生が社会人になつたことについて
A. 時間に正確になる
責任。相手が何を求めているのか
中途半端ではいけない
700と1の意識を

Q. 学生時代にすればいいこと?
A. 人間の幅を広げること
色々な本を読む
会話をたくさんする

Q. 将来医療はどのように変化する?
A. 人口減少により病気が減る
働く人の高い専門性が必要
ベッドが増える

BLS体験

- BLSの手順
- 周囲の安全確認: 安全でなければ移動する
 - 反応の確認: 両肩をたたいて大声で呼びかける
 - 意識がない場合: 人を呼ぶ、救急車を呼ぶ、AEDをもってきてもらう
 - 呼吸、脈拍の確認(同時に行う) 脈拍は 10秒間 10秒触知する
 - 脈が触れない、わからない場合
 - 胸骨圧迫をただちに開始する
胸骨圧迫30回と人工呼吸2回(1サイクル) 胸骨圧迫100~120回/分
 - AED到着 すぐに装着する 電源を入れる
 - AEDによるリズムチェック ショック適応であればショックを実施する 適応がなければ胸骨圧迫を継続する



- BLSのポイント
- 心停止を確認してから10秒以内に圧迫を開始する
 - 強く、速く押す: 圧迫を100~120回/分のテンポで行い、深さは成人の場合少なくとも5cm
 - 圧迫を行うたびに胸骨を完全に元の位置に戻す
 - 胸骨圧迫の中断を最小限にする (胸骨圧迫の中断を10秒以内に抑えるように心がける)
 - 胸の上がりを行う効果的な人工呼吸を行う
 - 過剰な深呼吸

AEDが届くまでの間に圧迫を続けるのも大切なこと。周りの人々と協力することが大切だと知った

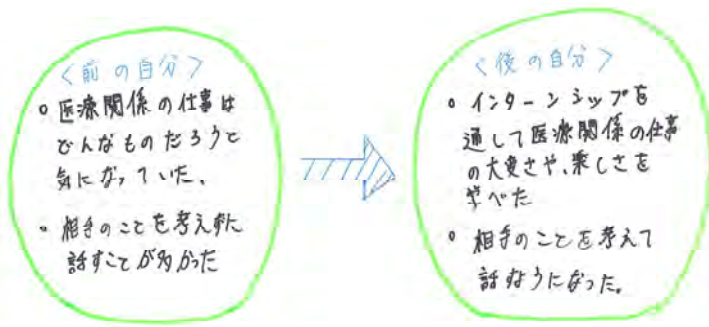
□ インタビュアで学んだことを一言で表すと

◦ コミュニケーション能力の大切さ

<理由>

患者の方と話すときに相手のことを考えた発言をしたり、患者の方の相談にのるときにコミュニケーションをしなくてはならないため。

□ インタビュアの前後での自分の成長



□ これからどんな力を伸ばしたいか

◦ 伸ばしたい力は

- ・ コミュニケーション能力
- ・ 探究心
- ・ 主体性

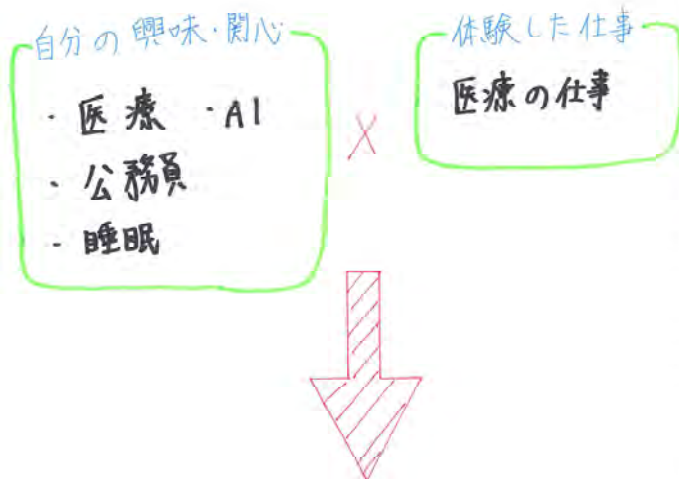
→ これらの力を伸ばすために必要なこと

◦ コミュニケーション能力を高めるために色々な人と話す。

◦ 探究心を高めるために色々なことに興味を持つ

◦ 主体性を高めるために積極的になる

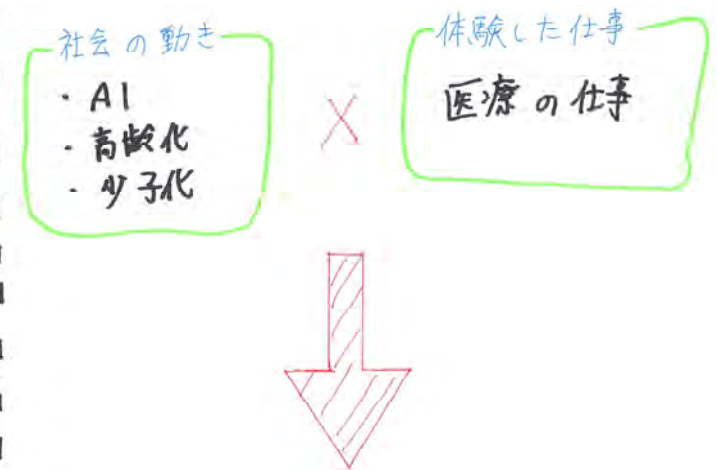
□ こうなりたいほしい 2030年の仕事



実現したい2030年の仕事の未来

- ・ 認知症などの症状を持った人が暮らさないように睡眠薬などを使って熟睡できるようにし、医師や看護師の人の負担を減らせるようにする

□ こうなっているであろう 2030年の仕事の变化



考察した2030年の仕事の未来

- ・ AIによる患者の管理
- ・ 高齢化による看護師の増加
- ・ 働く人の減少

体験として学ぶ

社会人基盤力

前に踏み出す力(アクション)

- 主体性
- 働きかけ力
- 実行力

課題発見力(シンキング)

チームで働く力(チームワーク)

- 課題発見力
- 計画力
- 創造力

- 発信力
- 傾聴力
- 柔軟性
- 状況把握力
- 規律性
- リスコミュニケーション力

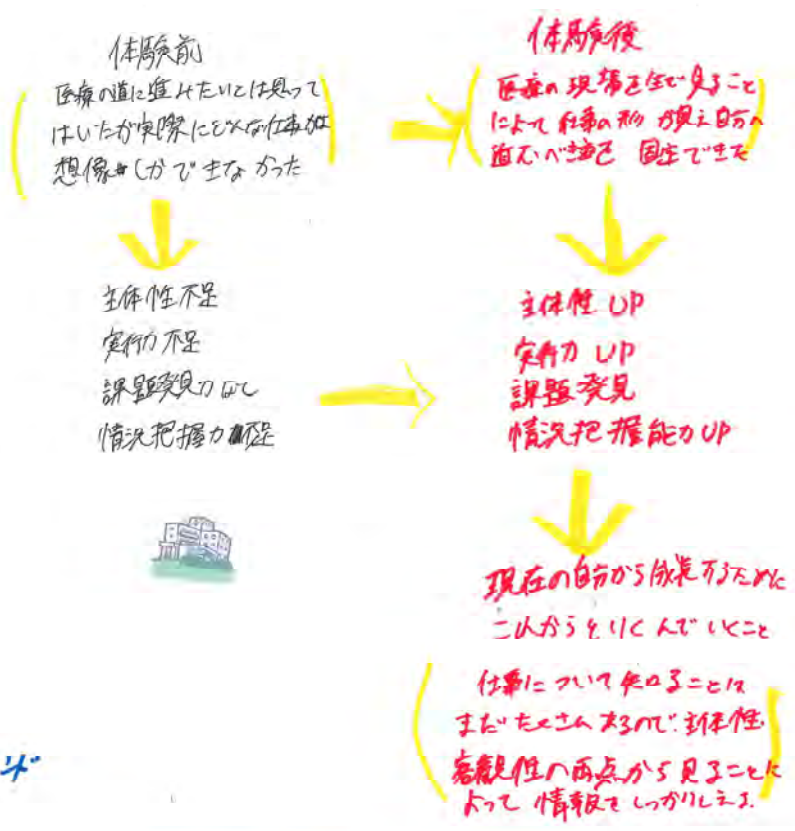
企業が私を必要とするスキルはなにか? 21世紀
 意欲・熱意・行動力・協調性

Q職業別 医療機関には50年代でもっと多いのは?

1. 30代
2. 40代
3. 50代

Q職業別 理学療法士の年収は?

1. 約300万円
2. 約400万円
3. 約500万円



未来の医療私たちがこれから

予想

社会の動き

ロボットが働けるようになる

体験した仕事

ロボットを使った手術を見学



想像した2030年の仕事
 ロボットが医療を交える
 人はもっと必要になる

→ 病院内の機能が多岐にわたる
 専門性の高い人が必要になる



私たちが将来目指す医療は世界中の人々に向ける医療を提供すること。技術の向上だけが医療の豊かになることではない。思っています。

進化しては医療

自分の「病院」が体の中を駆け巡る!

(カテーテル一つでがんに対処する箇所が体の中を巡りがん細胞を打ち壊すという!)

日本と海外を隔てて超遠隔手術!

(無線の発達により日本から遠くはなれた海外から手術が行われるようになるという!)

もう病院に行かなくていい!? 自家が病院!

(ITの進化により医師と患者とのコミュニケーションを画面越しにできるようになる。病院に入院の期間は減らせるという)

未来の医療にむかえ...

自分たちが主役になることが進化していき、私たちが「人」が意志を持ってはたかたかしく、自分のために向き合う。最前線医療を選択したいことが重要になってきます。

本当にいたほしい医療人

医. 加藤友朗

ニユーエラの病院が名刺している。彼の名を世界に知らせてあげたい。内臓にカメラをいっかけて外に出してまたいっ直すものだよ。

すべては患者さまのために

～ 真木病院 ～



病院理念・基本方針

みんな仲良く 医療で奉仕 誰にも親切 笑顔で応対

紹介

- ・ 一般病院
 - ・ 入院棟と外来棟がある
 - ・ 従業員約300人
 - ・ PET-CTにカを入れている
- 診療科目
- 内科：循環器、消化器、内視鏡、肝臓・胆嚢・膵臓、脳神経
- 外科：消化器、内視鏡、腫瘍、乳腺、肛門、放射線診断、リハビリ、泌尿

みなさん仲が良く、雰囲気がとても良いあたたかい病院でした！

3日間のスケジュール

8月28日(水)	8月29日(木)	8月30日(金)
9:00 挨拶・テーマ説明	9:00 薬剤科	9:00 リハビリ科
10:00 経営者インタビュー	10:30 地域連携室	10:00 3・4階病棟
10:30 外来	12:00 昼食	11:30 1階病棟
12:00 昼食	13:00 2階病棟	12:30 昼食
13:00 検査科	14:00 栄養科	13:30 放射線科
15:00 修子	15:00 修了	14:30 振り返り
		15:00 修了

体験したこと

外来棟 カルテの用意、患者さんとの接し方など、病院の第一印象にもつながるので、笑顔で寄りそうことを大事にしている。

入院棟 病棟見学、手術の見学、採血、機械や設備の説明など、入院している方、ひとりひとりのことを考えながら仕事をしている。

検査科 機械の説明、肺活量、目圧検査、患者さんの目に見えない情報を扱っている。

薬剤科 薬の説明、調合、袋づめなど、いろいろな種類の薬を扱っている、ので、分量や衛生面に気を使っている。

社会福祉士 患者さんやその家族の悩みなどを聞き、解決や社会復帰のお手伝いをしている。

栄養科 献立を考えたり、その人に合わせた食べ方を考えたりしている。

リハビリ科 見学、機械や道具の説明、体験、患者さんひとりひとりに合ったリハビリも考えている。

放射線科 機械設備の説明、患者さんの体の小さな変化を画像によって見つけている。

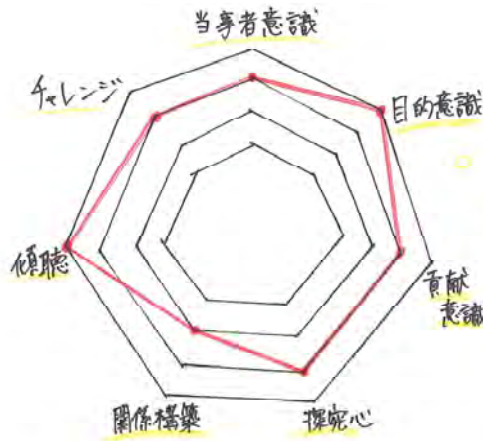
このインターンシップで学んだことを一言で表すと...

「人への思いやり」

理由

職員の方全員が患者さんやお互いのことを大事にして仕事をしていたから。

今の自分とこれから →



もっと積極的に多くの人とコミュニケーションをとっていきたい。

インターンシップでの成長

Before

医療に興味はあったけれど、あまりくわしく知らなかった。



After

医療についてくわしく知ることができて、職業選択の幅が広がった。

2030年の仕事の未来

こうなっているだろう!



考えたい仕事の未来

機械をつかうことが増える

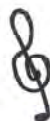


こうなってほしい!



実現したい仕事の未来

音楽をきいたり、一緒に体を動かすなどの治療の発展



人の命を預かる仕事

★ 真木病院の紹介・説明

診察科目
内科: 循環器内科 消化器内科
肝臓・胆嚢・膵臓内科
内視鏡内科 脳神経内科
外科: 消化器外科 内視鏡内科
腫瘍外科 乳腺外科 肛門外科
放射線診断科 整形外科
リハビリテーション科 泌尿器科

★ その仕事・会社を選んだ理由

『私が入院した時に、看護師さんがとても優しく接してくださり、私も人の役に立つような仕事をしたいと思ったから。』

★ 自分なりの真木病院の紹介

真木病院の職員の方は、「みんなで仲良く医療で奉仕 誰にも親切 笑顔で対応」という理念をととても大切にしているなど思いました。そしてその理念のように職員の方は、とても仲良く、とても親切に対応してくださいました。

の真木病院
の外来棟



★ 体験スケジュール

8月28日 経営者インタビュー、外来師長業務
水曜日 同行、検査科業務同行
8月29日 社員インタビュー、薬剤科業務同
木曜日 行、地域連携室業務同行、
2階病棟業務同行、栄養科
業務同行
8月30日 リハビリ科、3・4階病棟業務
金曜日 同行、放射線科業務同行

★ 体験したことの紹介

1. 外来科: 患者さんに対する対応や採血をしているのを見て、より興味がわきました。
2. 検査科: 赤血球を実際に顕微鏡で見たりなど、人の体の中のことを検査している職業でした。
3. 薬剤科: 機械を使って薬を作ったり分けたりというのを体験して、患者さんの命を預か

ている大事な仕事だ”
思いました。

4. 医療ロー: 患者さんに寄り添って精神的な面で支えることは、とても大変で大切なことだ”思いました。

5. 栄養科: 多くの患者さんに食べやすい食事を毎日休みなく働いている職業でした。

6. リハビリ科: たくさん道具を患者さんに合わせた色々な方法で使っている職業でした。

7. 病棟: 手術を見たり、採血を見たりして、職員の方がまったく動揺しなくて、か、こよかったです。

8. 放射線科: 体の部位に合わせて色々な機械をあつかっている職業でした。

★ インターシップで学んだ"ことを一言で表すと

◎ 「コミュニケーション能力の大切さ」

理由

患者さんの状態を的確に説明することや、患者さんとの会話が"とても大切なことだ"と思ったから。

★ インターシップの前と後の自分の成長

前の自分

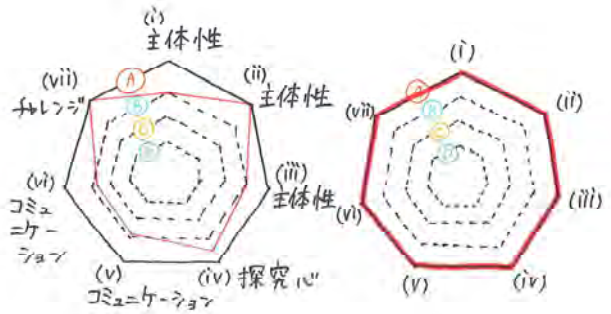
後の自分

表情が硬く、あまり上手く話できなかった。



前よりも表情が柔らかくなり、自信をもって話せるようになった。

★ この経験をもとに、日常をどのように変えて、どんなかを伸ばしていきたいか。



現在の自分 → 未来の自分

～現在の自分から未来の自分へ成長していくために、何に取り組むか。～

今までよりも、もっと将来の夢について探究していきたい。体馬舎をしたことで、医療関係の仕事をやりたいと思ったので、これから、自分に合った進路をしっかりと考えていきたい。

★ 2030年の仕事の未来
こうな、てほしい!

自分の興味
関心

体験した
仕事

音楽

×

医療関係の仕事



実現したい2030年の仕事

音楽で患者さんをいせしてあげられるような仕事。

★ 2030年の仕事の未来
こうな、ているであろう!

社会の動き

体験した仕事

ロボット

×

医療関係の仕事



考察した2030年の仕事

手術などをロボットが行うようになる。

気づかいと思ひやり! 医療の仕事

真木病院

院長 真木武志
所在地 入院棟 高崎市筑前町7-1
外来棟 高崎市上並樓町187
許可病床数 150床



従業員 255名 (平成27年4月現在で300%増)
診療科目 内科
循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、
皮膚科、肝臓・膵臓内科、脳神経内科
外科
消化器外科、内視鏡外科、腫瘍外科、肛門外科、
放射線診断科、整形外科、リハビリテーション科、
泌尿器科

私がこの仕事を選んだ理由

たくさんの方の医療の仕事が矢張りだから。

人間ドック・健診

“これまで”の健康状態の把握や

病気の早期発見だけでなく、“これから”の健康

維持・増進のために、管理栄養士や理学療法士
等によるアドバイスも行っている。

病院理念

みんな仲良く 医療で奉仕
誰にも親切 笑顔で対応

基本方針

1. すべての人に笑顔と思ひやりを持って接します
2. 救急医療機関としての役割を果たし、
安心な街づくりに貢献します
3. 地域と連携しながら、患者さまと共にチーム医療を
実践します
4. 安全で質の高い医療を提供するために知識・技術の向上に
力を入れます
5. やりがい・誇りを感じられる働き方や職場環境を作ります
6. 全職員が目標達成を目指し、安定的な経営を維持します

PET-CT

がんの早期発見に有効なPET-CT
県内民間施設で初めて導入して
以来、地域のがん画像診断に
積極的に関与しています。院内で
検査薬を製造できるのも特徴。

内視鏡検査・手術

日本消化器内視鏡学会の指導医・専門医
を含む多数の医師が一般的に内視鏡
検査から特殊内視鏡検査・治療に
年間1万件以上実施している。

8/28 (1日目)	8/29 (2日目)	8/30 (3日目)
9:00 テーマ説明	9:00 薬剤科業務同行	9:00 リハビリ科
10:00 経営者インタビュー	10:30 地域連携室 業務同行	10:30 3・4階病棟
10:30 外来部長業務同行		11:30 1階病棟
	13:00 2階病棟業務同行	13:30 放射線科
13:00 検査科業務同行	14:00 栄養科業務同行	14:30 振返り

2日目に体験したこと

・薬剤科業務同行

薬剤科では薬を小分けにしたり、個包装にしたりしました。
さらに、カプセル状の薬の中身をおこしていただく作業。私は今までカプセルの中
はおこす必要がなかったかと思っていましたが、実際は
たくさんのお薬があり、液体の薬、のりなどおこすものなどもありました。

・2階病棟同行

ここでは手術の様子をお見せいただきました。手術室と開くとスゴク血が出る
イメージが少し不安でしたが今回の手術はよく洗った皮膚を取り除くというもので
出血がほとんどなく、短時間で終わりました。さらに手術室は1階手術室が始めた方
より手術室が開かないかなと思っていましたが、たくさんの方が開いたりして少しおど
ろきました。

・栄養科同行

栄養科では患者さん1人1人に合わせて
食事を食べやすいように工夫していること
を知りました。



3日目に体験したこと

・リハビリ科

リハビリ科ではまず様々なお話を聞かせていただきました。私は2・3名程度の
お話を聞いたことがなかったのが、真木病院にはあるものだけでなく、6・7名程度の
お話を聞かせていただきました。さらにリハビリで使う電気を流す機械や、電子レンジと同じ
ような仕組みで体を温める機械を実際に体験させていただきました。

・3・4階病棟

ここでは入院棟のほうの看護師さんの業務に同行させていただきました。
入院患者さんに食事を届けていたり、車イスを押したり、さらには採血の練習台
実患者体カクちゃんから採血をしてみました。看護師の方はとても簡単そうに血を
採っていましたが、実際にやってみると全然「血管を通りませんでした」なんてなかなか
採血することができませんでした。4,5日目には採血することができうれしかったです。

・放射線科

放射線科では骨折のレントゲン写真を撮らせていただきました。またモニター
などの装置やスマートフォンのアプリを使ってその中身などをみせていただきました。

1日目に体験したこと

・経営者インタビューで聞いたこと

Q	A
真木病院全体の職員の数?	入院棟 200人 外来棟 100人
いいなと思ってる所	共通の理念をもって働いている
うれしいこと	患者さんやご家族に感謝されること
患者さんとのコミュニケーション大切	話をよく聞くこと
1日何人の患者さんが診察?	30人~40人 99%は150人以上

・検査科

検査科では実際に心電図をお見せいただいたり、肺活量や眼圧の検査も
体験しました。

・外来部長業務同行

ここでは看護師さんの業務に同行させていただきました。採血の本業などを
お見せいただきました。

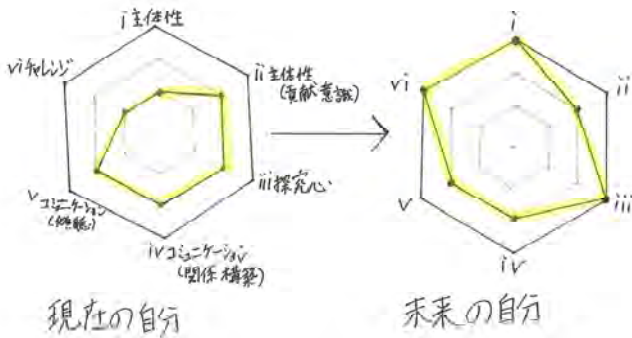
インターンシップで学んだことを信じて表すと

視野の広さ

理由

なぜこの信にしたかと言うと、病院で働いている人達は皆周りの人の事をよくみて、次に自分行動をしたか分からない。さらに病院の入院棟では入院患者さんや看護士さんなどたくさんの人達がいて周りをよくみて行動しないとダメになってしまった。シハビツーションの所でも車に乗った人や歩く人、歩いている人のシハビツーションにうまく周りをみていてねと言われたりして、周りをよくみるということはすごく大切なことなのだなと思ったからです。

こんな風に自分を変えていきたい!!



インターンシップの前と後

- 消極的
- 分からない所も自分から人に聞くことができない
- 自分から行動できない
- 知らない人と話すことができない

前の自分



後の自分



- 前よりも勇気を出して人に聞けるようになった。
- 周りをよく見て自分から行動できるようになった。
- 知らない人とでも少し会話ができるようになった。

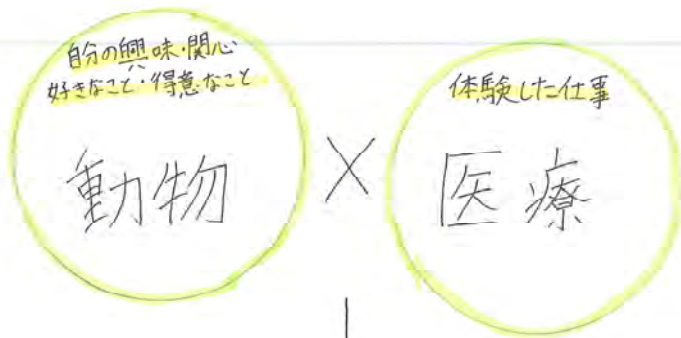
現在の自分から未来の自分へ成長するために取り組むこと。

1. 人前で堂々と話せるようになる!
そのためにも自分から積極的に発表などを。
2. 緊張してパニックにならないようになる!
受験の時も緊張してケアルームをいつもよりたくさんしきった。しつこく緊張している時でも冷静に判断ができるようになる。

2030年の仕事の未来

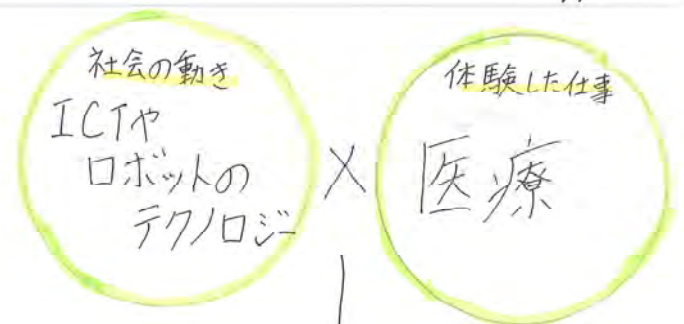
こうなっていてほしい!!

こうなっているであろう!!



実現したい2030年の仕事の未来

入院している患者さん達が犬や猫、おじやをペットなどの色々な動物と触れあえるような場所を病院内の1角に作っていつでも動物と触れあうことができるような病院が出来てほしい。



考察した2030年の仕事の未来

- 実際に患者さんが目の前にいなくても診察できるシステム
- 事務の仕事をかわりにロボットがやる。
- 自動的に採血できる機械

人を笑顔にする仕事

〔真木病院〕

病院種別：一般病院
診療科目

内科
・循環器内科
・消化器内科
・内視鏡内科
・肝臓・胆のう・膵臓
内科
・脳神経内科



外科
・消化器外科
・内視鏡外科
・腫瘍外科・肛門外科
・乳腺外科・整形外科
・放射線診断科
・リハビリテーション科
・泌尿器科



○病院理念○

大切に行っていることは、働いている人の心である。働く者すべてが患者さまのために、今何ができるのかを常に考えている病院であること。

- ・すべての人に思いやりを持つ
- ・チーム医療を実践
- ・知識・技術の向上
- ・安心な街づくり
- ・働きやすい職場環境
- ・安定的な経営

すべては
患者さまのために

体験スケジュール

～1日目～

経営者インタビュー
外来業務
検査科業務

外来業務

医師の診察の補助をしている看護師の仕事。診察がスムーズになるようにしたり、指示に従って、必要に応じて採血などをやる。

検査科業務

検査部の仕事は、尿・血液など人体から採取し検査する検体検査と、身体に見られる電気的变化などを検査する生理機能検査に分かれている。

～2日目～

薬剤科業務
医療ソーシャルワーカー
病棟業務（手術見学）
栄養科業務

薬剤科業務

医師の処方箋に従って薬を調剤するだけではなく、本当にその患者さんに合っているのかを確認する仕事。実際に薬を調剤をしてみても、責任があるけれどやりがいのある仕事だと思った。

リハビリ科

病院に入院していた患者さんを安心して生活ができるようにやる仕事。見学していて、とても重要なことだと思ったし、患者さんの家族も安心できると思った。

～3日目～

リハビリ科
病棟業務（1階）
（3,4階）
放射線科

放射線科

検査の種類はたくさんあり、PETというがんを発見するもの、放射線を利用しないものがあった。健康な人でも人間ドックをうけることが良いと言っていた。

病棟業務

2日目は実際に手術しているところを見学してみても、緊張した。病棟のほうでは、採血の仕方を学んだり、患者さんとのレクリエーションに参加してみても、看護師の仕事は患者さんとのコミュニケーションも大切だと感じた。

探究型インターンシップで学んだこと

○インタビューをしてみよう。

- Q1. 普段心がけていることは？
しっかり働ける環境にあること。
- Q2. 仕事をしていて難しいことや辛いと思うことは？
期待に応えることができないこと。
- Q3. 喜びややりがいを感じる？
職員や患者さんのことを考えていること。
全てのこと。
- Q4. 患者さんとのコミュニケーションをとることで大切なことは？
患者さんの話をよく聞くこと。

○インターンシップの前と後で変わったこと。

前の自分



後の自分

マイナス思考
でネガティブに
考えすぎて
消極的だった。

前向きに考
えて、分からな
いことや気にす
ることを人に聞
けるようになった。

○学んだこと。

人との関わりでの大切さや責任をもって仕事をすることは大事だと思った。人ほミスをしてしまうことがあるので、ミスをしてしまった時にうそをつかずに正直に言うことが大事だと思った。また、他の人の気持ちを考えようと思った。

○これから取り組んでいきたいこと。

私がこれから取り組んでいきたいことは、貴重な体験ができる機会があったら、積極的にやりたい。また、困っている人がいたら助けることができればいいようにしたいと思う。

2030年の仕事の未来

社会の動き

音楽 × 医療

AIが発達していき × 医療

実現したい
2030年の仕事
の未来



毎日決まった時間に音楽を聴かして、ちょっとした体操をしたり、コミュニケーションをとる仕事。

考察した2030年
の仕事の未来



AIの仕事はロボットがしていると思う。また、ロボットとコミュニケーションをとっていると思う。AIがまちがっていないかを確認するのが人の仕事となっていると思う。

インタビューで「学んだこと」

☆

～インタビューで学んだことを一言で～
 「患者さんへの思いやりの気持ちと
 職員のみなさんの信頼関係」



私は3日間のインタビューを通して、医療に関わるたくさんの職種を見た。外来で働く職員の方、入院棟で働く職員の方、看護師、薬剤師、検査技師など...。どの職種でも患者さんを第一に考えて行動しているのが、職員の気持ちが一つになって、信頼し合って仕事をしていることが分かった。また、患者さんに笑顔で優しく接したり、耳が聞こえない患者さんには耳元まで口を近づけて話しかける姿を見て、思いやりの気持ちが良いコミュニケーションにつながると思った。

インタビューを通して学んだこと

経営者

Q. この仕事で難しいことやつらいことは何ですか。
 A. 全ての人の期待に応えなければならないことです。
 多数の患者さんがいる中、一人一人に全力を尽くして診ることは時間も限られていたりして大変で、医学のレベルにも限界があって全ての人を治してあげることができないのは気持ちの面でつらいのだと思います。

薬剤師さん

Q. この仕事に向いている人を教えてください。
 A. 全員だと思います。
 でも、決して嘘をつかない人。

意外な答えだなと思いました。
 医療の仕事は人の命と隣り合わせなので、自分のことだけのためにミスを隠さず、正直に言える人でなければいけないと言っていた。
 命を預かる仕事は本当に責任感がなければならぬと思いました。

インタビューでの変化

before

なんとなくのイメージで職業を選んでいた。
 具体的に何をしているか分からなかった。

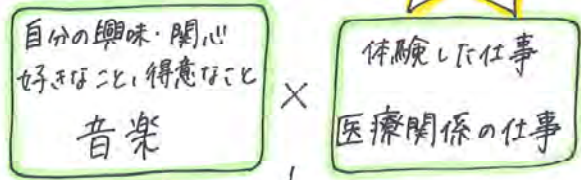
after

仕事の大切さややりがいを知って、より医療の仕事をしてみたいという気持ちになった。
 将来のことをもっと具体的に考えていこうと思った。

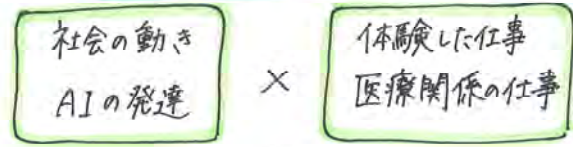
これから成長していくために取り組むこと

- 自分が気になったことを興味を持ったことを積極的に調べたりする。
- いろいろな人と話して、コミュニケーション能力を高めていく。

2030年の仕事の未来



実現したい2030年の
 仕事の未来
 音楽によって患者さんを癒し、
 リラックスしてもらう仕事



実現したい2030年の
 仕事の未来
 病気の診断においてAIが助言を可る。
 患者さんの様子を見て病気を発見したり、
 画像認識の優れたAIの導入。

～素早い行動と見事な連携プレーで命を守る～

くすの木病院



外からの写真

病院紹介

- 開院日 昭和62年6月17日
職員数 401名
病床数
・一般病棟 80床
・回復期リハビリテーション病棟 40床
・療養病棟 45床
・地域包括ケア病棟 40床

理念



体験した仕事

～1日目～

- 病院オリエンテーション
- リハビリ見学と説明
- 病院内見学
- 感染管理 (手洗いの話)

～2日目～

- 食事配膳見学

～3日目～

- シーツ換え、患者さんの体拭き
- お茶入れ、食事配膳
- 血圧、脈拍など計測
- 車いす、ストレッチャー体験

<シーツ換え・体拭きの仕事内容紹介>

- 必ず部屋の前にあるエプロンと手袋をしてから仕事を行う。(感染予防のために毎回変える)
- シーツ換えはベッドの上のシーツ、枕のシーツともに交換する。
- 体拭きは入浴ができない患者さんのために温かいタオルで体を丁寧に拭く (かゆい所は少し強く拭いてあげる)



インターンシップでの学び

○インターンシップで学んだことを一言で表すと...

相手への思いやりの心を持つこと

○インターンシップ前と後

を比べてみる

前の自分

- 自分のことを優先して物事を行っている。
- 周りのことはあまり気にせず生活している。

後の自分

- 人のために何かしてあげたいという気持ちが強まった。

◎現在から未来へ成長するために何に取り組むべきか？

- 主体性を高めていきたい
(人を待たずに自分から進んで物事を行う)
- コミュニケーション力が低いので上げていきたい

仕事の未来

Q どんな未来になっているか？ どんな未来を創るか？

<こうなしてほしい！ 2030年の仕事未来> <こうなっているであろう！ 2030年の仕事未来>

自分の関心・好きなこと
得意なこと

- テニス
- 寝ること
- 旅行

×

体験した仕事

- 看護師の仕事
- リハビリの仕事

⇓

実現したい 2030年の仕事未来

自分の趣味など十分に時間をとりながら、忙しくて大変な看護師の仕事に就けるようになってほしい。

社会の動き

- 機械化
- ロボット化

×

体験した仕事

- 看護師
- リハビリ

⇓

考察した 2030年の仕事未来

看護師がいなくなり、患者さんのお世話など日常生活のことはすべてロボットが行うことになっている

支え合う医療職

くすの木病院

「昨日を反省し 今日を考え 明日に備える」

1F 外来
手術室

2F 病氣やケガにより低下した身体機能を改善・維持を目指す病棟

3F 急性期治療の終了後、引き続き医療的なケアや対症的な治療を必要とする患者様

4F 入院、治療、手術が必要な患者様を受け入れている病棟

5F 入院、治療、手術が必要な患者様を受け入れている病棟

6F 住宅での療養に不安があり、社会復帰に向けての支援が必要な患者様を受け入れている病棟



リハビリステーション

理学療法士



足の先生と言われていて、歩行能力の低下を扱うことが多い。機能回復訓練、基本動作の練習を行う。

寝返り・起き上がり
立ち上がり

作業療法士

手の先生と言われていて、作業活動を通して行うリハビリが多く、日常生活動作の練習を行う。

トイレ動作・入浴・着替え
整容など生活に必要な動作



言語聴覚師



言葉の先生と言われていて、嚥下(食べる・飲み込む)や口腔、言葉が話せない、理解しにくいなどの失語症、物が上手く扱えないなどの高次神経障害の専門職

看護師

看護師の仕事



申し送り
夜勤→日勤に患者様の状態を報告する

シーツ交換
病室のベッド・枕のシーツを交換する

血圧測定

体温測定

食事配膳

トイレ・お風呂介助
患者さんができない部分を手伝う

2019/8/28 12:23
収縮血圧 最低血圧 脈拍数
94 53 59
(mmHg) (b.p.m)

体つき
患者さんの背中や手足をみる

カンファレンス



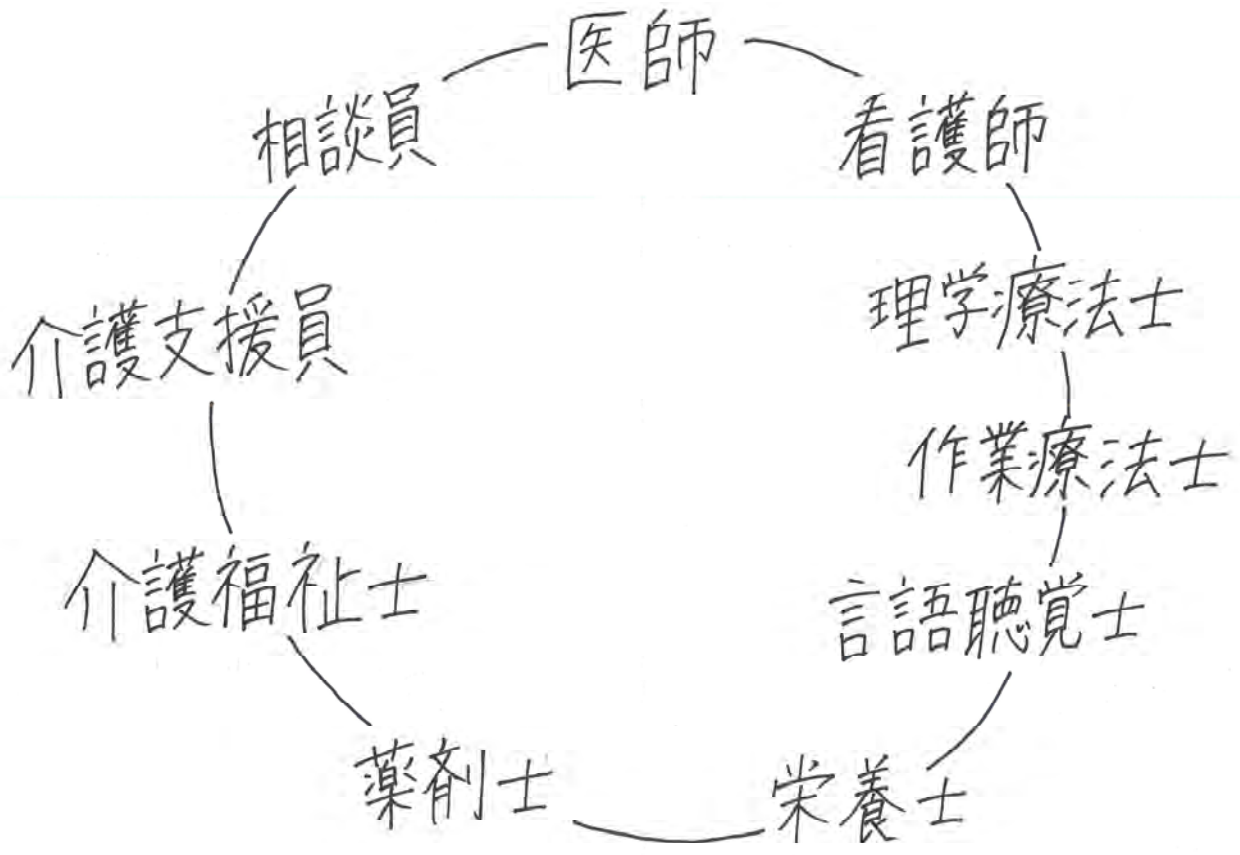
患者様の状態について、理学療法士や作業療法士を交えて話し合う

治療の補助

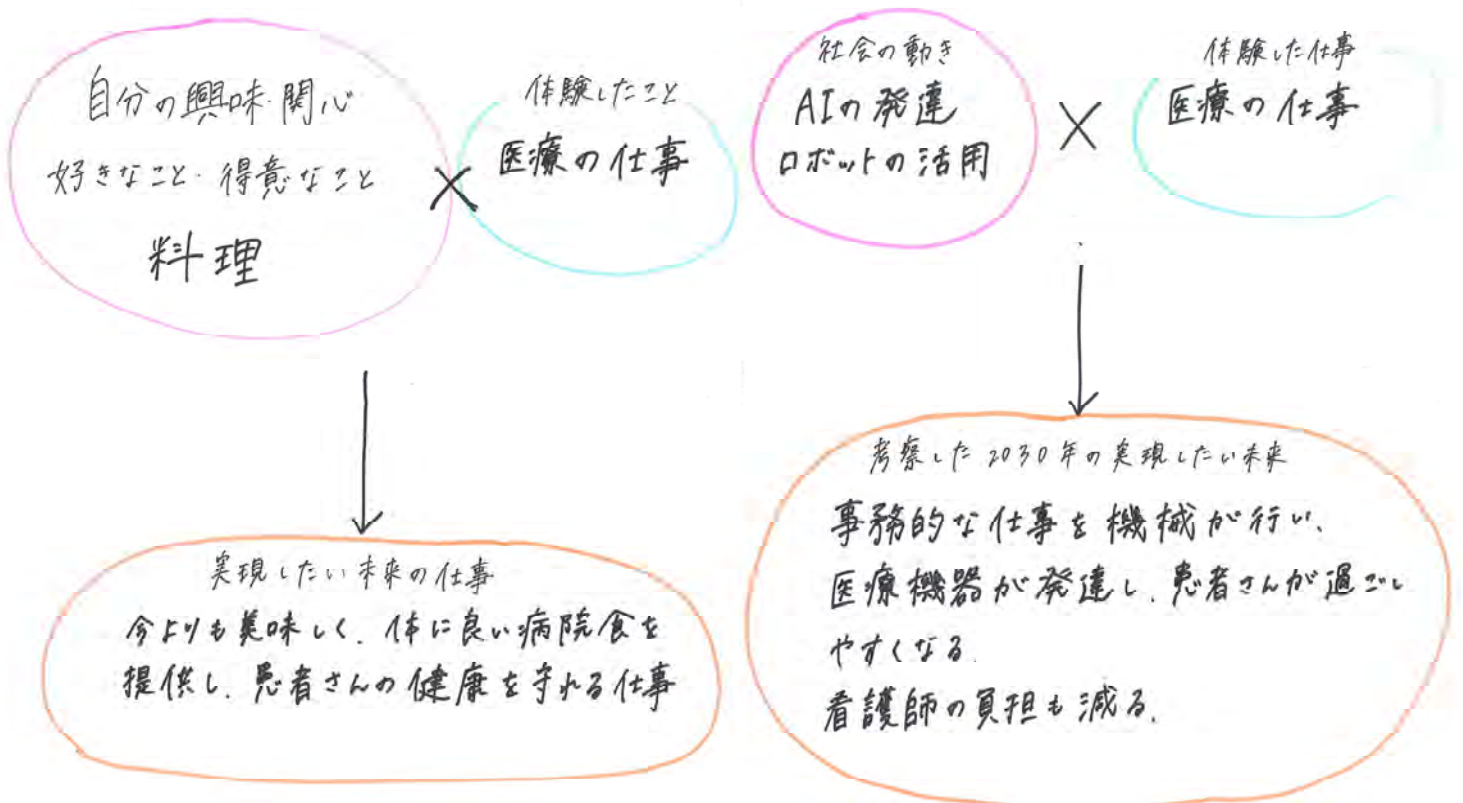
医師から処方された薬を飲ませたり注射をうったりする



チームアプローチ



2030年の仕事の未来について



連携して働く

くすの木病院 “昨日を反省し、今日を考え、明日に備える”



くすの木病院で働く職業

- ・ 医師 ... 患者の治療・検診
- ・ 看護師 ... 患者の身の回りのお世話
- ・ 看護アシスタント ... 看護師のサポート 資格はいる
- ・ 介護福祉士 ... 患者の介護
- ・ 薬剤師 ... 医師の処方箋をもとに薬を調合
- ・ 理学療法士 ... 足の先生 基本動作の練習
- ・ 作業療法士 ... 手の先生 日常生活動作の練習
- ・ 言語聴覚士 ... 言葉の先生 コミュニケーションの練習
- ・ 臨床工学士 ... 生命維持管理装置を操作

概要

開院日 昭和62年 6月17日
 職員数 401名
 病床数 一般病棟 80床
 回復期リハビリテーション病棟 40床
 療養病棟 54床
 地域包括ケア病棟 40床
 計 214床

受付時間 午前 8:00 ~ 11:00
 午後 1:30 ~ 4:30
 休診日 日曜日、祝日、第2・4土曜日、
 第1・3・5土曜日午後、
 年末年始(12月30日~1月3日)
 診療時間 午前 9:00 ~
 午後 2:00 ~

くすの木



くすの木病院を選んだ理由

- ・ 医療関係の職業に就きたいと思ってるから。
- ・ 具体的には何の職業に就きたいか決まっていないから。



看護部の
キャラクター
おらいちゃん

体験したこと



質問 & 回答

Q1 なせ看護師になったのか。

A. 小さい頃から お世話をするのが好きだったから。
患者さんから「助かった」「ありがとう」と言ってくれることがうれしかったから。

Q2 くおの木病院で良かったと思うことは何か。

A. みんな笑顔で あいさつが できること。
みんな やさしいところ。
急性期も 終末期も 診ているところ。

Q3 患者さんとの関わりで 気をつけていること。

A. フライドがある患者さんもいるから、話を聞いて 尊重する。
着目を最小限にする。
患者さんにしてほしい できる限りのことをする。

Q4 看護師のやりがい。

A. 患者さんが 元気になって 帰ること。
患者さんが 当たり前のこと が 出来るようになること。

Q5 どのような人が 看護師 に向いているか。

A. 人のために 自分の身を けずれるような人。
人のために 相手のことを 思いやれる人。

Q6 職員 どうして 気をつけていること。

A. ほうれんそう 他職種 で 共有すること 話し合いを 7日7回は すること。
報連相 { 医師、看護師 }
告 紹 談 { ITマナー、英語 }

Q7 作業療法士 にとって 一番大変なこと。

A. 患者さん や その 家族が 望む姿 と リハビリで 回復できる 姿に 差があった時、 差を 埋めること。

Q8 看護師 にとって 大変なと 緊張すること。

A. 患者さんとの コミュニケーション。
状態が 悪化したとき。



学んだこと

すべての人が 支え合うことが 病院を 活発 におよぼす

働いている人と 患者さん 以外に 職員同士 でも 話し合いを 沢山 していて、全く違う 職業の人とも 関わる ことが 多く、それが あって 病院は 活動 できていると 感じた。

インナーシフトの 前と後の 成長

前

後

- 質問があっても できない
- 仕事について あまり 興味 を 持てない
- 自分から 質問 できる
- 仕事について 興味 を 持てる

これから 成長 していく ために 取り組む こと

- チャレンジ できる 機会 を 逃がさず 何でも チャレンジ していく。そして 色々なことに 興味 を 持ち、 探究 する。
- コミュニケーション を 大切に して、 良い 人間関係 を 築く。

全体振り返り

① 自己評価

インナーシフトに 行く 前までは、 自分が 何を すれば 良い のか、 どの ことを 探究 すれば いい のか 分からなかったけれど、 インナーシフトに 行って、 沢山の 経験 を して、 コミュニケーション 能力 を 高める ことが できたり、 看護師 の 仕事 について 深く 知る ことが できました。

③ 最も 探究 できた こと

看護師 の 仕事 について 最も 探究 できた。
看護師 の 方 に インナーシフト を したり、 最終日 に 沢山 看護師 の 仕事 を 体験 できて、 一番 看護師 の 仕事 について 知る ことが できた。

② 自分が 発揮 できた 力

- 院内 を 案内 してもらった 場面 で 何に しても 笑顔 で あいさつ を すること。
- 患者さん と 話を する 場面 で、 患者さん の 家族 の こと など、 沢山の ことを 聞く ことが できて、 患者さん を 笑顔 に できた こと。

④ 目標 達成

自分 自身 の 目標 は ほとんど 達成 できた。
積極的に 質問 することは 出来た けれど、 自ら 考えて 行動 することは もう少し 出来た と 感じて いる。

2030年の 仕事 の 未来

《 こうな っ て いて ほしい! 》

命の 興味・関心

音楽

X

体験した 仕事

看護師

リハビリ 関係

↓

音楽 を 通 じて 患者さん が 脳を 働かせたり、 運動 を しやすく したり する リハビリ

《 こうな っ て いる であらう! 》

社会の 動き

話す ロボット

X

体験した 仕事

看護師

リハビリ 関係

↓

患者さん の 話し相手 が ロボット に 変わる。
患者さん が、 看護師 が 見て いない 方に 遠く 所 に 行って しまわない ように、 自動 で 音 になる よう になる。

須藤病院

- ・スタッフ ... 300人
- ・診療科目 ... 外科, 内科, 消化器 内科, 脳神経外科, 乳腺外科, 整形外科, リウマチ科, 循環器内科, 皮膚科, リハビリテーション科, 放射線科 など。
- ・施設 ...
 - 1F 診察室・検査室・放射線科・健診センター
 - 2F 回復器リハビリテーション病棟・リハビリテーション室
 - 3F 一般棟
 - 4F 手術室・療養病棟

Q なぜ須藤病院に行ったのか?

- A. 人の役に立つ仕事を体験してみたかったから。
- A. 医療系の仕事について学んでみたかったから。
- A. 伯母さんが看護師さんとして働いている姿をみて、もっとくわしく看護のことを知りたいと思ったから。



体験スケジュール

1日目

- 朝礼
- 4F 療養病棟
- シーツ交換
- 体位変換
- おむつ替え
- 食事補助
- 昼食
- 食事補助
- 超音波
- 胃カメラ
- 終了
- 作診察

2日目

- 朝礼
- 2F リハビリ棟
- お風呂の補助
- ベッド作り
- 食事提供
- 昼食
- 病室のそうじ
- リハビリ見学
- 終了

3日目

- 朝礼
- 3F 一般病棟
- 診察見学
- 注射の見学
- 検温・血圧測定
- 昼食
- 院長インタビュー
- ナース服着用
- 終了

体験したこと

体位変換

Q 体位変換とは?

- A. 自力で体の向きを変えることのできない人の体の向きを変えること。

Q 体位変換の目的は?

- A. 床ずれ, 血行不良を防ぐ。

Q 気をつけたことは?

- A. 患者様の体に負担がかからないようにしたこと。

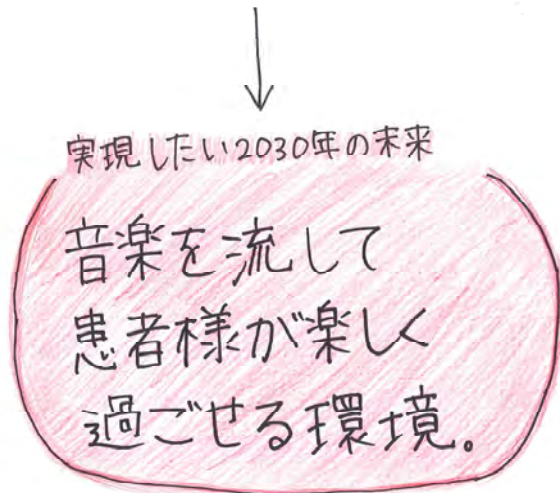
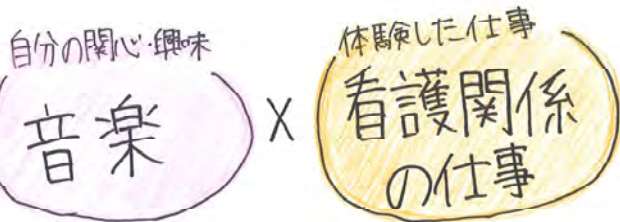
インターンシップで学んだこと

『コミュニケーションの大切さ』

理由

- ・ コミュニケーションを取ることで看護師同士、他職種で多くの情報を共有することができ、医療ミスを防ぐことができるから。
- ・ 患者様の不安の軽減や信頼関係を築くことにより治療を円滑に進められるから。

こうなっていてほしい！ 2030年の仕事の未来



インターンシップの前と後

前の自分

医療系の仕事をしたい
初めて見た人と話すことができない



後の自分

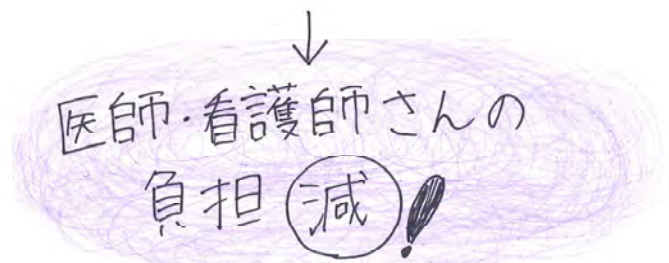
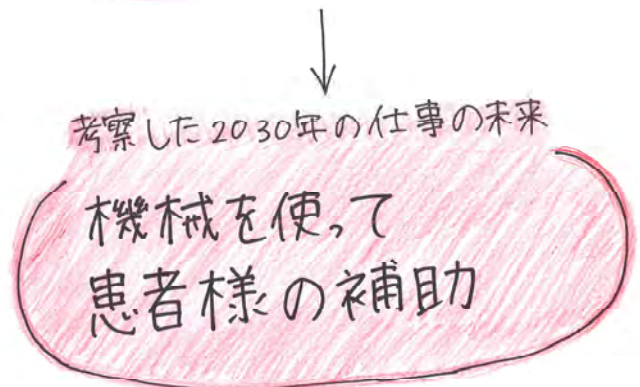
将来、看護師さんになるという目標
初めて見た人に積極的に話しかけられるようになった

現在の自分から未来の自分へ成長していくために取り組むこと

今後、自分が持っている情報を相手に伝えられるように、自分の意見をしっかりと伝えられるようにしたい。

こうなっているだろう！

2030年の仕事の未来



看護師 — 医療の未来

須藤病院について

- スタッフ ... 約300人
- 1F ... 診察室(各科)検査室
放射線室
- 2F ... 回復期リハビリテーション病棟
- 3F ... 一般病棟
- 4F ... 手術室 療養病棟

安中市内の総合病院。

頻繁に人事異動を行っているため、スタッフ同士のコミュニケーションがとれていて、患者の状態を共有しやすい。

また、患者を第一に想っていて健康になれるように主体的に行動するのではなく、補助する行動を心がけている。

なぜ"病院を選んだ"か

医療ドラマを見るのが好きで、一人でも多くの命を救おうと治療に全力を尽くしている女医に憧れたから。

体験したこと

- 胃カメラでの診察の見学
- 超音波機器、車イス体験
- シーツ交換、食事の配膳
- 口控ケア、リハビリ見学
- 血圧・体温・酸素濃度の測定

★ 食事配膳

患者によって、食べる量や柔らかさ、使う食材が違う。そのため、間違いのないように患者に名前を言ってもらい手渡しする。食事中、窒息やヤケドを防ぐために目を離さない。

★ 体位変換

自力で寝返りが出来ない患者の体を2時間おきに左右交互にする。高齢者の皮膚はとても弱いため、シーツのしわ1つですえ床ずれになる。硬直状態にある患者には、クッションを使うなどの工夫をしている。

仕事のこだわり

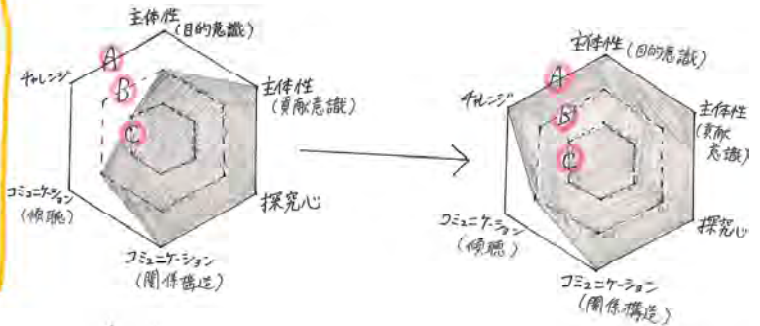
診察をあやふやにせず、結論づける。また、腕時計をしないことや患者に触れたり、物を触ったらよく手を洗うなど衛生面も気をつけている。

探究型インターンシップで学んだこと

患者様の健康が一番！

「患者伝達ノート」に患者一人一人の小さな変化を書いて共有したり、患者様に対してすること全てに意味があると思った。

自分の成長



既にロボットは活躍していた！

須藤病院では「HAL医療用下肢タイプ」という、下肢に障害をもつ人や脚力が弱くなった人を対象に治療機器を使っている。



自分一人で何かすることが苦手だったが、インターンシップを通して克服し、指示をされなくても行動できるようになった。

「患者とお互いが楽しく感じる会話は何か」という疑問をもったので、目上の人との会話を探究しようと思った。

“2030年”の仕事はどのようなか

こうなっていてほしい
仕事の未来

こうなっているであろう
仕事の未来

ゲーム × 医療



脳の活性化を促すようなゲームをリハビリとして行う。

人工知能の技術 × 医療



診断の補助をする。
遠隔操作による手術。
自宅治療。

園児の気持ちに寄り添う

- ★ あづま保育園について
 - ・ 0歳児～6歳児までの園児が通っている
 - ・ 1クラスの先生の人数が多い
 - ・ 給食制 年長は当番が給食を運ぶ!
 - ・ 英語の授業・体育の授業など学習時間も多くなる。
 - 英語 ALTの外国の方も先生とした授業。学んでいる内容が本格的と感じた。
 - 体育 柔軟運動の実施。園児の大半がブリッジができていて驚いた。

- ★ 保育士の仕事について
 - ・ 園児の世話
 - ・ 日誌つけ
 - ・ 運動会練習の指導
 - ・ おやつ・お昼準備
 - ・ 清掃 etc...
- ★ 保育系の仕事を選んだ理由
 - ・ 子どもが好きで、子ども関係の仕事にとても興味があったから。

★ 私が体験した仕事

1日目

年少クラス

8:30～	室内遊び
	清掃
	プール
12:00～	お昼
13:00～	お昼寝
	おやつ
	室内遊び

プール後、一人で着替えをできない子を手伝いました。出来そうなところは自分でやらせてみました。出来た時の笑顔がとても印象的でした。

2日目

年長クラス

8:30～	体操(体育)
	英語の授業
	室内遊び
	プール
12:00～	お昼
13:00～	お昼寝・手紙整理
15:00～	おやつ
	読み聞かせ・室内遊び

初めて読み聞かせの体験をさせてもらいました。思うように上手くできなかったけど、園児たちが真剣に聞いてくれてとても嬉しかったです。

☆ インターンシップを通して学んだこと

- ・ 園児は遊びの中から
- ・ たくさんの知識を取り入れている

[きっかけ]
紙しばいの内容に基づいて
先生が社会のマナーを教えていたから。

☆ 自分の成長

~ before ~

- ・ 思うように行動ができない
- ・ 園児の気持ちに答えられるか不安



~ after ~

- ・ 積極的に行動ができるように。
- ・ 1人ずつし.かり話を聞いてあげられた。

☆ 自分をもっと成長させるために

- ① コミュニケーション力を高める
- ② 探究心をつける
- ③ 主体的に動く
- ④ 他人のために動ける人になる

協力すべきこと

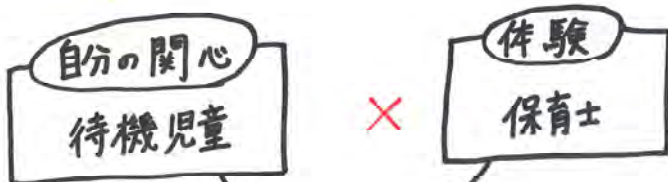


- ① 多くの人と話す。授業で積極的に発言
- ② 興味のあることを追究して調べる
- ③ 自分ができそうなことを自分で考えて動く
- ④ 困.てる人を手助けする

☆ 保育士の仕事の未来は...!?

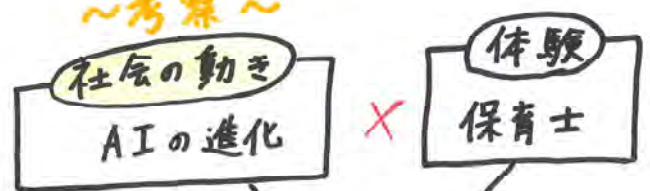
2030年

・ 実現してほしい!



保育士の数を増やし
待機児童0の社会へ!

・ どうな.ている? 未来の仕事
~ 考察 ~



園庭や教室の掃除などを
ロボットがや.てくれ、保育士が
より園児と向き合える!

〈あづま保育園〉

入園児の基本的な人権・人格を尊重し、広く国益と世界に貢献できるように人材育成と利他性に基づいた人間育成を目指しています。



通常保育時間

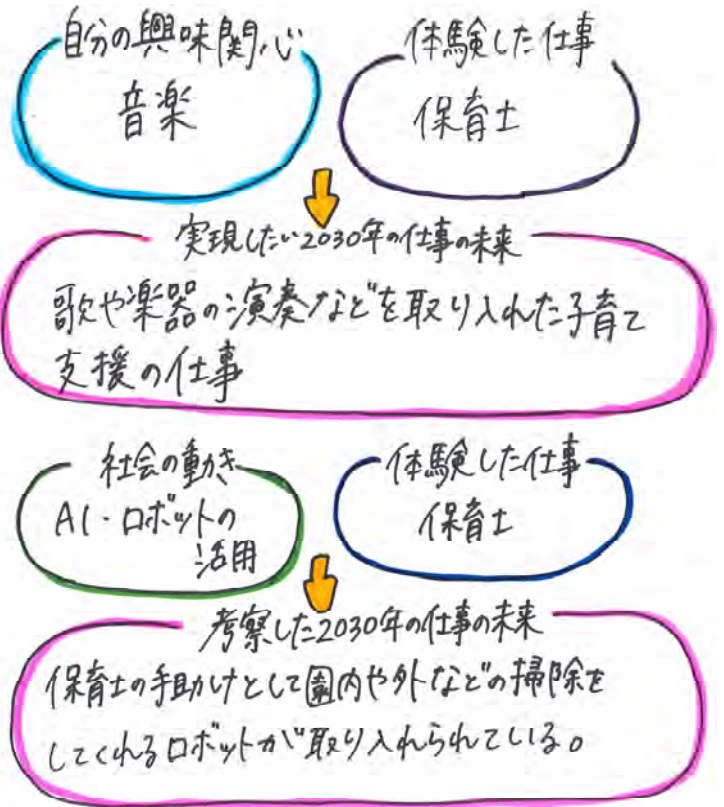
8:00~16:00

延長保育時間

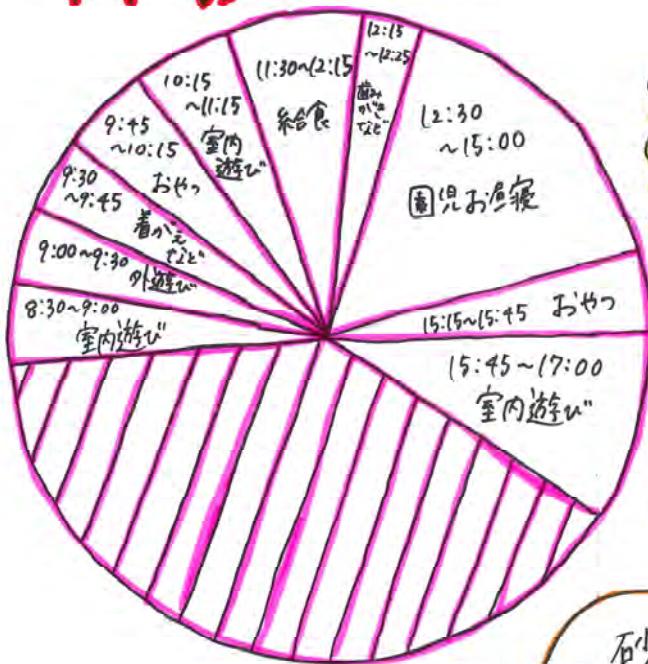
7:00~19:00

縦割り保育も行っています
(3~5歳児がミックス)
(さかたクラスもありました)

2030年仕事の未来



体験スケジュール



※日によって多少異なります。

何を過ごしているのか

部屋の中ではおもちゃで遊ぶことが多く、年齢ごとに使うおもちゃは異なっていました。おえかきをしたり、歌を歌ったり先生による読み聞かせなどもありました。

外遊び

石少場、ブランコ、すべり台の他にも自転車や車などとにかく遊具が豊富でした。園児たちは思い思いに遊んでいて、日によっては糸組などにボールにも入っていました。

< 3日間で学んだこと >

『保育施設の 必要性と 保育士のすゝさ』

- 働く親の子育てをサポートする
保育園は親にとっても子どもにとっても必要なものだということ。
- 子ども一人一人に合ったやり方で関わり合っていた保育士さん達は本当にすゝいと思っただけ保育士にとっても大切なことなんだとわかった。

3日間 成長したこと

before 何をすればいいのかわからず戸惑っていた
↓

after 自分から聞いて積極的に動けるようになった。

今後 に生かしたいこと 目標

生かしたいこと
前よりも積極的に行動できるように
なれたことを色々な場面で活用すること。

目標
周りを見て、その時自分がすべきことを見つけ、進んで行動すること。

あづま保育園

<スケジュール>

1日目
0~1歳児
クラス

8:30	遊ぶ 体温を計る	10:30	おやつ 松ツ替え	11:00	そうじ 松ツ替え	11:45	お昼	遊ぶ	13:00	お昼寝 (園児が寝る間に作業)	
15:00	松ツ替え	15:30	おやつ・遊ぶ (人数が少なくなったら、他クラスと合流)								17:00

2日目
2・3歳児
クラス

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00
内遊び	音に合わせて朝の体操 歌を歌って挨拶の練習	プロップ、つまみ、ボール 手が汚れないようにティッシュなどでお掃除	お昼ご飯	絵本
13:00	15:00	16:30	17:00	
お昼寝	遊ぶ (つまみの取り合いが多数発生)	クラスを合体		

3日目
3・4歳児
クラス

8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00
内遊び (雨天のため)	音に合わせて 朝の体操	出欠 体操	ボール	英語	体操 (後日撮影予定の練習)
11:00	13:00	15:00			
お昼ご飯 (配膳も当番がある)	遊ぶ 絵本	お昼寝	遊ぶ (最後はDVD鑑賞)		

<体験スケジュール>

1日目 0・1歳児クラス
2日目 2・3歳児クラス
3日目 3・4歳児クラス

<体験したこと>

園児と遊ぶ

年齢で遊ぶ方法が違うので、対応するのが少し大変な部分がありました。

特に0歳児はコミュニケーションがとれないので遊ぶのは難しかったです。

でも、一緒に遊んでいると園児がとて表情豊かになるので、

見ていてすごく楽しかったです。

・オムツがえ

1日に何回も取りかえなければならなかった
ので、大変でした。

・プールの監視係

園児用のプールなので浅いですが、
危険も伴うので、監視係は責任重大
でした。熱中症にならないように、頭に
水をかけてあげたりもしました。(2・3歳児の場合)

・ご飯を食べさせる

0・1歳児はまだ一人で食べることが
できないので、食べるのを手伝いました。
コミュニケーションが十分にとれないので
いつもしっかり見ていないとトラブル
が起きてしまいそうで、少し怖かったです。

○ インターンシップで学んだこと。

仕事をやる上で大切なのは、

意欲・積極性・責任感

意欲があると、自然と仕事が進む

積極性がないと、いろんな人に迷惑をかける

責任感とは、サービスを提供する側とされる側の信頼関係を築くことができる。

○ インターンシップ前とインターンシップ後の自分の成長。

積極的に動けるようになった。

“主体的”という意味が身をもって分かるようになった。

進路について、もっと真剣に考えようと思った。

自分の行動に責任感を感じるようになった。

～ インターンシップ感想 ～

3日間のインターンシップ、短い期間でしたが、たくさんを

吸収することができました。

私は最初、教育に関する仕事の場合

この目で見てみたいと思っていたので、

教育の土台である保育園では、本当に

貴重な体験をさせて頂きました。

3日間で学んだことは、いい思い出として

心に残しておくだけでなく、これからの

探究活動や自身の学びに深くつなげていきたいです。

そして、3日間で身につけた積極性、責任感は今後も忘れることなく、持続させていきたいと思えます。

2030年の保育士像

○ 私が考える2030年の保育士

私は、保育士という仕事が完全にAIに奪われるということは、何年たっても絶対にはないと思います。

ただ、メリットとして、連絡帳などの細かい仕事はAI化するのが良いのではないかと思います。

例えば、連絡帳もタブレット端末を使ったオンライン共有のものにしたりすれば、仕事の合間を縫って全員分のノートを手書きでこなす保育士さん方の負担が少しは軽減されるのではと感じました。

全部をAI化するのではなく、部分部分をAI化すれば、今よりも効率がよく負担も少なくなると思います。

保育士という仕事は本当に体力勝負なんだな。と3日間で身を持って痛感したので、少しでも保育士さんの負担が軽減される未来が来るといいなと思います。

笑顔をお届けする仕事

～ クラス ～

0歳児	もも
1歳児	つげき
2歳児	さくら
3歳児	うめ
4歳児	たけ
5歳児	まつ
混合組	りす・はんだ・ぞう
その他	子育て支援センター すくすくサロン・一時保育

あづま保育園

場所 : 高崎市沢川町 2046番地
 開設 : 昭和29年4月15日
 時間 : 8時~16時(平日)
 8時~12時30分(土曜日)
 日にち : 月曜日~土曜日
 保育年齢 : 2ヶ月~就学前

入園児の基本的な権利と人格を尊重し、その子ごりの能力伸張のため、体育・体育・徳育・知育をばせしめ、地域はもとより広く国益と世界に貢献できるように人材育成の基盤を築くよう保育教育をし、もって惻隱の心根を持ち、利他心に富んだ人間の育成に寄与せんものと願っている。

仕事内容

① 子どもに対して

- ・子どもたちには生活する上での基本習慣を身につけさせること
- ・子どもたちに集団生活を通じて社会性を身につけさせること
- ・子どもたちの心身の成長を促し、サポートすること

② 保護者に対して

- ・お子様の様子を報告し、場合により教育のサポート、アドバイスをすること

③ 園に対して

- ・教材、教育方法を検討する
- ・施設内での安全確認を行う

～ 1日のスケジュール ～

時間	0歳児~1歳児	2歳児	3歳児~5歳児
7=00	早期保育児登園	早期保育児登園	早期保育児登園
8=30	自主遊び	自主遊び(園庭及び室内)	自主遊び(園庭及び室内)
9=20	入室	お片づけ、チャム 体操、かけっこ、マラソ	お片づけ、チャム 体操、かけっこ、マラソ
10=00	おやつ	おやつ、おけいまり 主活動、給食準備	おけいまり 入室、主活動
11=30	給食準備 給食、ごちそうさま	給食	給食準備、給食開始
13=00	午睡準備、午睡 目覚め、自主遊び	午睡、目覚め、自主遊び	午睡、午睡終了、レゴ
15=10	おやつ	おやつ	お片づけ、チャム おやつ、降園準備
16=00	降園	降園	降園
17=00	うさぎ組へ移動	うさぎ組へ移動	りす組へ移動
19=00	長時間保育児降園	長時間保育児降園	長時間保育児降園

園庭遊び

おいごっこ
かくれんぼ
遊具で遊ぶ
乗り物に乗る
など

おんぶをしたり、
乗り物をおいて
あげたりして
も仲良く行いま
した。

室内遊び

おままごと
ブロック
お絵描き
恐竜ごっこ
など

私は「一緒に遊び
う」と言ってくれたり、
たくさんお話がで
きて楽しかったです。

そうじ

床そうじ
階段そうじ
思ふき
本棚の整理

いつも家の手伝い
をあまりしないので
うまくできませんで
した。でも先生に
「手伝って」と言われ
てうれしかったです。

★ インターシップで学んだことを一言で表すと...

仕事の楽しさや仕事をしている人の素晴らしさ

なぜなら...

子どもたちと遊ぶことはとても楽しかったけど、私は遊んでいるだけで少し疲れてしまったのに、先生たちはもっとたくさん仕事をしているから。

。。。 インターシップでの自分の成長 。。。

人に積極的に話しかけにいけた。



子どもたちに積極的に話しかけられた。

仕事に対してどんなに何を考えていたか。



自分がどんな仕事にしたいか考えられた。

。。。 2か月の自分の成長 。。。

誰かに言われてから行動していた。



自分から行動できるようになる。

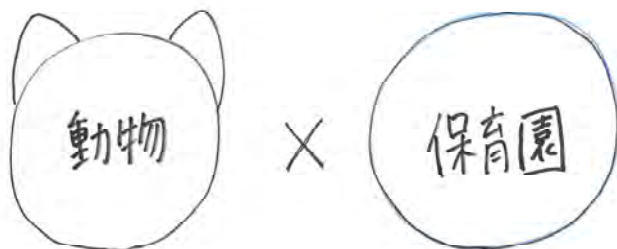
自分のことだけやるのに精一杯だった。



周りをしっかり見て他の役割もできるようにする。

2030年の仕事の未来

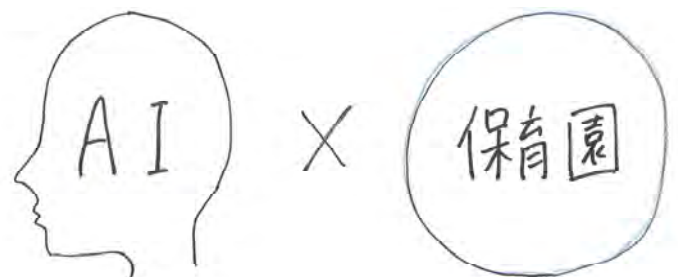
《 こうなっていてほしい! 》



メリット

- 心の支え、癒しになる
- 思いやりの心を持つようになる
- お世話をすることで責任感が養われる
- 命の大切さを理解できるようになる

《 こうなっているだろう! 》



例えば...

- 子どもの健康を管理する
- 子どもと遊んでくれる
- 物の在庫の管理
- 連絡帳やお便りを書く



保育士



8月28, 29, 30日の3日間 **あづま保育園** で保育士の仕事を体験させていただきました。

私は子供が好きなのであづま保育園を選びました。

保育士の仕事を自分なりの一言で表すと「責任を持った行動」

あづま保育園について

社会福祉法人浜川会 あづま保育園

職員の数 約35人

住所 〒370-0081

群馬県高崎市浜川町2046番地



北高のすぐ近く!!

良い芽を伸ばす保育を

入園児の基本的な人権と人格を尊重し、その子なりの能力伸張のため食育・体育・徳育・知育をなすため、地域はもとより広く国益と世界に貢献できるような人材育成の基盤を築くような保育教育をし、もって惻隱の心根を持ち、利他心に富んだ人間の育成に寄与せんものと願っています。



小田切 園長

保育目標

- ・ 心と体の調和のとれた発達を促す
- ・ 生活体験、自然体験を通して 自分の考えを持ち、イキイキとした自己表現ができる子供の教育
- ・ 自分で考え、判断して行動出来る子供の教育
- ・ 喜び、楽しさ、悲しみ、痛みを共有出来る子供の教育



体験スケジュール ☀️

1日目 さくらぐみ (2歳児)

- 8:30 自主遊び
- 9:25 お片付け, 体操
- 10:00 おやつ, 手遊び, 絵本
主活動, 給食準備

一人一人の子供の手のひらを
スタンプにして、カニを製作!
その形にそって切る作業をします。

- 11:30 給食, 歯磨き
- 13:00 午睡, 目覚め, 自主遊び
- 15:10 おやつ
- 16:00 降園
- 17:00 居残り児
自主遊び



2日目 まつぐみ (5歳児)

- 8:30 自主遊び
- 9:25 お片付け, 体操,
かけっこ
- 10:00 歌, お当番活動,
主活動

前半はリサイクルする牛乳パック
やヤクルトの容器を使って自由
に工作! 後半はプール!!

- 11:35 給食, 歯磨き, 紙芝居
- 13:00 午睡
- 14:30 外遊び
- 15:10 お片付け, おやつ
- 16:00 降園
- 17:00 居残り児 自主遊び

紙芝居を
よみました。
とてもおもしろ
かったです。

3日目 つばきぐみ (1歳児)

- 8:30 自主遊び
- 9:20 主活動

新聞をビリビリやぶいた
た% (ぶらまいたりしました。
お片付けもしっかりと!!

- 10:00 おやつ
- 11:30 給食, 歯磨き, 絵本
- 13:00 午睡, 目覚め, 自主遊び
- 15:10 おやつ
- 16:00 降園
- 17:00 居残り児
自主遊び



探究型インターンシップで"学んだ"こと

◎ インターンシップで"学んだ"ことを一言で表すと「人と人とのつながり」

子供と先生, また先生とおしのつながりが見えたと思った。

先生たちは責任を持って一つ一つの行動をしているのだと感じた。

◎ インターンシップを通しての成長は **小さなことにも気づく** ようになった。

3日間細かいところまで見るようにしていたからだと思う。

見るようにしていたのは、自分が"できる"仕事を積極的に見つけようとしていたからだと思う。

◎ この経験をもとに、自分の行動力にしっかりと **責任を持ったり**, 人を **気づかたり** する力を伸ばしていきたい!

2030年の保育士の仕事 💡

「こうなっていてほしい」



今は子供たちに主に童謡を
教えているが、子供のうちから
多様なジャンルの音楽を教える
は、音楽への関心が高まる
大きな要因と思う。

「こうなっているであらう」



AIと保育士と一緒に働いて
いると思う。AIは子供の体調
などを記録し、分析すると思う
でもAIは(ほんの一部でしか
活用されないのではないかと
思う。

保育士の仕事について

今回のインターシップについて



インターシップ先 ... あづま保育園

日程 ... 8/28 ~ 8/30 の3日間

なぜ保育園を選んだのか



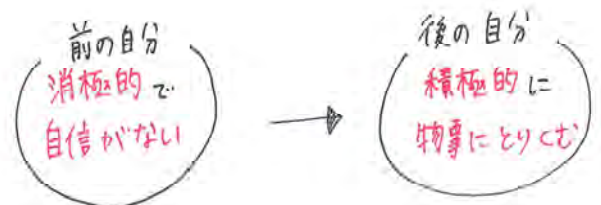
- 人と関わる仕事につきたいと思っていて、保育園なら色々な人と会話する機会があると思ったから
- 中学の時にも仕事体験で保育園を選んだのでさらにパワーアップした自分でもう一度挑戦してみたかったから

自分自身が探究できたこと



子供たちはそれぞれ性格が違います
そんな子供たちに自分がどう接するべきか、どうしたら喜んでもらえるかを考えられたと思います

インターシップを通して変わったこと



何事もチャレンジして取り組み
自分から行動することを意識する!!

保育園での体験

1日のスケジュール (1日目 8/28)



担当した教室。5歳児がいるまっ組さん

- AM 7:00 登園
8:30 自主遊び
9:25 お片付け
体操
かけっこ
10:00 入室 - 活動開始!! -

子供と一緒に外遊び!



- 朝の歌
- その日よりの活動
- 8/28は紙を使って形をつくる活動

11:35 給食

- PM 13:00 お昼寝
14:30 自主遊び
15:10 おやつ
16:00 降園
17:00

子供たちの寝かしつけ



初日の感想

最初だったためとても緊張していた。
自分から行動するということが少なく、
言われたことをやっただけで積極力が無い。
反省が多い1日だった。

あづま保育園

<スケジュール>

1日目
0~1歳児
クラス

8:30	遊ぶ 体温を計る	10:30	おやつ 松ツ替え	11:00	そうじ 松ツ替え	11:45	お昼	13:00	遊ぶ	お昼寝 (園児が寝る間に作業)	
15:00	松ツ替え	15:30	おやつ・遊ぶ (人数が少なくなったら、他クラスと合流)								17:00

2日目
2・3歳児
クラス

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00
内遊び	音に合わせて朝の体操 歌を歌って挨拶の練習	プロップ、つまき、プール 手が汚れないようにタオルなどでお掃除	お昼ご飯	絵本
13:00	15:00	16:30	17:00	
お昼寝	遊ぶ (つまきの取り合いが多数発生)	クラスを合体		

3日目
3・4歳児
クラス

8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00
内遊び (雨天のため)	音に合わせて 朝の体操	出欠 体操	つまき	プール	英語 体操 (後日発表会練習)
11:00	13:00	15:00			
お昼ご飯 (配膳も当番がある)	遊ぶ 絵本	お昼寝	遊ぶ (最後はDVD鑑賞)		

<体験スケジュール>

1日目 0・1歳児クラス
2日目 2・3歳児クラス
3日目 3・4歳児クラス

<体験したこと>

園児と遊ぶ

年齢で遊ぶ方法が違うので、対応するのが少し大変な部分がありました。

特に0歳児はコミュニケーションがとれないので遊ぶのは難しかったです。

でも、一緒に遊んでいると園児がとても表情豊かになるので、

見ていてすごく楽しかったです。

・オムツがえ

1日に何回も取りかえなければならなかった
ので、大変でした。

・プールの監視係

園児用のプールなので浅いですが、
危険も伴うので、監視係は責任重大
でした。熱中症にならないように、頭に
水をかけてあげたりもしました。(2・3歳児の場合)

・ご飯を食べさせる

0・1歳児はまだ一人で食べることが
できないので、食べるのを手伝いました。
コミュニケーションが十分にとれないので
いつもしっかり見ていないとトラブル
が起きてしまいそうで、少し怖かったです。

あづま保育園

～園児の個性を尊重し、伸ばす保育～

[紹介]

入園児の基本的な人権と人格を尊重し、その子なりの能力を伸ばすため、食事、体育、徳育、知育をなせしめ、地域を始め、国益、世界に貢献できるような人材育成をする保育教育。

[主な仕事]

- ・ 子供たちの生活全般のお世話
- ・ 心身の発達を促す
- ・ 社会性を養う
- ・ 食事、おひん、排泄、清潔さ、衣類の着脱などの基本的な生活習慣を身につけさせる
- ・ コミュニケーションを取る
- ・ 衛生面の管理



[1日の流れ]

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00
1日目	外遊び		体操、かけっこ	歌、切り紙遊び	お昼ごはん
	絵本				
	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	お昼寝、休憩		先生の手伝い	おやつ	室内遊び (人形、おひん)
				あいさつ (歌、帰りの挨拶)	外遊び (おはごこ、プラッ)
					お迎え持ち (絵本)
2日目	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00
	そうじ、モップかけ、カーペット拭き など			すくすくサロン手伝い (皿洗い、コミュニケーション)	
	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	休憩		かぶり外し、ボール用具の片付け	おやつ	絵本、中遊び
3日目	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00
	室内遊び (おままごと、絵本、ワイス など)			そうじ	お昼ごはん
	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	お昼寝、休憩		おむつ替え	おやつ	中遊び (お絵書き)

このインターンシップで学んだこと

⇒ 園児との上手なコミュニケーションの取り方。衛生管理など。

(最初は 何と言っているか なかなか聞きとれなくて、上手く反応で"まなかったか"、保育士さんを見て、うなずいたり、肯定すれば"良いんだ"と分かった。)

2030年のこの仕事について

⇒ 少子化が進む中で、保護者の支援が必要。未満児のニーズの増大。

(熱を出してしまった子がいて、親子さんに連絡はしていたが、仕事で迎えに来るのが遅く、病児保育になってしまっていた。)

コミュニケーションを取る上で大切なこと

⇒ 園児の伝えたいことを理解しようとする。子供の目線に立って会話する。

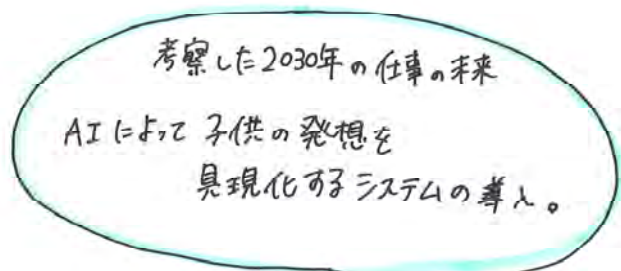
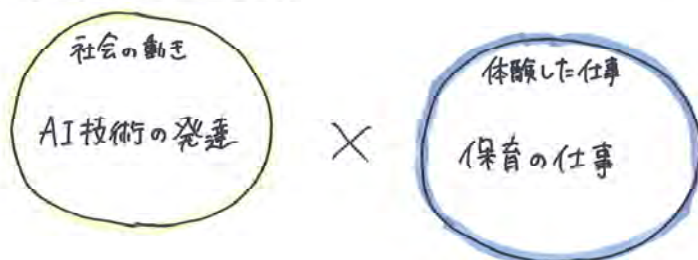
衛生面

⇒ 感染症などに気をつけて消毒。

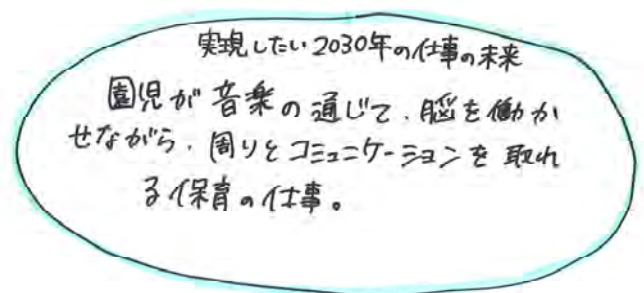
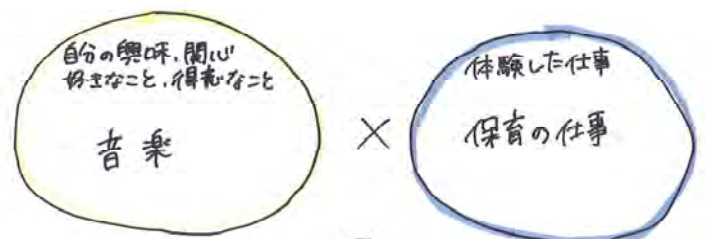
(こまめにモップかけをしたり、おもちゃを消毒したりしていた。)

[2030年の仕事の未来はどんな未来になっているか]

□こうなっているであろう



□こうなっていてほしい



[まとめ]

少子化が進んでいたり、保育園、保育士が不足していて、園に通えないなどのニュースを見たことがあるのでもっと保育に力を入려すべき。

未来を育成する仕事はここだ!

長野幼稚園とは?

昭和48年10月に 赤教法人 満勝寺境内地に園舎が新築し、翌年49年4月に開園されました。
 様々な工事や改修を経て、平成30年4月に認定幼稚園(幼稚園型)となりました。
 保育園と幼稚園が混ざっている中で、0歳児から受け入れておきます。
 人と自然にやさしいホルムタイプなので、木のぬかみを感じながら子ども同士の心の育成ができます。
 年間行事は4月から3月まで予定がたたくんあり、子ども達がい思い、お遊べるような行事でいっぱいです。
 このように、親と子両者にとって、女らしい長野幼稚園ですが、近年の少子高齢化により、「庭付き一戸建ての家」という古い住居に住んでいるものの、近所に遊べる友達がいらない、という状況が地域にはあるようです。



教育・保育の目標
 ○ 曲豆かに生きる子どもとその育育成
 ー 明るく、正しく、優しく、自信を持って
 ○ やや子ども像と大切にしていること
 輝く、楽しそうに笑顔をみせる、好奇心旺盛、生き生きと積極的に動いて、と身体...
 ー 子ども達と連なれる方法を大切にしたい。
 ・ 自ら興味や関心をもち、実現しようとする。
 ・ 生命の尊厳を大切に。
 ・ 周りの人々を自然のなかで感謝する。
 ・ お互いに認め合い、まなこを育む。
 ・ 自分の考えをしっかりと表現でき、
 ・ 広い園庭下でも、遊べる場所を、
 とする保育環境

何故長野幼稚園に?

今の私の将来の夢は、小学校の教員です。
 小学生のときに職業体験で小学校へ行ったり、小学生より幼稚園に行くとどんな感じだろうかと、幼稚園、保育園と小学生では何か違うのだろうか、興味があったため、今回視野を広げるために幼稚園に決めました。
 将来に關してのことでもあり、私は年上の人より小さい子のほうが、開けやすいし、好きなのもあり、幼稚園がいいと思いたのです。
 幼稚園は保育園とは違って教育も行われているので、幼稚園出身者として他の場所ではとるべき教育が行われていない、という興味もありました。



Part 1

おゆうぎ後のおやつタイムでは、ゆざゆざ私を呼んでくれて、お話をしながらお食べてくれた。その後の遊びも積極的に声をかけてくれ、とても楽しかった。おゆうぎの日だったので、心を開いてくれた感じからして、内面が開放的な感じはありました。



人月一、70中に印象に残ったこと
 私は3歳児の子ども達を担当させてもらったのですが、幼いからゆえに付き合いが感情的になってしまっている。話を進めながら、かつ平和的な解決法は何だったか模索してありました。段々何をどうすれば喜んでくれるかわかるようになり、私の力や声かけを止めさせることができるようになりました。子ども達が「おんね」と言いあっている場面にもどうあると、とても心があたたかくなるような感じになりました。



スケジュール

- 室内遊び
- ↓
- おやつ配せ人
- ↓
- 室内遊び
- ↓
- 昼(給食)
- ↓
- 遊び・体操・事務作業
- ↓
- おゆうぎ
- ↓
- おやつ配せ人
- ↓
- 室内遊び



Part 2

これからの日常をどう変えていきたい？

前の自分
広く消極的
子供との接し方がよくわからない
自ら仕事をみつけていく
ことが心にすかしくて
できない

後の自分
少し積極的
子供と仲良くははよく
言わせる
何か仕事はあるが
自ら探せるようになる

今の自分
自分が多すぎる
これは何なのかわからず
いるが、自ら積極的に
行ったりは思わ
ない。コミュニケーション
能力も人と同等には
備っていないので、
仲間と対話する
のが苦しい

未来の自分
知らない場所でも
知らない人と対話できる
・平日は自分は何か
できるか考えてみる
・心行重外に移せる
・初対面の人とも友好的
に話せる

インターネットで学んだことは

謝ることこそ最強の コミュニケーション回復法

悪いことをしてしまったとき
ごめんね
の四字をただで園児たちは
お互いに解決をし、
普通に仲良く話し始めた
から。

未来の自分になるには、これから何を
取らねば？ and 何故？

今まで 中学・高校と子供とのふれあ
いできていたので、大学でもそういう 場面
に ~~出~~ 会えるようになる。

そのためには勉強に力を入れ、資格を取れるようにする。
得意科目を伸ばし、苦手の部分を
克服する。
+

自分の好きなこと
美術



興味のあること
保育+教育

社会の動き
ロボット



体験した仕事
保育士
教員



future
お昼きゅうけいのかときに
絵を描く、ねんどで何かを
つくることか楽しみになる

...Future...
保育士の事務作業は
全てのロボットが行って
くれる。

インターシップ

長野幼稚園

「子供を支える
人々」

〈主な活動内容〉

・園児との交流

{紙しばい}

{昼食時のお手伝い}

{運動会練習の見学 など}

・その他

そうじやテープ貼りなど

学んだこと

- ・一番大切なことは園児にケガをさせないこと
- ・子供たちの意見を尊重しながら正しいことを教える。 など

<企業の方々に質問した事>

- ・男の保育師について。

A、信用してもらうように、日々の努力の積みかさねが大事。
また、他の仕事よりもお給料が安いのが難点。

など